

資料名：「定めていることがわかる資料」

I 教 育 理 念

1 目 的

準学士課程は、教育基本法にのっとり、及び学校教育法に基づき、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。

専攻科は、準学士課程における教育の基礎の上に、精深な程度において工業に関する高度な専門知識及び技術を教授研究し、もって広く産業の発展に寄与する人材を育成することを目的とする。

2 教育理念

1. 幅広い人間性を培い、豊かな未来を創造しうる開発型技術者を育成する。
2. 教育内容を学術の進展に対応させるため、また、実践的技術の発展のため、必要な研究を行う。

3 教育理念を達成するための3つの目標

1. 国際性を持った教養豊かな人間を育て、個性的で創造性に富んだ開発型技術者を育成する。
2. 教育・研究活動の高度化・活性化を図る。
3. 地域との交流を推進し、教育・研究成果を地域に還元するとともに、国際交流を推進する。

出典：2019 年度学生便覧

資料名：「定めていることがわかる資料」

第9章 学生準則、賞罰及び除籍

(学生準則)

第42条 学生は、この学則に定めるもののほか、別に定める学生準則を遵守しなければならない。

(表彰)

第43条 学生として表彰に値する行為があるときは、表彰することがある。

(懲戒)

第44条 教育上必要があるときは、学生に退学、停学、訓告その他の懲戒を加えることがある。懲戒の基準については別に定める。ただし、退学は次の各号の一に該当する場合について行うものとする。

- (1) 性行不良で、改善の見込みがないと認められる者
- (2) 学力劣等で、成業の見込みがないと認められる者
- (3) 正当の理由がなくて出席常でない者
- (4) 学校の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

(除籍)

第45条 次の各号の一に該当する者は、校長がこれを除籍する。

- (1) 死亡又は長期間にわたり行方不明の者
- (2) 第22条に規定する休学期間を超えてなお復学できない者
- (3) 授業料、寄宿料を納付しない者
- (4) 第16条第3項に規定する入学料免除又は徴収猶予の申請書を受理された者で、次に掲げる者
 - ア 免除又は徴収猶予を不許可とされた者及び半額免除の許可をされた者で、免除又は徴収猶予の不許可又は半額免除の許可を告知した日から起算して14日以内に納付しない者
 - イ 徴収猶予が許可された者で、入学料を所定の期日までに納付しない者

第10章 専攻科

(目的)

第46条 専攻科は、高等専門学校における教育の基礎の上に、精深な程度において工業に関する高度な専門知識及び技術を教授研究し、もって広く産業の発展に寄与する人材を育成することを目的とする。

2 専攻科の各専攻における人材の養成に関する目的その他の教育上の目的は、別に定める。

(専攻及び入学定員)

出典：鹿児島工業高等専門学校学則

資料名：「定めていることがわかる資料」

I 学 習 案 内

本校専攻科の目的として鹿児島工業高等専門学校学則に「高等専門学校における教育の基礎の上に、精深な程度において工業に関する高度な専門知識及び技術を教授研究し、もって広く産業の発展に寄与する人材を育成することを目的とする。」（第46条）と定められ、また学校教育法においても専攻科は「精深な程度において、特別の事項を教授し、その研究を指導することを目的とする。」と定められていることから分かるように、専攻科においては高度な専門教育とともに、研究を行うことが重要になります。このため、1年次から特別研究のテーマ並びに指導教員を決定し、研究活動を行います。

また、専攻科のカリキュラムは、J A B E E教育プログラムである「環境創造工学教育プログラム」の一環をなしていますので、以下の学習案内とともに「「環境創造工学」教育プログラム履修の手引き」（本便覧のJ A B E E認定教育プログラムのIの項）をよく読んでください。なお、当然のことながら専攻科では、本科以上に学生の自主性を重視しています。学校行事や諸手続きに関することは、行事予定表（別表参照）に記載されていますので、よく確認して各自で対応してください。また、その他の諸手続き、授業の休講や振替等の連絡事項は、専攻科棟2階の「専攻科生交流・連絡スペース」に設置されている掲示板および個人用のレターケースによって行われます。見忘れたことによる不利益は本人の責任になりますので注意してください。登下校の際に少なくとも1日1回は必ず見る習慣をつけてください。

出典：2019年度学生便覧

資料名：「定めていることがわかる資料」

専攻科 Advanced Engineering Courses

専攻科では、本科における 5 年間の高専の教育を活かしながら、産業界が求める生産現場などで実践的に問題解決ができ、かつ最先端の技術にも精通した創造力豊かな開発型技術者の育成を目指している。

即ち、高専本科を卒業した学生並びに企業が派遣する社会人学生を対象に、科学技術の高度化、情報化及び国際化に対応した実践的工学知識と技術、さらに特に近年必要とされる環境問題に関する知識を教授する。また、大学工学部における技術教育とは異なった視点に立ち、国際化に対応でき、協調性と指導力ある創造性豊かな技術者を育成する。

本校には次の 3 専攻が設置されており、それぞれの専門の立場から、専攻科の授業や特別研究を担当している。専攻科修了と同時に学位(学士(工学))の取得が可能である。

- ・機械・電子システム工学専攻
- ・電気情報システム工学専攻
- ・建設工学専攻

This two-year advanced engineering course, offering three specialized engineering programs for a Bachelor of Engineering degree, aims to develop competitive engineers who possess substantial problem finding/solving abilities in various on-site technological fields.

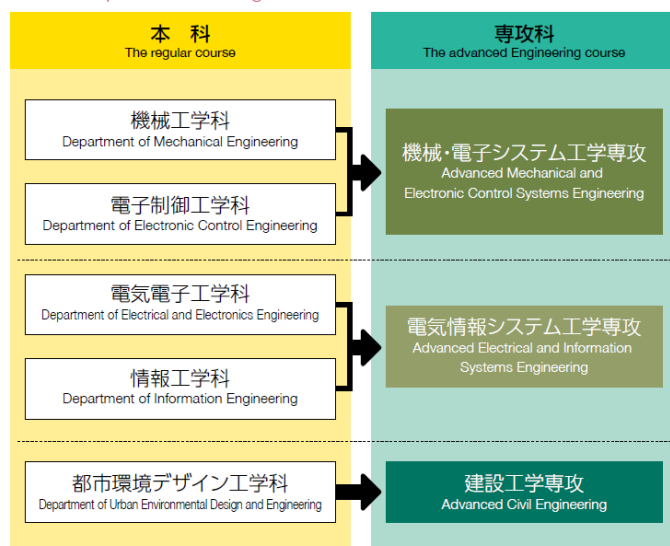
Students taking this course, mostly graduates of National Technical Colleges that offer an associate of engineering/A.E. degree through five-year professional education, are expected to enhance their far-reaching hands-on engineering knowledge and skills necessary for today's fast-growing, highly globalized, info-driven science and technology, and their knowledge of current environmental issues, which is especially important in recent years. Unlike conventional engineering courses at four-year colleges and universities, this course focuses on developing each student's practical abilities in creativity, innovation, critical thinking, well-balanced leadership and cooperation, all of which are increasingly required in today's fast-growing sci-tech fields. Company engineers, who have earned an A.E. degree and are interested in acquiring such updated skills, can also apply for this program.

Faculty members teach specialized research in the following three programs:

- ・Advanced Mechanical and Electronic Control Systems Engineering
- ・Advanced Electrical and Information Systems Engineering
- ・Advanced Civil Engineering

本科と専攻科の関係

Relationship between the regular and the advanced course



出典：平成 30 年度学校要覧

資料名：「定めていることがわかる資料」 つづき

専攻科 Advanced Engineering Courses

●「環境創造工学」教育プログラム Engineering Program: "General and Environmental Engineering"

本校は、本科4年次から専攻科2年次までの4年間を対象にした教育プログラム「環境創造工学」を設定している。この教育プログラムは、日本技術者教育認定機構（JABEE: Japan Accreditation Board for Engineering Education）から平成15年度に認定を受けており、4年制大学と同等の教育内容であり、かつ国際的にも通用する教育プログラムとして保証されている。この教育プログラムを修了すると、技術士第1次試験が免除され、「修習技術者」となる資格が得られる。さらに、一定の条件の下での経験年数を経て、技術士の受験資格も得られる。

We have a four-year educational program ranging from the fourth year of the regular course to the second year of the advanced course. This program has been authorized by JABEE (Japan Accreditation Board for Engineering Education) since 2003. This means that JABEE considers our program equal to that of a four-year college and can be accepted internationally.

When this course is completed, the primary test for a consultant engineer will be exempted and the graduate will be qualified to be a trainee. After some years of training, you will be qualified to take the secondary test for a consultant engineer.

●本校のJABEE教育プログラムの特長 Distinctive Features of Our JABEE Program

本校のJABEE教育プログラムは、工学（融合複合・新領域）関連分野に対応しており、学習・教育到達目標は、専攻科の学習・教育到達目標と同じで、P4に示している。育成する技術者像は、人間の社会活動が環境に及ぼす影響を学んで、専門分野及びその他の分野の知識と結びつけることによって、地球環境及び生態系に極力影響を与えない（リサイクル、ローエミッション、エコロジー）、環境に配慮したもののづくりができる技術者である。そのために、カリキュラムは、（1）人文科学・社会科学・外国語系、（2）数学・自然科学・情報技術系、（3）基礎工学、（4）専門工学の科目群で構成されている。工学（融合複合・新領域）関連分野で修得すべき知識・能力は、「基礎工学」と「専門工学」の科目を履修することにより身につけることができる。

「専門工学」の科目には、次のような特色がある。

- ①環境に配慮する能力を身につけるための環境に関する共通科目をコア科目として必修化している。
- ②自らの関心または必要性に応じて専攻分野以外の科目を履修するために、専攻分野以外の専門共通科目を指定し、その中から1科目以上修得することを義務付けている。
- ③各自の専門分野の知識と①と②の知識を結びつけて問題を解決する能力を身につけさせるためのPBL科目（環境創造工学プロジェクト）を必修化している。

また、本教育プログラム2年（本科5年）における卒業研究は、各履修生の所属学科の専門に根ざした創造（ものづくり）に重点を置き、成果は卒業研究発表会で報告されるとともに卒業研究報告書にまとめられる。本教育プログラム3、4年（専攻科1、2年）における特別研究は、多くの能力を総合的に発揮して問題を多角的・複眼的視点から解決する統合化能力を養成するために、各履修生の専門に環境等の他分野の知識・能力を積極的に融合・複合させ、卒業研究とともにデザイン能力の育成を行っている。研究成果は特別研究発表会で報告され特別研究報告書としてまとめられる。また、各履修生の専門分野の学会等で研究成果を発表することを義務付けている。

JABEE Educational Program corresponds to the field for Multi-Disciplinary Engineering. The goals of JABEE Educational Program are the same as those of the advanced course(See p.4). Our goal is to foster engineers who manufacture environmentally-friendly things which protect the environment and ecosystem by learning about the influence of human social activity on the environment and connecting it with knowledge of a special field and other fields of study. To achieve this goal, the curriculum consists of four kinds of subjects: (1) cultural sciences, social sciences and foreign languages, (2) mathematics, natural sciences and information engineering, (3) fundamental engineering, (4) special engineering. Especially, students can acquire knowledge and the ability necessary for the field for Multi-Disciplinary Engineering by taking subjects on fundamental and special engineering.

Subjects on special engineering have the following distinctive features:

- ① It is compulsory to take common subjects on ecology to develop the ability to consider the environment.
- ② It is compulsory to take more than one subject outside one's major depending on one's interest and need.
- ③ It is compulsory to take PBL subjects(General and Environment Engineering Project) to develop the ability to solve problems through knowledge of one's major and the above ① and ②.

Creating things based on one's major is emphasized in graduation research of the second year of our program (the fifth year of the regular course) and its result is reported at a meeting for reading graduation research papers and it is compiled into graduation research reports. The research which is integrated from many different points of view to fuse and compound the students' major with their knowledge of other fields, such as environment and ecology is emphasized in advanced graduation research of the third and fourth year of our program(the first and second year of the advanced course) Moreover, the ability of the engineering design is cultivated in both graduation research and advanced graduation research. Its result is reported at a meeting for reading graduation research papers and is compiled into graduation research reports. It is compulsory for the students to present their research at the inquiry of the advanced course conference.

概要

学科

教育課程

専攻科

学生

教育施設

教育施設

キャンパス

資料名：「定めていることがわかる資料」

鹿児島工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		教科名	特別研究 I
科目基礎情報						
科目番号	0001		科目区分	専門 必修		
授業形態	実験・実習		単位の種別と単位数	履修単位: 4		
開設学科	機械・電子システム工学専攻		対象学年	専1		
開設期	通年		週時間数	6		
教科書/教材						
担当教員	徳永 仁夫					
到達目標						
機械工学および電子制御工学に関する研究題目について実験・研究を行い、その成果を学協会で発表するとともに、特別研究発表会で発表し、特別研究論文にまとめる。一連の研究過程を実際に経験し、諸問題を解決する能力や機械工学及び電子制御工学に関する技術者となるための能力を養う。これらを通じて以下の項目を習得する。 1. 技術者としての社会への貢献と責任 2. 自主的に計画・立案し継続的に学習する能力 3. 文献等（外国語分権を含む）を調査・読解する能力 4. 論文内容を要約して報告するプレゼンテーション能力 5. 研究成果を論文としてまとめ記述する能力 6. 研究に必要な情報機器を利用できる能力						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
1. 技術者としての社会への貢献と責任について説明できる。	研究内容に関する社会の動向やニーズを把握し、自らの研究内容を社会へ発信する必要があることを理解の上、研究活動に活かしており、研究記録や引用した参考文献が正しく管理されている。		研究内容に関する社会の動向やニーズを把握し、自らの研究内容を社会へ発信する必要があることを理解の上、研究活動に活かすことができる。		研究内容に関する社会の動向やニーズを把握し、自らの研究内容を社会へ発信する必要があることを理解していない。	
2. 自主的に計画・立案し継続的に学習することができる。	問題解決に必要なことを自ら調べ、さらに、指導教員などと議論しながら、自らの意見も踏まえ研究計画を検討し、継続的に研究を遂行できる。		研究計画について、指導教員などと議論しながら、自らの意見も踏まえ検討し、研究を遂行できる。		研究計画について、指導教員からの指示がなければ立てられず、自主的に研究を遂行できない。	
3. 文献等(外国語文献を含む)を調査・読解することができる。	対象とする研究課題に関する文献等について外国語文献を含め広く探索・抽出し、その内容を十分に理解した上で、自らの研究に活かすことができる。		対象とする研究課題に関する文献等を探索・抽出し、その内容を理解した上で、自らの研究に活かすことができる。		対象とする研究課題に関する文献等を十分に探索・抽出できず、自らの研究に活かすことができない。	
4. 論文内容を要約して報告・発表することができる。	研究内容が論理的な整合性を保ちつつ要約され、口頭発表等において、他者の認知度に合わせて分かり易く伝えられることも十分な理解を得られ、質問にも的確に答えることができる。		研究内容を要約し、口頭発表等において、他者に分かり易く伝えることで理解を得られ、質問にも答えることができる。		研究内容を十分に要約できず、口頭発表等において、他者への十分な理解を得られず、質問にも的確に答えることができない。	
5. 研究成果を論文としてまとめ記述することができる。	研究内容を論文として体裁を守り、適切な参考文献を引用しつつまとめられ、その内容に論理的整合性があり、的確な表現で記述することができる。		研究内容を論文として体裁を守りつつ論理的にまとめ、正しい表現で記述することができる。		研究内容を論文として論理的にまとめて記述することができない。	
6. 研究に必要な情報機器を利用できる。	必要な情報機器について、その利用方法を熟知しつつ適切に使用し、研究活動に十分に活かすことができる。		必要な情報機器を適切に使用し、研究活動に活かすことができる。		必要な情報機器を十分に利用できず、研究活動に活かすことができない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	特別研究に関連する内容について学習する。学習題目により重点的に必要となる科目は異なるが、本科および専攻科の全授業科目が関連する。					
授業の進め方と授業内容・方法	下記の各専門分野について、担当指導教員のもと研究を行う。 ・せん断流の流動特性とその制御技術に関する研究 ・対流伝熱機器に関する伝熱性能評価とその応用 ・流体関連振動による機械構造物の破損防止技術に関する研究 ・機能性材料の創成および特性評価に関する研究 ・軽金属材料の溶接・接合継手の微細組織と機械的特性に関する研究 ・切削加工における加工精度向上に関する研究 ・精密切削加工における仕上げ面性状に関する研究 ・切削加工におけるインプロセス計測とその応用に関する研究 ・リモートセンシング及び制御技術とその応用に関する研究 ・微弱磁気装置に影響を及ぼす環境磁気雑音を低減する磁気シールドの遮蔽構造とその応用 ・ソフトコンピューティング（ファジィ、ニューラルネットワーク、進化プログラミング）を用いたシステムの最適化に関する研究 ・電子デバイスとその応用に関する研究					
注意点	各研究題目の割り振りは年度開始時に決定する。担当教員の指示を待つのではなく、各自積極的に取り組み、特別研究を計画的に進めること。正課の時間外に行なうこともあるので、実施報告書の作成が必要。専攻科1年の年度末には中間発表を行なう。学協会での発表等のスケジュールは各自確認しておくこと。					
授業計画						
	週	授業内容・方法			週ごとの到達目標	
前期	1週	指導教員の指導のもと、文献調、研究計画・立案、継続的学習を行う。			担当教員指導下で自主的に研究背景の調査・検討ができる。	
	2週	指導教員の指導のもと、文献調、研究計画・立案、継続的学習を行う。			担当教員指導下で自主的に研究背景の調査・担当教員指導下で自主的に研究背景の調査・検討ができる。	
	3週	指導教員の指導のもと、文献調、研究計画・立案、継続的学習を行う。			担当教員指導下で自主的に研究背景の調査・検討および研究計画が立案できる。	

出典：特別研究 I シラバス

出典：特別研究Ⅰ シラバス

資料名：「定めていることがわかる資料」

鹿児島工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		教科名	特別研究Ⅱ
科目基礎情報						
科目番号	0041		科目区分		専門 必修	
授業形態	実験・実習		単位の種別と単位数		履修単位: 10	
開設学科	機械・電子システム工学専攻		対象学年		専2	
開設期	通年		週時間数		15	
教科書/教材						
担当教員	徳永 仁夫, 田畑 隆英, 三角 利之, 小田原 悟, 宮田 千加良, 鎌田 清孝, 岸田 一也, 島名 賢児, 新田 敦司, 吉満 真一, 小原 裕也, 東雄一					
到達目標						
機械工学および電子制御工学に関する研究題目について実験・研究を行い、その成果を学協会で発表するとともに、特別研究発表会で発表し、特別研究論文にまとめる。一連の研究過程を実際に経験し、諸問題を解決する能力や機械工学及び電子制御工学に関する技術者となるための能力を養う。これらを通じて以下の項目を習得する。 1. 技術者としての社会への貢献と責任 2. 自主的に計画・立案し継続的に学習する能力 3. 文献等(外国語文献を含む)を調査・読解する能力 4. 論文内容を要約して報告するプレゼンテーション能力 5. 研究成果を論文としてまとめ記述する能力 6. 研究に必要な情報機器を利用できる能力						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
到達目標1	研究内容に関する社会の動向やニーズを把握し、自らの研究内容を社会へ発信する必要があることを理解の上、研究活動に活かしており、研究記録や引用した参考文献が正しく管理されている。		研究内容に関する社会の動向やニーズを把握し、自らの研究内容を社会へ発信する必要があることを理解の上、研究活動に活かすことができる。		研究内容に関する社会の動向やニーズを把握し、自らの研究内容を社会へ発信する必要があることを理解していない。	
到達目標2	問題解決に必要なことを自ら調べ、さらに、指導教員などと議論しながら、自らの意見も踏まえ研究計画を検討し、継続的に研究を遂行できる。		研究計画について、指導教員などと議論しながら、自らの意見も踏まえ検討し、研究を遂行できる。		研究計画について、指導教員からの指示がなければ立てられず、自主的に研究を遂行できない。	
到達目標3	対象とする研究課題に関する文献等について外国語文献を含め広く探索・抽出し、その内容を十分に理解した上で、自らの研究に活かすことができる。		対象とする研究課題に関する文献等を探索・抽出し、その内容を理解した上で、自らの研究に活かすことができる。		対象とする研究課題に関する文献等を十分に探索・抽出できず、自らの研究に活かすことができない。	
到達目標4	研究内容が論理的な整合性を保ちつつ要約され、口頭発表等において、他者の認知度に合わせて分かり易く伝えることで十分な理解を得られ、質問にも的確に答えることができる。		研究内容を要約し、口頭発表等において、他者に分かり易く伝えることで理解を得られ、質問にも答えることができる。		研究内容を十分に要約できず、口頭発表等において、他者への十分な理解を得られず、質問にも的確に答えることができない。	
到達目標5	研究内容を論文として体裁を守り、適切な参考文献を引用しつつまとめられ、その内容に論理的整合性があり、的確な表現で記述することができる。		研究内容を論文として体裁を守りつつ論理的にまとめ、正しい表現で記述することができる。		研究内容を論文として論理的にまとめて記述することができない。	
到達目標6	必要な情報機器について、その利用方法を熟知しつつ適切に使用し、研究活動に十分に活かすことができる。		必要な情報機器を適切に使用し、研究活動に活かすことができる。		必要な情報機器を十分に利用できず、研究活動に活かすことができない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	特別研究に関連する内容について学習する。学習題目により重点的に必要となる科目は異なるが、本科および専攻科の全授業科目が関連する。					
授業の進め方と授業内容・方法	下記の各専門分野について、担当指導教員のもと研究を行う。 ・せん断流の流動特性とその制御技術に関する研究 ・対流伝熱機器に関する伝熱性能評価とその応用 ・流体関連振動による機械構造物の破損防止技術に関する研究 ・機能性材料の創成および特性評価に関する研究 ・軽金属材料の溶接・接合継手の微細組織と機械的特性に関する研究 ・切削加工における加工精度向上に関する研究 ・精密切削加工における仕上げ面性状に関する研究 ・切削加工におけるインプロセス計測とその応用に関する研究 ・リモートセンシング及び制御技術とその応用に関する研究 ・微弱磁気装置に影響を及ぼす環境磁気雑音を低減する磁気シールドの遮蔽構造とその応用 ・ソフトコンピューティング(ファジィ、ニューラルネットワーク、進化プログラミング)を用いたシステムの最適化に関する研究 ・電子デバイスとその応用に関する研究					
注意点	各研究題目は原則として1年次のものを継続して行なう・担当教員の指示を待つのではなく、各自積極的に取り組み、特別研究を計画的に進めること。正課の時間外に行なうこともあるので、実施報告書の作成が必要。大学評価・学位授与機構へのレポート提出、小論文、学協会での発表等のスケジュールは各自確認しておくこと。 評価において、前刷原稿の提出、特別研究論文の提出および研究発表のいずれかが欠けた場合、成績評価は60点未満とする。また、専攻科在学中に各種学協会等が主催あるいは後援する学術講演会等において、特別研究に関する研究発表を必ず行なうこととし、学外発表を行わない場合の成績評価は60点未満とする。ただし、本科における卒業研究指導教員と専攻科における特別研究指導教員が同じで、研究内容が類似である場合に限り、専攻科生が5年次に学協会発表を実施したものであれば、専攻科在学中における研究発表は免除できる。					
授業計画						
	週	授業内容・方法			週ごとの到達目標	

出典：特別研究Ⅱ シラバス

資料名：「目的等ごとに、実施体制が整備されていることがわかる資料」

	玉利					島名				
	氏名	学科	専門	医工学	人工知能	氏名	学科	専門	加工工学	制御情報
1	井手	電気電子	無線通信		○	渡辺	機械	制御工学		○
2	新田	制御	電子デバイス	○		白石	機械	制御工学		○
3	鎌田	制御	環境磁気計測	○		徳永	機械	材料学	○	
4	レーマン	一般	外国語		○	東	機械	機械加工	○	
5	玉利	情報	生体情報	○		小田原	機械	機械力学	○	
6	入江	情報	計算機ネットワーク		○	宮田	制御	リモートセンシング		○
7	新徳	情報	ヒューマンインターフェイス		○	島名	制御	機械加工	○	
8	武田	情報	分散並列処理		○	吉満	制御	機械加工	○	
9	原	情報	分散並列処理		○	小原	制御	機械加工	○	
10	古川	情報	画像処理	○		瀬戸山	制御	制御工学		○
11	坂元	一般	外国語		○	室屋	制御	パワーエレクトロニクス		○
12	今村	電気電子	情報工学			幸田	情報	信号処理		○
13	池田(昭)	一般	物理	(鎌田先生と連携(磁気))		逆瀬川	電気電子	パワーエレクトロニクス		○
14	豊平	情報	ソフトウェア	○		堂込	情報	ソフトウェア工学		○
15	前園	電気電子	アルゴリズム	○						
16	岸田	制御	ソフトコンピューティング		○					
17	福添	制御	画像認識		○					
18										

特別研究指導教員資格者

併任教員

基礎教育専任専門教員

・グループごとに大学との連携を図る。

現科研費保有者

H25～29年度の間で科研費に採択実績のある教員

川添					中村					松田		
氏名	学科	専門	バイオ・ジオテック	エネルギー	氏名	学科	専門	工学基礎	ICT	氏名	学科	専門
堤	都市環境	地盤・構造	○		南金山	機械	塑性加工	○		篠原	一般	物理
山内	都市環境	環境・廃棄物	○		室屋	制御	パワーエレクトロニクス		○	松田	一般	国語
川添	都市環境	構造・材料	○		奥	電気電子	超伝導		○	田中	一般	国語
山田	都市環境	環境・衛生	○		中村	電気電子	教育工学		○	拜田	一般	数学
山田(新任)	都市環境	コン・材料	○		濱川	情報	ニューラルネットワーク		○	嶋根	一般	数学
池田(正)	都市環境	コン・材料	○		前園	電気電子	アルゴリズム		○	村上	一般	数学
内田	都市環境	都市計画	○		入江	情報	計算機ネットワーク		○	町	一般	社会
三角	機械	熱工学		○	幸田	情報	信号処理		○	嵯峨原	一般	外国語
田畑	機械	流体工学		○	野澤	一般	物理	○		塚崎	一般	外国語
椎	機械	流体工学		○	大竹	一般	化学	○		北園	一般	体育
三原	一般	化学	○		松浦	一般	数学	○		堂園	一般	体育
極根	電気電子	エネルギー変換		○	白坂	一般	数学	○				
栢	電気電子	高電圧		○	熊谷	一般	数学	○				
中村	電気電子	教育工学		○	鞍掛	一般	外国語	○				
屋地	電気電子				保坂	一般	外国語	○				
					須田	電気電子	電子デバイス		○			
					塚本	機械	機械加工	○				

特別研究指導教員資格者

併任教員

基礎教育専任専門教員

・グループごとに大学との連携を図る。

現科研費保有者

H25～29年度の間で
科研費に採択実績のある

出典：平成30年度分野別研究グループ

資料名：「目的等ごとに、研究体制が整備されていることがわかる資料」



鹿児島高専 研究シーズ集

2018年版

2018年8月発行

出典：鹿児島高専研究シーズ集

<http://www.kagoshima-ct.ac.jp/enterprise/seeds-collection/>

資料名：「目的等ごとに、研究体制が整備されていることがわかる資料」 つづき

研究シーズ

鹿児島高専では「地域に技術で貢献」できることを目指して日々の研究活動を推進しています。開校以来、長年培い、育んできた有形、無形の研究成果が数多く存在します。ここでは、それらをベースにした鹿児島高専の研究シーズを紹介します。研究シーズが糸口となり、地域社会、地域経済界との協力関係が更に強まり、鹿児島高専の研究成果が有効に活用されることを念願しています。

テーマ	氏名	頁
一般教育科		
太陽活動の地球磁気圏・電離圏への影響調査	池田 昭大	1
竹炭等の自然物を利用した河川等の水質浄化	大竹 孝明	2
総合型地域スポーツクラブをベースにした生涯スポーツ社会の充実	北薮 裕一	3
社員の英語指導（英検、TOEIC、海外派遣事前研修等）の支援	嵯峨原 昭次	4
宇宙天気予報（宇宙電磁環境）と 地磁気観測	篠原 学	5
位相空間論（General Topology）	嶋根 紀仁	6
問題解決のための戦略（Strategies of Problem-Solving）	白坂 繁	7
文章作法及び日本語表現	田中 智樹	8
スポーツクラブの経営戦略に関する研究（地域・トップレベルスポーツクラブ）	堂園 一	9
太陽紫外線の地上観測	野澤 宏大	10
自転車発電・太陽光発電によるエネルギー教育	野澤 宏大	11
偏微分方程式論	拜田 稔	12
電子化された教材資料とコミュニケーション授業	保坂 直之	13
鹿児島県の民俗文化に関する研究	町 泰樹	14
多変量解析を用いたテキスト分析	松田 信彦	15
機械工学科		
水素エネルギー発生原理の解明とエネルギー問題の本質についての調査研究	小田原 悟	16
マイクロ水力発電に適用する水車の開発	椎 保幸	17
位置決め装置の高速高精度化に関する実用的な制御技術	白石 貴行	18
可視化情報システムを用いた流れの可視化（2円管から流出する脈動噴流）	田畑 隆英	19
FEMを用いた構造解析	塚本 公秀	20
新機能性材料の創成と特性評価	徳永 仁夫	21
高速度加工機を用いた塑性加工技術の開発	南金山 裕弘	22
Mg合金を用いた超音波接合継手の接合性評価	東 雄一	23
自然対流の伝熱促進技術	三角 利之	24
メカトロニクス機器の高速位置決め制御	渡辺 創	25
電気電子工学科		
ソフトウェア無線技術	井手 輝二	26
視野拡大リハビリ支援ソフトの開発	今村 成明	27
多元素組成薄膜の作製プロセスに関する研究	奥 高洋	28
絶縁耐圧試験用電源の開発	檜根 健史	29
ACサーボドライブシステムの設計	逆瀬川 栄一	30
細胞分別・操作用バイオMEMSの開発	須田 隆夫	31
半導体工学・集積回路製造技術の教育	須田 隆夫	32
簡単電子工作、組み込みマイコン教育用の教材開発	須田 隆夫	33
予防保全技術『油中部分放電検出に関する研究』	中村 格	34
ものづくり講座・電力教室の企画および実施	中村 格	35
LED応用照明器具のEMC特性と電気特性の測定	戸 健一	36
螺旋交叉遺伝的プログラミングを用いた画像フィルタ設計	前薮 正宜	37

出典：鹿児島高専研究シーズ集

資料名：「目的等ごとに、研究体制が整備されていることがわかる資料」 つづき

テーマ	氏名	頁
電子制御工学科		
環境磁気雑音の特性把握と低減技術に関する研究	鎌田 清孝	38
ファジィ・ニューラルネットワークによる制御ルールの開発	岸田 一也	39
光学ガラスBK7の精密加工	小原 裕也	40
CAEを用いた製品設計	島名 賢児	41
エンドミル加工における加工精度の向上	島名 賢児	42
トルクユニットで駆動する回転リンク系の姿勢制御による研究	瀬戸山 康之	43
多層型透明導電膜に関する研究	新田 敦司	44
インクジェット法を用いた透明導電膜に関する研究	新田 敦司	45
画像認識を用いた研究開発	福添 孝明	46
衛星画像を用いた研究	宮田 千加良	47
振動特性に関する研究	宮田 千加良	48
表計算ソフトを用いた電動機駆動制御シミュレーション	室屋 光宏	49
工作機械の加工状態監視と制御	吉満 真一	50
情報工学科		
ネットワークの利便性向上を助ける技術	入江 智和	51
床下検査ロボットの開発 演奏ロボットの開発	幸田 晃	52
遠隔コミュニケーション支援のためのヒューマンインタラクション解析	新徳 健	53
オブジェクト共有空間を用いた分散並列処理システム	武田 和大	54
気象環境モニタリングのための情報ネットワークシステム	武田 和大	55
生体磁気刺激に関する研究	玉利 陽三	56
集团的トレース仕様からのソースコード合成	堂込 一秀	57
各種センサー応用に関する研究	豊平 隆之	58
ニューラルネットワークを用いた研究	濱川 恭央	59
波形解析に関する研究	濱川 恭央	60
分散並列処理のためのオブジェクト共有空間の拡張	原 崇	61
画像処理および画像認識に関する研究	古川 翔大	62
都市環境デザイン工学科		
火山性骨材のコンクリートへの有効利用	池田 正利	63
複素応力関数を用いた二重連結領域の力学解析	堤 隆	64
有機性廃棄物(焼酎粕)の高度資源化技術の開発(その1)	山内 正仁	65
有機性廃棄物(焼酎蒸留粕)の高度資源化技術の開発 (その2)	山内 正仁	66
未利用資源を活用した高性能建設材料の開発	山田 宏	67
各種廃水からの微生物によるエネルギー回収技術の開発	山田 真義	68
技術室		
技術室職員の専門技術分野と研究	山下 俊一 (代表)	69
金属材料強度試験	原田 正和・油田 功二	70
機械の分解組み立てを通してのものづくり基礎教育に関する研究	上野 孝行	71
再生可能エネルギーの電氣的利用に関する研究	永田 亮一	72
機械加工における高品位な加工面を得るための加工法の検討	原田 正和	73
スラット両面の特性を活用した省エネ対応のブラインド	原田 正和	74
地域のシラスを活かした混合セメントの開発	福永 隆之	75
CAEを用いた工作機械の解析	松尾 征一郎	76
工作機械の熱変位補正制御に関する研究	山下 俊一	77
共同研究・寄附金申込の流れ		78

出典：鹿児島高専研究シーズ集

資料名：「目的等ごとに、支援体制が整備されていることがわかる資料」

平成30年度鹿児島工業高等専門学校予算配分方針

1. 平成30年度当初予算の概要について

独立行政法人国立高等専門学校機構の運営費については、運営費交付金算定ルールに基づき、特別教育研究経費及び特殊要因経費等を除き1%から3%の予算減額（効率化）を図ることとされている。また特別教育研究経費などの使途特定予算は増えているものの、人件費については人事院勧告や地域手当改正等による増額が見込まれており、前年度に増して厳しい財政状況にある。

今後も引き続き予算減額が見込まれることから、本校においても限られた予算の範囲で効率的な業務運営を行えるよう、より一層の経費節減に努めるとともに、厳格かつ計画的な予算執行管理を行うことが重要となってくる。

途中省略

(3) 校長裁量経費

校長裁量経費については、前年度同様、研究活動に対し重点的な予算配分を行う。

- ・「新任教員スタートアップ経費（1人当たり50万円）」については、平成30年度対象者が3名（前年度比＋2名）であるため、100万円増額して配分した。
- ・「外部資金獲得推進経費」については、平成30年度に科学研究費を新規獲得した者及びA判定を獲得した者に、1人当たり5万円を配分する。また平成30年度の科学研究費を申請していなかった者が、科学研究費に申請した場合には、1人当たり5万円を配分することとした。

以下省略

出典：平成30年度鹿児島工業高等専門学校予算配分方針

資料名：「目的等ごとに、支援体制が整備されていることがわかる資料」

平成 29 年 7 月 14 日

第 5 ブロック研究推進責任者各位

鹿児島工業高等専門学校長

丁子 哲治

鹿児島工業高等専門学校専攻科長

山内 正仁

研究力向上と科研費獲得のための研究発表会の開催について（ご案内）

拝啓

皆様におかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび鹿児島高専では、下記の通り教員の科研費獲得に向けた研究発表会を計画しております。現在、高専を取り巻く環境は厳しく、中でも教員の研究力向上が期待されております。そのため、本校では昨年度より「中堅・若手教員の研究力向上を目指した研究発表会」を実施してまいりました。今年度は、研究力向上に加え、より実践的に科研費の獲得を目指した研究発表会を開催いたします。

つきましては、高専間の連携や交流を深化させるために、研究力向上や科研費獲得を目指す第 5 ブロックの専門学科教員の皆様からも発表者を募集しております。お互いの研究の糧となる有意義な会となるよう、ふるってご参加いただきますようお願い申し上げます。発表者については、全体で 5 名程度を予定しておりますので、各高専 1 名でお願いいたします。（複数名候補がいる場合は、学内で選抜いただくようお願いいたします。参加申込が予定人数を超えた場合は、本校で調整させていただきます。）

なお、外部の研究者をアドバイザー（科研費等大型補助金獲得実績の豊富な大学教員、審査委員経験者など）として招聘する予定です。発表会終了後に意見交換の場を設けますので、今後の科研費獲得へのステップとしてご活用ください。

また、「科研費獲得のための研究発表会」及び「科研費獲得に向けた講演会」の聴講についても併せて募集しておりますので、各高専からの参加をお待ちしております。

敬具

記

1. 研究発表会の趣旨

高専第 5 ブロック教員の研究力向上、ならびに、今年度の科研費採択率の向上に寄与することを目的としています。各高専から参加された教員におかれましては、本研究発表会で得た科研費獲得のための手法を各高専の教員へ周知くださるようお願いいたします。

2. 想定される研究者

平成 29 年度の科研費申請において、A 評価を受けた第 5 ブロックの専門学科教員、または研究費（特に科研費）獲得に意欲的な教員

出典：平成 29 年度研究力向上と科研費獲得のための研究発表会案内

資料名：「目的等ごとに、支援体制が整備されていることがわかる資料」 つづき

3. 期日

第1日目：研究発表会 2017年9月4日（月）9：00～（予定）

第2日目：研究発表会 2017年9月5日（火）9：00～12：00（予定）

科研費獲得に向けた講演会 2017年9月5日（火）13：30～15：30（予定）

4. 会場

鹿児島高専 大会議室および中会議室

5. 申し込み締切日等

①発表申し込み： 2017年8月3日（木）12時までに、所属機関・氏名・所属・職名・連絡先・発表タイトルを「参加申込書」（メール添付）にてお知らせください。（原則、各高専1名でお願いします）

プレゼン資料・配布資料提出：2017年8月31日（木）17時

②聴講申し込み： 「聴講申込書」に必要事項を記載の上、「参加申込書」と併せてメール添付にてお知らせください。（8月31日（木）17時まで追加受付いたします）

*いずれの締切も、期日厳守でお願いいたします。

6. 申し込み先

鹿児島工業高等専門学校 企画係

メール：kikaku@kagoshima-ct.ac.jp 電話：0995-42-9038／FAX：0995-43-4271

7. その他

*発表内容については、先生方の現在実施している研究内容、今後の研究計画を30分程度でご準備ください。発表後に質疑応答（30分程度）を行ないます。また、パワーポイントによるプレゼン資料の作成もお願いいたします。

*すべての発表の終了後、専門分野に応じて、アドバイザーからのコメントを受けていただきます。これには、発表者の専門分野に応じて外部の研究者をアドバイザーとして招聘する予定です。今後の科研費獲得へのステップとしてご活用ください。

*研究内容・研究計画については、今年度の科研費申請を考え、研究の学術的背景や特色、独創的な点等を分かりやすく説明してください。

*発表時間帯については、申し込みがそろい次第、あらためてご連絡差し上げます。

*発表者の旅費については、本校の研究推進モデル校経費からお支払いします。

以上

資料名：「目的等ごとに、支援体制が整備されていることがわかる資料」

平成 30 年 7 月 18 日

第 5 ブロック各校長

第 5 ブロック各校研究推進責任者 殿

鹿児島工業高等専門学校長

丁子 哲治

鹿児島工業高等専門学校

研究推進責任者

副校長（専攻科長） 山内 正仁

研究力向上と科研費獲得のための研究発表会の開催について（ご案内）

拝啓

皆様におかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび鹿児島高専では、下記のとおり教員の科研費獲得に向けた研究発表会を計画いたしました。現在、高専を取り巻く環境は厳しく、その中でも教員の研究力向上が期待されていることから、昨年度と同様、第 5 ブロック各校の教員に標記研究発表会にご参加頂きたいと存じます。

なお、標記研究発表会において高専間の連携や交流を深化させるために、研究力向上や科研費獲得を目指す第 5 ブロックの専門学科教員の皆様からも発表者を併せて募集いたします。お互いの研究の糧となる有意義な会となるよう、ふるってご参加いただきますようお願い申し上げます。発表者については、全体で数名程度を予定しておりますので、各高専原則 1 名以内でお願いいたします。（候補者が複数いる場合は、各高専で選抜いただくようお願いいたします。参加申込が予定人数を超えた場合は、本校で調整させていただきます。）

また、外部の研究者（科研費等大型外部資金獲得実績の豊富な教員、審査委員経験者など）をアドバイザーとして招聘する予定です。発表会終了後には意見交換の場を設けますので、今後の科研費獲得へのステップとしてご活用ください。

おって、「研究力向上と科研費獲得のための研究発表会」及び「科研費獲得に向けた講演会」の聴講についても併せて募集しておりますので、各高専からの参加をお待ちしております。

敬具

記

1. 研究発表会の趣旨

第 5 ブロック全体における教員の研究力向上、ならびに、来年度以降の科研費採択率の向上に寄与することを目的としています。各高専から参加された教員におかれましては、本研究発表会で得た科研費獲得のための手法を各高専の教員へ周知くださるようお願いいたします。

出典：平成 30 年度研究力向上と科研費獲得のための研究発表会案内

資料名：「目的等ごとに、支援体制が整備されていることがわかる資料」 つづき

2. 想定される参加者

平成30年度の科研費申請において、A評価を受けた第5ブロックの専門学科教員、または研究費（特に科研費）獲得に意欲的な教員

3. 期日

第1日目：①研究発表会 平成30年9月10日（月）9：00～17:00（予定）

第2日目：②科研費獲得に向けた講演会 平成30年9月11日（火）9：30～11:30（予定）

4. 会場

①鹿児島高専 中会議室

②鹿児島高専 大講義室

5. 申し込み締切

①発表： 平成30年8月2日（木）12時までに、所属機関・氏名・所属・職名・連絡先・発表タイトルを「参加申込書」（メール添付）にてお知らせください。（各高専原則1名以内でお願いします）

プレゼン資料・配布資料提出：平成30年9月5日（水）17時

②聴講： 平成30年8月2日（木）12時までに、「聴講申込書」に必要事項を記載の上、メール添付にてお知らせください。

*いずれの締切も、期日厳守でお願いいたします。

6. 申し込み先

鹿児島工業高等専門学校 企画係

メール：kikaku@kagoshima-ct.ac.jp 電話：0995-42-9038／FAX：0995-43-4271

7. その他

*発表内容については、現在実施している研究内容、今後の研究計画を30分程度でご準備ください。

発表後に質疑応答（30分程度）を行ないます。また、パワーポイントによるプレゼン資料の作成もお願いいたします。

*すべての発表終了後、アドバイザーからコメントを頂きます。発表者の専門分野に応じ、外部の研究者をアドバイザーとして招聘する予定です。今後の科研費獲得へのステップとしてご活用ください。

*研究内容・研究計画については、今年度の科研費申請を考え、研究の学術的背景や特色、独創的な点等を分かりやすく説明してください。

*発表時間帯については、発表者が決定次第、あらためてご連絡差し上げます。

*発表者の旅費については、本校の研究推進モデル校事業経費からお支払いします。

以上

資料名：「研究活動の実施状況がわかる資料」

鹿児島工業高等専門学校
研究報告 50 (2015)

鹿児島工業高等専門学校 教職員研究業績
(2014年4月1日～2015年3月31日)

【学術研究論文(査読付)】

発表者名	学術研究論文等の名称	発行又は発表の年月	発表雑誌等の名称, 巻, 号, 頁
江崎 秀司(機械工学科) 小林 崇浩 大能 正之 金子 敏之	多段吸収を用いた低温水吸収冷凍機の温水下限温度特性	2014年6月	Web 日本機械学会論文集 80巻 814号 pp.1～14 (14) 2014-06
汪 文学 松原 監壮 小田原 悟(機械工学科) 大屋 裕二 鳥谷 隆	シュラウド型風車のCFRP ブレードの動的力学挙動に及ぼす鏝付きディフューザーの影響	2015年2月	冊子 日本風力エネルギー学会誌 38巻 4号 pp.98～104 (7) 2015-02
Kimihide Tsukamoto(機械工学科)* Takayuki Ueno(技術室) Masakazu Harada(技術室) Yuichi Higashi(機械工学科)	The advantage of developing the teaching materials by a cooperation with a teacher and a student	2014年10月	冊子 4th Asian Conference on Engineering Education 熊本大学 pp.47～50 2014-10
Kenji Shimana(電子制御工学科) Eiji Kondo Shunichi Yamashita(技術室) Yoshihiro Kawano Norio Kawagoishi	Estimation of Machining Error in Ball-End Milling of Hemispherical Surface based on Measured Cutting Force	2014年9月	Advanced Materials Research 1017巻 pp.692～695 2014-09
Kenji Shimana(電子制御工学科) Eiji Kondo Ai Yoshidome Shunichi Yamashita(技術室) Yoshihiro Kawano	Monitoring of Cutting Process in End Milling of Hard and Brittle Materials	2014年12月	Journal of Machine Engineering 14巻 4号 pp.55～64 2014-12
Ichiro Iimura Kazuhiro Takeda(情報工学科) Shigeru Nakayama	An Experimental Study on Quantum-Entangled Cooperative Behavior in Swarm Intelligence	2014年8月	Web International Journal of Emerging Technology and Advanced Engineering 4巻 8号 pp.580～586 (7) 2014-08
黒田 恭平 幡本 将史 中村 明靖 阿部 憲一 山田 真義(都市環境デザイン工学科) 山内 正仁(都市環境デザイン工学科) 山口 隆司	各種廃水処理槽内汚泥に存在する門レベル未培養系統分類群の処理方式に応じた出現パターン	2014年8月	土木学会論文集G(環境) 70巻 3号 pp.42～52 2014-08
保坂 直之(一般教育科・文系)	連作構造から見たトラークルの『カスパー・ハウザーの歌』	2014年10月	冊子 トラークル研究 11号 pp.54～76 (0) 2014-10

【国際会議のプロシーディングスなど】*印 講演発表者

発表者名	学術研究論文等の名称	発行又は発表の年月	発表雑誌等の名称, 巻, 号, 頁
Yuichi Higashi(機械工学科)* Chihiro Iwamoto Yoshihito Kawamura	Microstructure and mechanical properties of Mg96Zn2Y2 alloy joint bonded by ultrasonic wire welding	2014年10月	冊子 The 2nd International Symposium on Long-Period Stacking Ordered Structure and Its Related Materials http://www.msre.kumamoto-u.ac.jp/LPSO2014/ Hotel Nikko Kumamoto, Kumamoto, JAPAN pp.106～106 (0) 2014-10
小田原 悟(機械工学科)*	Effect of Variations of Yaw Angle on the Service Strains of Blade of Wind-lens Turbine	2014年7月	CD-ROM Grand Renewable Energy 2014 International Conference and Exhibition http://www.grand-re2014.org/index.html 東京 pp.1～4 (4) 2014-07
Wen-Xue Wang* Terutake Matsubara Satoru Odahara(機械工学科) Yuji Ohya Takashi Karasutani	Effects of the Flanged Diffuser on The Dynamic Behavior of CFRP Blade of a Shrouded Wind Turbine	2014年7月	CD-ROM Grand Renewable Energy 2014 International Conference and Exhibition http://www.grand-re2014.org/index.html 東京 pp.1～4 (4) 2014-07
Yuki Kamikubo* Kimihide Tsukamoto(機械工学科)	The measurement of vibration on Violin's sound-box with playing	2014年10月	冊子 4th Asian Conference on Engineering Education 熊本大学 pp.233～236 (4) 2014-10

出典：研究報告 No.50 (2015)

資料名：「研究活動の実施状況がわかる資料」 つづき

鹿児島工業高等専門学校
研究報告 50 (2015)

発表者名	学術研究論文等の名称	発行又は発表の年月	発表雑誌等の名称, 巻, 号, 頁
Yuki Kitazono* Kimihide Tsukamoto(機械工学科)	The Simulation of the Stress Distribution at a Tuned Violin	2014年10月	冊子 4th Asian Conference on Engineering Education 熊本大学 pp.195~198 (2) 2014-10
Syouta Yokei* Kimihide Tsukamoto(機械工学科)	Measurement of the vibration in machining	2014年10月	冊子 4th Asian Conference on Engineering Education 熊本大学 pp.253~254 (2) 2014-10
Ryuta Tsurunaga* Kimihide Tsukamoto(機械工学科)	Making a Violin with using the 3D-printer	2014年10月	冊子 4th Asian Conference on Engineering Education 熊本大学 pp.213~214 (2) 2014-10
Takayuki Shiraishi (機械工学科)* Hiroshi Fujimoto	A Reference Trajectory Generation for System with Unstable Zeros Considering Negative-time Domain Analysis	2015年3月	USB-Memory Proceedings of the first IEEEJ international workshop on Sensing, Actuation, and Motion Control 2015, IS7-6 (6) 2015-3
Chaen Takuyo* Takayuki Shiraishi(機械工学科)	A Stable Reference Trajectory Generation Method for System with 2-unstable Continuous Zeros	2015年3月	USB-Memory Proceedings of the first IEEEJ international workshop on Sensing, Actuation, and Motion Control 2015, V-15 (2) 2015-3
逆瀬川 栄一(電気電子工学科) 宮川 隆寛 山本 吉朗 篠原 勝次*	A Control Method of Wind Power System Using a Doubly Fed Wound Rotor Induction Generator and Suppression of Tower Shadow Effect	2014年5月	CD-ROM 3rd International Conference on the Developments in Renewable Energy Technology(ICDRET'14) 2014 Dhaka, Bangladesh (6) 2014-05
Kenji Kashine*(電気電子工学科) Syunsuke Iwasaki Takashi Fujimoto	Report on the subject of Aqua-Mechatronics Training Program in Yuge National College of Maritime Technology	2014年9月	International Symposium on Advances in Technology Education, Nanyang Polytechnic, Singapore 2014-09
Kayoko Hayashi(情報工学科)* Toru Yamamoto	PID Controller Design Based on Minimizing Generalized Output Errors	2014年5月	冊子 ADCONIP 2014 Hiroshima, Japan (6) 2014-05
Ichiro Iimura* Kazuhiro Takeda(情報工学科) Shigeru Nakayama	A Basic Study on Quantum Cooperation of Three Entangled Ants	2015年2月	冊子 Proceedings of the 2015 RISP Int. Workshop on Nonlinear Circuits, Communications and Signal Processi Kuala Lumpur, Malaysia pp.106~109 (4) 2015-02
Seita KUKINO* Takashi TSUTSUMI(都市環境デザイン工学科)	Modification of Boundary Condition in Theoretical Model for Diametrical Compression Test	2014年11月	CD-ROM Proceedings of 4th International Symposium on Technology for Sustainability Taipei, R.O.C. (Taiwan) (4) 2014-11
Kyohei Kuroda* Masashi Hatamoto Akinobu Nakamura Masahito Yamauchi(都市環境デザイン工学科) Masayoshi Yamada(都市環境デザイン工学科) Takashi Yamaguchi	Phylogenetic diversity analysis of microorganisms relevant to anaerobic/anoxic wastewater treatment	2014年11月	冊子 The 3rd International Symposium on Technology for Sustainability Tsing Yi Island, Hong Kong pp.265~266 (2) 2014-11

【国内学会等発表】*印 講演発表者

発表者名	学術研究論文等の名称	発行又は発表の年月	発表雑誌等の名称, 巻, 号, 頁
中間 走* 川崎 雄太郎 江崎 秀司(機械工学科)	曲がりを伴う矩形管の急収縮急拡大損失特性	2014年10月	USBに収録されたPDFファイル 日本機械学会第92期流体工学部門講演会 富山市 pp.1~2 (2) 2014-10
川崎 雄太郎* 江崎 秀司(機械工学科)	矩形管における曲がりを伴う急収縮急拡大の流動解析	2014年12月	冊子 第24会九州沖縄地区高専フォーラム要旨集 有明高専 pp.31~31 (0) 2014-12
江崎 秀司(機械工学科)* 山田 孝行(技術室) 大竹 孝明(一般教育科・理系)	課外活動を活用した実践的な制御工学教育(第4報, エコラン専用独自開発CDIの回路設計)	2014年12月	冊子 第24会九州沖縄地区高専フォーラム講演要旨集 有明高専 pp.32~32 (1) 2014-12

資料名：「研究活動の実施状況がわかる資料」 つづき

鹿児島工業高等専門学校
研究報告 50 (2015)

発表者名	学術研究論文等の名称	発行又は発表の年月	発表雑誌等の名称、巻、号、頁
東 雄一(機械工学科)* 岩本 知広 河村 能人	超音波接合によって接合されたMg96Zn2Y2合金の微細構造の特徴	2014年9月	DVD-ROM 日本金属学会 2014年 秋季講演大会 名古屋大学 (0) 2014-09
末永 圭一* 中島 優貴 安達 直紀 東 雄一(機械工学科) 岩本 知広	AZ31Bマグネシウム合金の超音波接合	2015年3月	DVD-ROM 日本金属学会 2015年 春季講演大会 東京大学駒場I地 区キャンパス (1) 2015-03
東 雄一(機械工学科)* 末永 圭一 岩本 知広 河村 能人	プラグ破断を示した押出Mg96Zn2Y2合金の超音波接合継手	2015年3月	DVD-ROM 日本金属学会 2015年 春季講演大会 東京大学駒場I地 区キャンパス (1) 2015-03
池田 英幸(機械工学科)* 吉岡 慧太 山田 孝行 若生 潤一 岡林 巧	円管内積層ガラスビーズのタッピングによる底面荷重変化に関する研究	2014年9月	USB 日本機械学会九州支部 大分 講演会 大分市 (0) 2014-09
三角 利之(機械工学科) 田實 宗太郎* 北村 健三 光石 暁彦	鉛直方向に等間隔配置された垂直加熱平板列まわりの自然対流の伝熱特性	2015年3月	冊子 日本機械学会九州支部講演 論文集 福岡大学工学部 pp.241 ~242 (2) 2015-03
田畑 隆英(機械工学科)* 中塩屋 徹 李鹿 輝	5角形ダクトから流出する噴流のウェーブレット解析	2014年7月	USBメモリー 可視化情報学会 第42 回可視化情報シンポジウム講演論 文集 工学院大学新宿キャンパス (東京都新宿区) pp.265~266 (2) 2014-07
田畑 隆英(機械工学科)* 山下 翔伍 李鹿 輝	変形するノズルから流出する噴流のウェーブレット解析	2014年7月	USBメモリー 可視化情報学会 第 42回可視化情報シンポジウム講演論 文集 工学院大学新宿キャンパス (東京都新宿区) pp.267~268 (2) 2014-07
田畑 隆英(機械工学科)* 中塩屋 徹	5角形ダクトから流出する噴流	2014年9月	日本機械学会2014年度年次大会 東京電機大学東京千住キャンパス (東京都足立区) 2014-09
田畑 隆英(機械工学科)* 山下 翔伍	変形するノズルから流出する噴流	2014年9月	日本機械学会2014年度年次大会 東京電機大学東京千住キャンパス (東京都足立区) 2014-09
田畑 隆英(機械工学科)* 山下 翔伍	変形するノズルから流出する噴流	2014年9月	日本機械学会九州支部大分講演会 論文集 ホルトホール大分(大分 市) 2014-09
田畑 隆英(機械工学科)* 中塩屋 徹	5角形ダクトから流出する噴流	2014年9月	日本機械学会九州支部大分講演会 論文集 ホルトホール大分(大分 市) 2014-09
田畑 隆英(機械工学科)* 山下 翔伍	変形するノズルから流出する噴流	2014年10月	日本機械学会第92期日本機械学会 流体工学部門講演会 富山大学 五福キャンパス(富山市) pp.503~ 2014-10
種田 和晃* 井手 輝二(電気電子工学科) 藤井 威生 眞田 幸俊	ダイレクトコンバージョン方式受信機の位相振幅補償方式の検討	2015年3月	CD-ROM 電子情報通信学会 2015 年総合大会 立命館大学(滋賀県 草津市) (1) 2015-03
中村 格(電気電子工学科)* 毛利 洋子(都市環境デザイン工学科) 林 香予子(情報工学科) 永井 翠 原田 治行(電子制御工学科) 前菌 正宜(情報工学科) 永田 亮一(技術室)	鹿児島高専における女子中学生のための公開講座の試み	2014年12月	冊子 電気学会教育フロンティア研 究会 京都 pp.59~63 (5) 2014-12
中村 格(電気電子工学科)* 前菌 正宜(情報工学科) 永田 亮一(技術室) 松尾 征一郎(技術室)	鹿児島高専電気電子工学科における地方自治体と連携した工作教室	2015年3月	平成27年電気学会全国大会 東京 pp.5~5 2015-03
福添 孝明(電子制御工学科)*	九州5高専校内LANシステムにおける鹿児島高専に関する導入報告	2014年8月	Web 平成26年度全国高専教育 フォーラム http://www.kosenforum.kosen-k.go.jp/?page_id=1454 金沢大学 pp.550~551 (2) 2014-08

資料名：「研究活動の実施状況がわかる資料」 つづき

鹿児島工業高等専門学校
研究報告 50 (2015)

発表者名	学術研究論文等の名称	発行又は発表の年月	発表雑誌等の名称, 巻, 号, 頁
東 啓介* 原田 治行(電子制御工学科)	ハンドジェスチャーの筋電図を用いたリアルタイム制御システムの構築	2014年9月	CD-ROM 電子情報通信学会九州支部学生会講演会 鹿児島大学(郡元キャンパス) pp.48~48 (0) 2014-09
西川 央哲* 鎌田 清孝(電子制御工学科)	磁気シールドルーム開口部の漏洩磁界を低減する遮蔽方法に関する検討	2014年9月	CD-ROM 第22回電子情報通信学会九州支部学生会講演会 http://www.ieice.org/kyushu/koen-hp/program/progra 鹿児島 (1) 2014-09
鎌田 清孝(電子制御工学科)* 内門 大地	MRIのためのエレベータに起因する変動磁場を低減するシャフト壁の遮蔽方法の検討 その2	2015年3月	CD-ROM 平成27年電気学会全国大会 http://www.gakkai-web.net/gakkai/iee/program/2015/ 東京 (0) 2015-03
内村 聡克* 室屋 光宏(電子制御工学科)	植物工場における栽培用光源の制御	2014年9月	CD-ROM 2014年度電子情報通信学会九州支部学生会講演会・講演論文集 鹿児島大学工学部 (0) 2014-09
植村 眞一郎(電子制御工学科) 竹下 智之*	人型サイズロボットにおけるボールねじを用いた直動システムによる関節機構の基礎的研究	2014年9月	CD-ROM 機械学会2014年度年次大会 東京電機大学 (4) 2014-09
有村 凌* 宮田 千加良(電子制御工学科)	リモートセンシングにおけるGCPポイントと高さ情報算出に関する研究	2014年9月	CD-ROM 電子情報通信学会九州支部学生会講演会 鹿児島大学(郡元キャンパス) (1) 2014-09
室屋 知佐* 堂込 一秀(情報工学科)	IoTシステム開発におけるステートマシン自動生成系の導入	2014年9月	CD-ROM 平成26年度電気関係学会九州支部連合大会講演論文集 鹿児島 (1) 2014-09
原 崇(情報工学科)* 小島 涼祐 植村 大介	Android端末が参加できる分散並列処理システムの研究	2015年2月	2014年度情報文化学会九州支部研究会 熊本県立大学(熊本県) (0) 2015-02
原 崇(情報工学科)* 今村 優弥	粘菌アルゴリズムのナップサック問題への適用	2015年2月	2014年度情報文化学会九州支部研究会 熊本県立大学(熊本県) (0) 2015-02
林 香予子(情報工学科)*	専門導入科目における学習意欲向上への試み	2014年4月	冊子 電気学会制御研究会 広島大学 学学生会館 pp.23~28 (5) 2014-04
藤崎 邑吏* 入江 智和(情報工学科)	IPv6におけるアドレス解決パケットの転送による通信相手の生存確認法の提案—転送器の実装	2014年9月	CD-ROM 平成26年度電気・情報関係学会九州支部連合大会(第67回連合大会)講演論文集 http://www.jceee-kyushu.jp/ 鹿児島大学工学部(郡元キャンパス) pp.228~228 (1) 2014-09
森田 美海* 入江 智和(情報工学科)	アドレス解決パケットの転送による通信相手の生存確認法の提案—実装した転送器の評価	2014年9月	CD-ROM 平成26年度電気・情報関係学会九州支部連合大会(第67回連合大会)講演論文集 http://www.jceee-kyushu.jp/ 鹿児島大学工学部(郡元キャンパス) pp.229~229 (1) 2014-09
松本 真一* 村上 周三 赤坂 裕 井川 憲男 永村 一雄 武田 和太(情報工学科) 二宮 秀典 窪田 真樹(都市環境デザイン工学科)	外皮・躯体と設備・機器の総合エネルギーシミュレーションツール「BEST」の開発(その131) BEST で使用される拡張メタデータ気象データに関連するツール類の開発状況	2014年9月	空気調和・衛生工学会大会学術講演論文集 第5巻 pp5-8 (4)
本高 雄一朗* 武田 和太(情報工学科)	並列分散処理のためオブジェクト共有空間の開発	2015年2月	2014年度情報文化学会九州支部研究会 熊本県立大学(熊本市) (2) 2015-02
阪元 亘* 武田 和太(情報工学科)	JavaRMIを用いた繰り返し処理並列化システムの開発	2015年2月	2014年度情報文化学会九州支部研究会 熊本県立大学(熊本市) (2) 2015-02
武田 和太(情報工学科)*	Javaにおける未知クラスのオブジェクト共有	2015年2月	2014年度情報文化学会九州支部研究会 熊本県立大学(熊本市) (2) 2015-02

資料名：「研究活動の実施状況がわかる資料」 つづき

鹿児島工業高等専門学校
研究報告 50 (2015)

発表者名	学術研究論文等の名称	発行又は発表の年月	発表雑誌等の名称、巻、号、頁
久富 あすか* 池田 昭大(一般教育科・理系) 野澤 宏大(一般教育科・理系) 武田 和大(情報工学科) 篠原 学(一般教育科・理系) 巻田 和男	鹿児島高専における大気電場計測	2015年3月	名古屋大学太陽地球環境研究所, 地域ネットワークによる宇宙天気観測・教育活動に関する研究集会 ホテル・ザ・レイガンス(福岡市) (0) 2015-03
市村 真太郎* 玉利 陽三(情報工学科)	コンピュータポインティングデバイスの開発のための脳波解析	2014年9月	CD-ROM 第67回電気・情報関係学会九州支部連合大会講演論文集 鹿児島大学 pp.136~136 (1) 2014-09
中川 涼* 田中 大地 西留 清(都市環境デザイン工学科)	多槽回転円板体と直下沈殿槽を用いた脱窒法	2015年2月	冊子 日本水環境学会九州沖縄支部研究発表会講演要旨集 霧島市(鹿児島高専) pp.55~56 (2) 2015-02
毛利 洋子(都市環境デザイン工学科)* 岡松 道雄(都市環境デザイン工学科) 増森 遥香 野澤 宏大(一般教育科・理系)	まちづくり活動としてのペットボトルイルミネーションと街のデザインの関係に着目した多面的考察 ー鹿児島県霧島市における過去2年の事例報告をもとにしてー	2014年11月	USB Designシンポジウム2014 講演論文集 日本機械学会、精密工学会、日本設計工学会、日本建築学会、日本デザイン学会、人工知能学会の6学会共催 東京大学 pp.276~280 (5) 2014-11
岡松 道雄(都市環境デザイン工学科)* 毛利 洋子(都市環境デザイン工学科)	多様なコミュニケーションツールを組み込んだデザイン演習室の設計-鹿児島工業高等専門学校都市環境デザイン演習室の設計事例報告-	2014年11月	USB Designシンポジウム2014 講演論文集 東京大学 pp.94~99 (6) 2014-11
溝口 直人* 毛利 洋子(都市環境デザイン工学科) 岡松 道雄(都市環境デザイン工学科)	ランドマークとパスの関係に着目したシーケンス景観の分析	2015年3月	CD-ROM 日本建築学会九州支部研究報告 熊本県立大学 pp.493~496 (4) 2015-03
岡松 道雄(都市環境デザイン工学科)* 毛利 洋子(都市環境デザイン工学科) 広谷 洗多	地方都市の中心市街地における空き地等の空間利用に関する考察	2015年3月	CD-ROM 日本建築学会九州支部研究報告 熊本県立大学 pp.189~192 (4) 2015-03
川上 周司* 角野 晴彦 高橋 利幸 山田 真義(都市環境デザイン工学科) 山内 正仁(都市環境デザイン工学科) 山田 剛史 平石 明	高専-豊橋技科大連携プロジェクトによる先端的環境バイオ技術者養成のためのPBL授業	2014年8月	冊子 平成26年度全国高専教育フォーラム 金沢大学 (0) 2014-08
高見 誠也* 山田 真義(都市環境デザイン工学科) 山内 正仁(都市環境デザイン工学科) 幡本 将史 山口 隆司	高濃度フェノール含有廃水を対象とした中温UASB-無加温DHSシステムの連続処理特性	2015年2月	冊子 平成26年度日本水環境学会九州沖縄支部研究発表会講演要旨集 国立高専機構鹿児島高専 pp.58~58 (1) 2015-02
池田 匠児* 山田 真義(都市環境デザイン工学科) 山内 正仁(都市環境デザイン工学科) 長濱 祐美 山西 博幸	河川に繁茂するヨシのきのこ栽培への適用	2015年2月	冊子 平成26年度日本水環境学会九州沖縄支部研究発表会講演要旨集 国立高専機構鹿児島高専 pp.72~72 (1) 2015-02
池田 匠児* 木原 正人(技術室) 山田 真義(都市環境デザイン工学科) 山内 正仁(都市環境デザイン工学科) 長濱 祐美 山西 博幸	ヨシの有効利用に関する研究	2015年3月	平成26年度土木学会西部支部研究発表会 琉球大学 pp.721~722 2015-03
福山 一世* 池田 匠児 山田 真義(都市環境デザイン工学科) 山内 正仁(都市環境デザイン工学科) 杉本 直 渡 慶彦 山口 隆司	バガス・黒糖焼酎粕を利用したアラゲキクラゲの栽培	2015年3月	平成26年度土木学会西部支部研究発表会 琉球大学 pp.769~770 2015-03

資料名：「研究活動の実施状況がわかる資料」 つづき

鹿児島工業高等専門学校
研究報告 50 (2015)

発表者名	学術研究論文等の名称	発行又は発表の年月	発表雑誌等の名称, 巻, 号, 頁
高見 誠也* 山田 真義(都市環境デザイン工学科) 山内 正仁(都市環境デザイン工学科) 黒田 恭平 中原 望 幡本 将史 山口 隆司 久保田 健吾 原田 秀樹	高濃度フェノール含有廃水を対象とした中温UASB反応器の連続処理と嫌気性微生物解析	2015年3月	冊子 第49回日本水環境学会年会講演集 金沢大学角間キャンパス pp.678~678 (1) 2015-03
大峯 隆徳* 山田 真義(都市環境デザイン工学科) 山内 正仁(都市環境デザイン工学科) 幡本 将史 小松 俊哉 山口 隆司	焼酎蒸留実廃水を対象とした中温及び高温UASB反応器のアルカリ度削減効果	2015年3月	冊子 第49回日本水環境学会年会講演集 金沢大学角間キャンパス pp.679~679 (1) 2015-03
高見 誠也* 山田 真義(都市環境デザイン工学科) 山内 正仁(都市環境デザイン工学科) 幡本 将史 山口 隆司	高濃度フェノール含有廃水を対象とした中温UASB-無加温DHSシステムの連続処理特性	2015年2月	冊子 平成26年度日本水環境学会九州沖縄支部研究発表会講演要旨集 国立高専機構鹿児島高専 pp.58~58 (1) 2015-02
池田 匠児* 山田 真義(都市環境デザイン工学科) 山内 正仁(都市環境デザイン工学科) 長濱 祐美 山西 博幸	河川に繁茂するヨシのきのこ栽培への適用	2015年2月	冊子 平成26年度日本水環境学会九州沖縄支部研究発表会講演要旨集 国立高専機構鹿児島高専 pp.72~72 (1) 2015-02
上田 橋克* 山内 正仁(都市環境デザイン工学科) 山田 真義(都市環境デザイン工学科) 八木 史郎 山口 隆司	きのこのセシウム濃縮に関する基礎研究	2015年2月	平成26年度日本水環境学会九州沖縄支部研究発表会講演要旨集 国立高専機構鹿児島高専 pp.73~73 2015-02
前田 航* 疋田 誠 片平 敦貴 山内 正仁(都市環境デザイン工学科)	奥天降における顧穴群の環境保全に関する研究	2015年2月	冊子 平成26年度日本水環境学会九州沖縄支部研究発表会講演要旨集 国立高専機構鹿児島高専 pp.3~3 (1) 2015-02
福山 一世* 池田 匠児 山田 真義(都市環境デザイン工学科) 山内 正仁(都市環境デザイン工学科) 杉本 直 渡 慶彦 山口 隆司	バガス・黒糖焼酎粕を利用したアラゲキクラゲの栽培	2015年3月	平成26年度土木学会西部支部研究発表会 琉球大学 pp.769~770 2015-03
片平 敦貴* 前田 航 山内 正仁(都市環境デザイン工学科) 疋田 誠	奥天降における顧穴群と自然環境の保全	2015年3月	CD-ROM 平成26年度土木学会西部支部研究発表会 琉球大学 pp.147~148 (2) 2015-03
大峯 隆徳* 山田 真義(都市環境デザイン工学科) 山内 正仁(都市環境デザイン工学科) 幡本 将史 小松 俊哉 山口 隆司	焼酎蒸留実廃水を対象とした中温及び高温UASB反応器のアルカリ度削減効果	2015年3月	冊子 第49回日本水環境学会年会講演集 金沢大学角間キャンパス pp.679~679 (1) 2015-03
林 良平(一般教育科・文系)*	Spillover Effects from Top and Bottom Players: Evidence from Swimming data.	2014年7月	冊子 Kyoto Summer Workshop on Applied Economics 3rd 京都大学 (0) 2014-07
林 良平(一般教育科・文系)* 小郷 直言	痕跡から人の行動を読む	2014年5月	2014年度人工知能学会全国大会(第28回)予稿集
Shoko Yamane Ryohei HAYASHI(一般教育科・文系)*	The Ripples in the Growth of Swimmers	2014年12月	関西労働研究会, 大阪大学中之島センター
林 良平(一般教育科・文系)*	人は人, 自分は自分? 一行動経済学から学ぶ『隣人』の意義	2014年12月	第4回地域・産業研究会, 釧路公立大学
保坂 直之(一般教育科・文系)*	テキスト検索で見る『夢の中のセバスティアン』の連作形式	2014年10月	2014年度トラークル協会秋季研究発表会 京都市 (0) 2014-10
野澤 宏大(一般教育科・理系)* 池田 昭大(一般教育科・理系) 篠原 学(一般教育科・理系)	太陽光発電システムの利用: 地磁気観測	2014年8月	平成26年度全国高専教育フォーラム 金沢大学 (2) 2014-08

資料名：「研究活動の実施状況がわかる資料」 つづき

鹿児島工業高等専門学校
研究報告 50 (2015)

発表者名	学術研究論文等の名称	発行又は発表の年月	発表雑誌等の名称、巻、号、頁
白坂 繁(一般教育科・理系)*	ある積分公式の図形的意味	2014年7月	冊子 第96回日本数学教育学会、日本数学教育学会誌 鳥取県米子市 pp.485～485 (1) 2014-07
池田 昭大(一般教育科・理系)* 篠原 学(一般教育科・理系) 野澤 宏大(一般教育科・理系) 吉川 颯正 阿部 修二 湯元 清文	鹿児島高専における地上磁場観測	2015年1月	第20回高専シンポジウムin函館 函館市
池田 昭大(一般教育科・理系)* 野澤 宏大(一般教育科・理系) 篠原 学(一般教育科・理系)	鹿児島高専での磁場観測と大気電場変動について	2015年3月	名古屋大学太陽地球環境研究所 地域ネットワークによる宇宙天気観測・教育活動に関する研究集会 福岡市
川路 啓太* 野澤 宏大(一般教育科・理系) 池田 昭大(一般教育科・理系) 篠原 学(一般教育科・理系) 巻田 和男	プロトン磁力計を用いた地磁気の連続観測	2015年3月	名古屋大学太陽地球環境研究所 地域ネットワークによる宇宙天気の観測・教育活動に関する研究集会 福岡市
原 啓史* 盛岡 実 前野 祐二(都市環境デザイン工学科) 福永 隆之(技術室)	シラスと可塑性材を併用した空洞充填材に関する検討	2014年5月	CD-ROM セメント協会 第68回セメント技術大会講演要旨 東京 pp.198～199 (2) 2014-05
福永 隆之(技術室)* 前野 祐二(都市環境デザイン工学科) 盛岡 実 原 啓史	シラスを混合したアルミナセメントの物性と水和生成物	2014年5月	CD-ROM セメント協会 第68回セメント技術大会講演要旨 東京 pp.200～201 (2) 2014-05
福永 隆之(技術室)*	シラスを利用した混合セメントの開発	2014年5月	冊子 平成26年度鹿児島県建設技術研修会 鹿児島 pp.2～18 (16) 2014-05
鈴木 智也* 村上 光樹 前野 祐二(都市環境デザイン工学科) 福永 隆之(技術室)	しらすセメントを活用した透水性硬化体の基礎研究	2015年3月	CD-ROM 土木学会 西部支部研究発表会講演概要集 沖縄 pp.363～364 (2) 2015-03
村上 光樹* 鈴木 智也 前野 祐二(都市環境デザイン工学科) 福永 隆之(技術室)	しらすセメントを活用したブロックに関する研究	2015年3月	CD-ROM 土木学会 西部支部研究発表会講演概要集 沖縄 pp.689～690 (2) 2015-03
塚本 公秀(機械工学科)* 上野 孝行(技術室) 原田 正和(技術室) 東 雄一(機械工学科)	The advantage of developing the teaching materials by a cooperation with a teacher and a student	2014年10月	冊子 Asian Conference Engineering Education 熊本大学 pp.47～50 (0) 2014-10

【その他の論文(解説・総説・紀要・研究会資料・報告書等)】

発表者名	学術研究論文等の名称	発行又は発表の年月	発表雑誌等の名称、巻、号、頁
渡辺 清美 坂元 真理子(一般教育科・文系)	日本とタイの英語教科書の分析—語彙を中心として—	2015年3月	日本言語教育ICT学会研究紀要 2号 pp.1～10 (10) 2015-03
鞍掛 哲治(一般教育科・文系)* 室屋 知佐	マレーシアのエンジニアリング会社での実地研修(国立高等専門学校機構の海外インターンシッププログラム)	2014年8月	冊子 グローバル人材育成教育研究(招待論文) 第1巻第2号 pp.21～29 (9) 2014-08
福添 孝明(電子制御工学科)	マイクロコンピュータプログラミングの近代化	2015年3月	冊子 鹿児島工業高等専門学校研究報告 49号 pp.17～19 (3) 2015-03
幸田 晃(情報工学科)	聴音上の検討を加えた適応ラインエンハンサによる漏水音検知について	2014年10月	冊子 鹿児島工業高等専門学校研究報告 (0) 2014-10
幸田 晃(情報工学科)	相互相関法等を用いた地表伝播速度の測定	2014年10月	冊子 鹿児島工業高等専門学校研究報告 (0) 2014-10
濱川 恭央(情報工学科) 吉元 宏幸 脇田 靖弘	自己相関型モデルの連想記憶における記憶容量の検討	2014年10月	冊子 鹿児島工業高等専門学校研究報告 49号 (0) 2014-10
濱川 恭央(情報工学科) 飛佐 洋平 井ノ上 大輝	微分相関型モデルの連想記憶における記憶容量の検討	2014年10月	冊子 鹿児島工業高等専門学校研究報告 49号 (0) 2014-10

資料名：「研究活動の実施状況がわかる資料」 つづき

鹿児島工業高等専門学校
研究報告 50 (2015)

発表者名	学術研究論文等の名称	発行又は発表の年月	発表雑誌等の名称, 巻, 号, 頁
武田 和大(情報工学科) 芝 浩二郎(情報工学科) 豊平 隆之(情報工学科) 檉根 健史(電気電子工学科) 前齒 正宜(電気電子工学科) 瀬濤 喜信 荒巻 勇輔(技術室) 永田 亮一(技術室)	高専・中学校の連携による環境気象情報ネットワークの構築 その3	2015年2月	冊子 鹿児島工業高等専門学校研究報告 2014巻 49号 pp.59～60 (2) 2015-02
新徳 健(情報工学科) 渡邊 岳	簡易カメラを用いたインタラクション解析システムの開発	2015年3月	冊子 鹿児島工業高等専門学校研究報告 49号 pp.47～52 (6) 2015-03
新徳 健(情報工学科) 市野 拓郎	携帯端末を用いた簡易障害物検出システムの開発	2015年3月	冊子 鹿児島工業高等専門学校研究報告 49号 pp.53～57 (5) 2015-03
岡松 道雄(都市環境デザイン工学科) 毛利 洋子(都市環境デザイン工学科)	建築デザイン関連教育課程進行に係る環境整備・活動報告	2015年2月	冊子 鹿児島工業高等専門学校研究報告 49号 pp.71～74 (4) 2015-02
山内 正仁(都市環境デザイン工学科) 山田 真義(都市環境デザイン工学科)	下水汚泥を用いた高付加価値きのこの生産技術及びその生産過程で発生する廃培地・炭酸ガスの高度利用技術の開発	2015年3月	冊子 平成26年度下水道技術研究開発研究報告書 pp.1～17 (17) 2015-03
堂園 一(一般教育科・理系)	総合型地域スポーツクラブの経営理念に関する研究	2015年2月	冊子 鹿児島工業高等専門学校研究報告 (0) 2015-02
上沖 司(技術室) 植村 眞一郎(電子制御工学科) 上野 孝行(技術室) 松尾 征一郎(技術室)	海外からの短期交流学生に対する「ものづくり講座」の改善	2015年3月	冊子 鹿児島工業高等専門学校研究報告 49号 pp.101～103 (3) 2015-03

出典：研究報告 No.50 (2015)

資料名：「研究活動の実施状況がわかる資料」 つづき

鹿児島工業高等専門学校
研究報告 51 (2016)鹿児島工業高等専門学校 教職員研究業績
(2015年4月1日～2016年3月31日)

【著書】

発表者名	学術研究論文等の名称	発行又は発表の年月	発表雑誌等の名称, 巻, 号, 頁
尾形 公一郎 岡根 正樹 小田 和弘 小林 敏郎 島名 賢児(電子制御工学科) 埜 克己 西野 精一 西村 太志 福田 孝之 松尾 忠利 三村 康成 宮下 幸雄	PEL材料力学	2015年4月	書籍 実教出版 pp.1～216 2015-04

【学術研究論文(査読付)】

発表者名	学術研究論文等の名称	発行又は発表の年月	発表雑誌等の名称, 巻, 号, 頁
東 雄一(機械工学科) 岩本 知広 河村 能人	超音波接合を用いて接合された押出 Mg96Zn2Y2 合金継手の微細構造の特徴	2015年4月	Web 日本金属学会誌 http://www.jim.or.jp/journal/j/pdf3/79/04/176.pdf 79巻 4号 pp.176～182 (7) 2015-04
Yuichi Higashi(機械工学科) Chihiro Iwamoto Yoshihito Kawamura	Microstructure evolution and mechanical properties of extruded Mg96Zn2Y2 alloy joints with ultrasonic spot welding	2016年1月	Web Materials Science & Engineering A http://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0921509316300193 651巻 pp.925～ 934 (10) 2016-01
K.Kitamura A.Mitsuishi T.Suzuki T.Misumi(機械工学科)	Fluid flow and heat transfer of high-Rayleigh- number natural convection around heated spheres	2015年7月	冊子 International Journal of Heat and Mass Transfer 86巻 pp.149～157 (9) 2015-07
三角 利之(機械工学科) 田實 宗太郎 北村 健三 光石 曉彦	鉛直方向に等間隔配置された垂直加熱平板 列まわりの自然対流の伝熱特性	2015年10月	Web 日本機械学会論文誌 https://www.jstage.jst.go.jp/browse/transjsme/-cha 81巻 830号 pp.1～13 (13) 2015-10
Wen-Xue Wang Terutake Matsubara Junfeng Hu Satoru Odahara(機械工学科) Tomoyuki Nagai Takashi Karasutani Yuji Ohya	Experimental investigation into the influence of the flanged diffuser on the dynamic behavior of CFRP blade of a shrouded wind turbine	2015年6月	Web Renewable Energy http://www.journals.elsevier.com/renewable-energy/ 78号 pp.386～ 397 (12) 2015-06
T. Ide(電気電子工学科) T. Fujii M. Inamori Y. Sanada	Phase and Gain Imbalance Compensation in Low-IF Receivers	2016年1月	冊子 IEICE Trans. on Communications vol. E99-B巻 no. 1号 pp.211～223 (13) 2016- 01
垣内田 翔子(電気電子工学科) 橋爪 善光 西井 淳	関節間シナジーに着目した歩行のコツの発見	2015年7月	電子情報通信学会和文論文誌Vol. J98-D No.7 pp.1108-1117

出典：研究報告 No.51 (2016)

資料名：「研究活動の実施状況がわかる資料」 つづき

鹿児島工業高等専門学校
研究報告 51 (2016)

発表者名	学術研究論文等の名称	発行又は発表の年月	発表雑誌等の名称、巻、号、頁
垣内田 翔子(電気電子工学科) 橋爪 善光 荻原 直道 西井 淳	関節間シナジーの視点によるニホンザルとヒトの二足歩行制御戦略の比較	2015年8月	電子情報通信学会和文論文誌Vol. J98-D No.8 pp.1171-1179
Atsushi Nitta(電子制御工学科) Kazuki Shimono	Preparation of PDOT:PSS Transparent Conductive Film Using Ink-Jet Printing	2015年12月	Web Advances in Materials Physics and Chemistry http://www.scirp.org/journal/AMPC / 5巻 12号 pp.467~476 (10) 2015-12
Hirofumi Miyajima Kazuya Kishida(電子制御工学科) Noritaka Shigei Hiromi Miyajima	Learning Algorithms for Fuzzy Inference Systems Composed of Double- and Single-Input Rule Modules	2016年3月	World Academy of Science, Engineering and Technology, International Journal of Computer, Electrical, Control and Information Engineering, Vol.10, No.3, pp.377-383, 2016
Hirofumi Miyajima Noritaka Shigei Kazuya Kishida(電子制御工学科) Yusuke Akiyoshi Hiromi Miyajima	An Improved Learning Algorithm of Fuzzy Inference Systems using Vector Quantization	2016年2月	Advances in Fuzzy Sets and Systems, Vol.21, No.1, pp.59-77,2016
Ichiro Iimura Kazuhiro Takeda(情報工学科) Shigeru Nakayama	Effect of Quantum Cooperation in Three Entangled Ants	2015年8月	Web International Journal of Emerging Technology and Advanced Engineering(IJETAE) 5巻 8号 pp.29~33 (5) 2015-08
岡松 道雄(都市環境デザイン工学科) 毛利 洋子(都市環境デザイン工学科)	近隣商店街の空き地を利用した「仮設にぎわい広場」の効果と検証ー鹿児島県いちき串木野市の近隣街の朝市イベントを対象にー	2015年10月	CD-ROM 日本都市計画学会 50巻 3号 pp.1069~1076 (8) 2015-10
山内 正仁(都市環境デザイン工学科) 池田 匠児 山田 真義(都市環境デザイン工学科) 八木 史郎 渡 慶彦 山口 昭弘 山口 隆司	発酵バガス・黒糖焼酎粕培地を用いたアラゲキクラゲ栽培技術の開発	2015年11月	冊子 土木学会論文集G(環境) 71巻 7号 pp.229~237 (9) 2015-11
F. Tsuchiya M. Kagitani K. Yoshioka T. Kimura G. Murakami A. Yamazaki H. Nozawa(一般教育科) Y. Kasaba T. Sakanoi K. Uemizu I. Yoshikawa	Local electron heating in the Io plasma torus associated with Io from HISAKI satellite observation	2015年12月	冊子 Journal of Geophysical Research pp.1~17 (17) 2015-12
松田 信彦(一般教育科)	多変量解析をととして見た九州風土記の性格	2016年3月	冊子 風土記研究 38号 pp.1~15 (15) 2016-03
坂元 真理子*(一般教育科) 塩田 裕明 張 世霞 保坂 芳男	タイと日本における英語教科書の時制と相の扱いに関する分析	2016年3月	日本言語教育ICT学会研究概要 (3) pp.57-64 2016-02
小篠 敏明* 渡辺 清美* 上西 幸治 坂元 真理子(一般教育科)	タイ国小中学校英語教科書英語のリーダビリティ分析:日本の現行教科書との比較を中心にして	2016年3月	日本言語教育ICT学会研究概要 (3) pp.1-14 2016-03

資料名：「研究活動の実施状況がわかる資料」 つづき

鹿児島工業高等専門学校
研究報告 51 (2016)

発表者名	学術研究論文等の名称	発行又は発表の年月	発表雑誌等の名称, 巻, 号, 頁
塩田 裕明* 張 世霞 坂元 真理子(一般教育科) 渡辺 清美	日本・タイの英語教科書における題材内容の 対照分析	2016年3月	日本言語教育ICT学会研究概要 (3) pp.25-38 2016-03

【国際会議のプロシーディングなど】*印 講演発表者

発表者名	学術研究論文等の名称	発行又は発表の年月	発表雑誌等の名称, 巻, 号, 頁
Yuichi Higashi(機械工学科)* Chihiro Iwamoto Yoshihito Kawamura Masakazu Harada(技術室)	Microstructure and Mechanical Properties of Mg-Zn-Y Alloy Joints Joined by Ultrasonic Welding	2015年10月	The 10th International Conference on Magnesium Alloys and Their Applications Ramada Plaza Jeju Hotel, Jeju, Korea pp.311~336 2015-10
Yukio Miyashita* Noboru Yamada Wataru Yamazaki Yuichi Otsuka Tsutomu Takahashi Shinichiro Wakashima Takefumi Otsu Yanami Akihito Yohei Kobayashi Masaki Yamagishi Satoru Odahara(機械工学科) Masaki Okane	Development of a Small Wind Turbine Generator Model for Engineering Education through the Design Contest in KOSEN and NUT	2015年6月	Web The 4th International GIGAKU Conference in Nagaoka, (IGCN 2015) http://igcn2015.gigaku.org/ 長岡 技術科学大学 (1) 2015-06
Masakazu Nishi* Yoshifumi Ohbuchi Kimihide Tsukamoto(機械工学科) Hidetoshi Sakamoto	Study of Safety Evaluation for Assembled Mechanical Structure	2015年12月	The 6th TSME International Conference on Mechanical Engineering Regent Cha-Am Beach Resort Phetchaburi Thailand CD-ROM CST008 5p 2015-12
Yu Kuwata* Kimihide Tsukamoto(機械工学科) Takayuki Yamada	Development of the Teaching Aid for Dismantling and Assembling of ATV -Mechanical model for the dynamic vibration absorber-	2015年12月	5th International Joint Symposium on Engineering Education, Korea Maritime and Ocean University, Korea, pp.47~48, 2015-12
Koki Hagihara* Kimihide tsukamoto(機械工学科) Takayuki Ueno	Development of the Teaching aid for Dismantling and Assembling of ATV - Mechanism model for learning the principle of Pascal -	2015年12月	5th International Joint Symposium on Engineering Education, Korea Maritime and Ocean University, Korea, pp.43~44, 2015-12
Yuma SUENAGA* Nariaki IMAMURA(電気電子工学科) Kenji KASHINE(電気電子工学科)	Development of the High-speed Phenomenon Photographing System Using the Consumer- grade Digital Camera	2015年8月	冊子 5th International Symposium on Technology for Sustainability (ISTS 2015) UiTM Shar Alam, malaysia 2015-08
Hironari SUGIYAMA* Kiyotaka KAMATA(電子制御工学科) Youzou TAMARI(情報工学科) Kimihide TSUKAMOTO(機械工学科)	Study of shielding method to reduce leakage magnetic field of an opening in a magnetically shielded room	2015年12月	5th International Joint Symposium on Engineering Education, Korea Maritime and Ocean University, Korea, pp.69~73, 2015-12
S. Kaichida(電気電子工学科)* Y. Hashizume N. Ogihara J. Nishii	Control strategy of biped walking of humans that has been acquired through evolution: from the view point of variance control	2015年11月	The proceedings of the second on skill science, pp3
Shoko Kaichida(電気電子工学科)* Stanislaw Mark L Latash	Stabilization of different mechanical variables by multi-muscle synergies during marching in- place	2015年7月	Progress in Motor Control X, Poster abstract pp. 112

出典：研究報告 No.51 (2016)

資料名：「研究活動の実施状況がわかる資料」 つづき

鹿児島工業高等専門学校
研究報告 51 (2016)

発表者名	学術研究論文等の名称	発行又は発表の年月	発表雑誌等の名称, 巻, 号, 頁
Eiji Kondo* Ryuichi Iwamoto Yuya Kobaru (電子制御工学科)	Study on Shape Similarity of Single Crystal Diamond Tool wear Land with Large Nose Radius in Ultra-Precision Cutting of Aluminum Alloy	2015年6月	冊子 The 15th International Conference & Exhibition of EUSPEN Leuven, Belgium pp.311~312 (2) 2015-06
Kenji Shimana (電子制御工学科)* Eiji Kondo Seiya Sakoda Shunichi Yamashita (技術室) Yoshihiro Kawano	Estimation of Machining Error using Indirect Methods in Ball-End Milling for Inclined Surface	2015年6月	The 15th International Conference & Exhibition of EUSPEN Leuven, Belgium pp.331~332 2015-06
Kenji Shimana (電子制御工学科)* Eiji Kondo Hiroko Karashima Mitsuhiro Nakao Shunichi Yamashita (技術室)	An Improved Approach to Real-Time Compensation of Machining Error Caused by Deflection of End Mill	2015年10月	CD-ROM The 8th International Conference on Leading Edge Manufacturing in 21st Century Kyoto, Japan (6) 2015-10
T. Tsutsumi (都市環境デザイン工学科)* S. Kukino	DISTRIBUTION OF TENSILE STRESS UNDER MODIFIED BOUNDARY CONDITIONS IN A THEORETICAL SOLUTION FOR THE DIAMETRICAL COMPRESSION TEST	2015年5月	USB Flash Drive Proceedings of 13th International Symposium on Rock Mechanics http://www.isrm2015.com/Page/ Montreal, Canada (7) 2015-05
Takashi TSUTSUMI (都市環境デザイン工学科)* Seita KUKINO Rini Asnida ABDULLAH Mohd For Mohd AMIN	Distribution of Maximum Principal Stress under Distributed Load from Loading Plate in Specimen for Brazilian Test	2016年2月	CD-ROM Proceedings of Geotropika 2016 http://civil.utm.my/geotropika2016/ Kuala Lumpur (4) 2016-02
Kubota, K.* Ikarashi, K. Yamada, M. (都市環境デザイン工学科) Takemura, Y. Harada, H.	In situ localization of anaerobic phenol-degrading microorganisms in UASB granular sludge	2015年11月	The 14th World Congress on Anaerobic Digestion Vina del Mar, Chili (2) 2015-11
渡辺 清美* 上西 幸治 坂元 真理子 (一般教育科) 小篠 敏明	Development of a Readability Index Attuned to the New English Course of Study in Japan (2) Development of Ozasa-Fukui Year Level, ver.3.4.1NHNC1-5WUS	2015年11月	冊子 ICT for Language Learning Grand Hotel Mediterraneo, Florence, Italy pp.127~133 (7) 2015-11
田中 智樹 (一般教育科)*	伊耶那岐命・伊耶那美命による神話的世界の移動について	2015年6月	H27年度 古事記学会大会 専修大学(神奈川県) (0) 2015-06

【国内学会等発表】*印 講演発表者

発表者名	学術研究論文等の名称	発行又は発表の年月	発表雑誌等の名称, 巻, 号, 頁
江崎 秀司 (機械工学科)* 山田 孝行 (技術室) 大竹 孝明 (一般教育科)	課外活動を活用した実践的な制御工学教育 (第5報, エコラン専用CDIの自主開発)	2016年1月	第21回高専シンポジウム in 香川 http://www2.es.kagawa-nct.ac.jp/sympo21/dl/yousi_p_b1-87.pdf 丸亀市民会館 2016-01
江崎 秀司 (機械工学科)* 川崎 雄太郎 中間 走	曲がりを有する矩形管における急収縮急拡大損失の数値解析	2015年9月	USB 化学工学会第47回秋季大会 (2015)研究発表講演会 北海道大学 O103 2015-09
江崎 秀司 (機械工学科)* 山下 大三 江口 要一 上村 昌志	ユッケ用牛肉の加熱滅菌処理法に関する研究	2016年6月	CD-ROM 第52回日本伝熱シンポジウム講演論文集 福岡国際会議場 pp.1~2 (2) 2015-06

資料名：「研究活動の実施状況がわかる資料」 つづき

鹿児島工業高等専門学校
研究報告 51 (2016)

発表者名	学術研究論文等の名称	発行又は発表の年月	発表雑誌等の名称、巻、号、頁
塚本 公秀(機械工学科)* 東 雄一(機械工学科)	学生と教員による揭示教材の共同開発	2015年9月	CD-ROM 平成27年度工学教育研究講演会講演論文集 九州大学伊都キャンパス pp.356～357 (2) 2015-09
東 雄一(機械工学科)* 末永 圭一 岩本 知広 河村 能人	押出Mg96Zn2Y2合金の超音波接合継手における微細組織と接合界面温度分布の検討	2015年9月	CD-ROM 日本金属学会 2015年秋季講演大会 九州大学伊都キャンパス (0) 2015-09
下井倉 慶紀* 東 雄一(機械工学科)	押出Mg96Zn2Y2合金を用いた超音波接合継手の微細組織の特徴	2016年3月	USB 日本機械学会九州支部 第47回卒業研究発表講演会 http://www.jsme.or.jp/conference/kyconf16-2/ 鹿児島工業高等専門学校 (2) 2016-03
末永 圭一* 東 雄一(機械工学科) 星 勇太 近藤 顕二 岩本 知広	Mg96Zn2Y2合金におけるLPSO相の形態と接合性の関係	2016年3月	CD-ROM 日本金属学会 2016年春季講演大会 東京理科大学 葛飾キャンパス (0) 2016-03
佐藤 真太郎* 小田原 悟(機械工学科)	In-line流体力学振動における2円柱の挙動観察	2016年3月	CD-ROM 日本機械学会 九州学生会 第47回卒業研究発表講演会講演論文集 鹿児島県霧島市 pp.71～72 (2) 2016-03
鶴永 隆太* 小田原 悟(機械工学科) 汪 文学 木戸 守	レンズ風車翼のプレーキによる衝撃ひずみ測定	2016年3月	冊子 日本機械学会 九州支部第69期総会・講演会講演論文集 http://www.jsme.or.jp/conference/kyconf16/ 熊本市 pp.97～98 (2) 2016-03
瀬戸口 進太* 小田原 悟(機械工学科)	GFRPの疲労強度特性に及ぼす切欠きの影響	2016年3月	冊子 日本機械学会 九州支部第69期総会・講演会講演論文集 http://www.jsme.or.jp/conference/kyconf16/ 熊本市 pp.121～122 (2) 2016-03
西迫 善希* 椎 保幸(機械工学科) 田畑 隆英(機械工学科)	マイクロ水車における羽根周りの流れに関する研究	2015年10月	可視化情報学会全国講演会(京都2015)講演論文集 京都工芸繊維大学(京都市) pp.233～234 2015-10
田畑 隆英(機械工学科)* 中塩屋 徹 李鹿 輝	5角形ダクトから流出する噴流のウェーブレット解析	2015年7月	USBメモリ 可視化情報学会 第43回可視化情報シンポジウム講演論文集 工学院大学新宿キャンパス(東京都新宿区) pp.265～266 (2) 2015-07
田畑 隆英(機械工学科)* 山下 翔伍 李鹿 輝	変形するノズルから流出する噴流のウェーブレット解析	2015年7月	USBメモリ 可視化情報学会 第43回可視化情報シンポジウム講演論文集 工学院大学新宿キャンパス(東京都新宿区) pp.267～268 (2) 2015-07
田畑 隆英(機械工学科)* 山下 翔伍	変形するノズルから流出する噴流	2015年9月	日本機械学会2015年度年次大会 北海道大学工学部(札幌市) 2015-09
田畑 隆英(機械工学科)* 中塩屋 徹	5角形ダクトから流出する噴流	2015年9月	日本機械学会 九州支部長崎講演会 長崎大学(長崎市) 2015-09
田畑 隆英(機械工学科)* 中塩屋 徹	5角形ダクトから流出する噴流	2015年10月	可視化情報学会可視化情報全国講演会(京都2015) 京都工芸繊維大学(京都市) pp.241～242 2015-10
西迫 善希* 椎 保幸(機械工学科) 田畑 隆英(機械工学科)	マイクロ水車における羽根周りの流れに関する研究	2015年10月	可視化情報学会可視化情報全国講演会(京都2015) 京都工芸繊維大学(京都市) pp.233～234 2015-10

資料名：「研究活動の実施状況がわかる資料」 つづき

鹿児島工業高等専門学校
研究報告 51 (2016)

発表者名	学術研究論文等の名称	発行又は発表の年月	発表雑誌等の名称、巻、号、頁
田畑 隆英(機械工学科)* 山下 翔伍	変形するノズルから流出する噴流	2015年11月	日本機械学会 第93期流体工学部門 講演会 東京理科大学葛飾キャンパス(東京都葛飾区) 2015-11
田畑 隆英(機械工学科)* 山下 翔伍	変形するノズルから流出する噴流	2015年12月	第25回九州沖縄地区高専フォーラム 佐世保工業高等専門学校(佐世保市) pp.1~ 2015-12
田畑 隆英(機械工学科)* 中塩屋 徹	5角形ダクトから流出する噴流	2016年1月	高専シンポジウム協議会および香川高等専門学校, 講演要旨集 丸亀市民会館および丸亀生涯学習センター(丸亀市) 2016-01
田畑 隆英(機械工学科)* 山下 翔伍	変形するノズルから流出する噴流	2016年3月	日本機械学会 九州支部第69期総会・講演会 熊本大学工学部(熊本市) pp.177~178 2016-03
中村 格(電気電子工学科)*	鹿児島高専電気電子工学科における学生の進路についての一考察	2015年9月	CD-ROM 平成27年電気学会基礎・材料・共通部門大会 金沢 pp.417~417 (1) 2015-09
宮内 肇* 長福 香菜 中村 格(電気電子工学科)	テクノアートクラフトによる和歌の情景表現	2015年9月	CD-ROM 平成27年電気学会基礎・材料・共通部門大会 金沢 pp.418~418 (1) 2015-09
中村 格(電気電子工学科)* 箕田 充志	高専機構「原子力人材育成」事業に係る鹿児島高専実習	2015年12月	冊子 電気学会教育フロンティア研究会 京都 pp.13~16 (4) 2015-12
宮内 肇* 長福 香菜 中村 格(電気電子工学科)	テクノクラフトによる和歌の情景表現	2015年12月	冊子 電気学会教育フロンティア研究会 京都 pp.23~27 (5) 2015-12
末永 祐磨* 樫根 健史(電気電子工学科)	高密度プラズマによる高強度パルス放射線発生とその特性解析	2016年3月	電気学会 九州支部高専研究講演会 講演論文集 有明工業高等専門学校 pp.57-58 2016-03
吉井 浩二* 橋本 竜之介 今村 成明(電気電子工学科) 樫根 健史(電気電子工学科)	電力設備のオンライン診断システム構築を目指した非接触給電型監視装置の開発	2016年3月	電気学会 九州支部高専研究講演会 講演論文集 有明工業高等専門学校 pp.15-16 2016-03
松山 涼大* 原田 治行(電子制御工学科)	脳波の高周波成分に着目したBCIの研究	2015年9月	CD-ROM 平成27年度電気・情報関係学会九州支部連合大会 福岡市 福岡大学 pp.568~568 (0) 2015-09
鎌田 清孝(電子制御工学科)* 内門 大地 玉利 陽三(情報工学科) 湯ノ口 万友	MRIのためのエレベータに起因する変動磁場を低減するシャフト壁の遮蔽方法の検討	2015年8月	CD-ROM 平成27年 電気学会 電子・情報・システム部門大会 長崎 pp.1107~1112 (6) 2015-08
鎌田 清孝(電子制御工学科)* 内門 大地 玉利 陽三(情報工学科) 湯ノ口 万友	MRIのためのエレベータに起因する変動磁場を低減するシャフト壁の遮蔽方法	2015年9月	CD-ROM 第68回電気関係学会九州支部連合会論文 https://www.ieice.org/kyushu/rengo/rengo.html 福岡大学 (1) 2015-09

資料名：「研究活動の実施状況がわかる資料」 つづき

鹿児島工業高等専門学校
研究報告 51 (2016)

発表者名	学術研究論文等の名称	発行又は発表の年月	発表雑誌等の名称, 巻, 号, 頁
原田 翔太* 宮田 千加良(電子制御工学科)	鹿児島高専倒立振子のファジィ制御を用いた制御に関する研究	2015年9月	CD-ROM 第23回 電子情報通信学会九州支部学生会講演会 福岡大学 (0) 2015-09
森田 祐輔* 宮田 千加良(電子制御工学科)	鹿児島高専衛星画像を用いた高さ情報に関する研究	2015年9月	CD-ROM 第23回 電子情報通信学会九州支部学生会講演会 福岡大学 (0) 2015-09
宮田 浩平* 新田 敦司(電子制御工学科)	インクジェット法を用いて作成した有機透明導電膜の特性改善	2015年9月	CD-ROM 平成27年度電気・情報関係学会九州支部連合大会 福岡大学 pp.440~440 (0) 2015-09
川原 和也* 新田 敦司(電子制御工学科)*	インクジェット法を用いて作製した有機透明導電膜の処理方法の検討	2016年3月	CD-ROM 2016年総合大会エレクトロニクス論文集2 http://www.ieice-taikai.jp/jpn/ 九州大学 pp.2~2 (1) 2016-03
宮田 千加良(電子制御工学科)* 島名 賢児(電子制御工学科) 野澤 宏大(一般教育科) 豊平 隆之(情報工学科)	我が国の農業の将来を高専の工学教育が支える-地域産業の現状からみた工業高専の在り方-	2015年9月	冊子 日本工学教育協会研究講演会 福岡 (2) 2015-09
原田 正和(技術室)* 島名 賢児(電子制御工学科) 川野 良太	異種材を重ね合わせたCFRPの穴加工の加工精度に関する研究	2015年12月	2015年度精密工学会九州支部飯塚地方講演会 福岡県飯塚市 pp.27~28 2015-12
吉永 亮佑* 岸田 一也(電子制御工学科)	ファジィ制御を用いた2輪走行車の倒立・移動制御	2015年8月	知能情報ファジィ学会, 九州支部夏季ワークショップ2015 概要集, p.5
久富 あすか* 原 崇(情報工学科) 武田 和大(情報工学科) 濱川 恭央(情報工学科) フドウルムル オヤンガ	ニューラルネットワークを用いた画像カラー化アルゴリズムの分散並列化に関する研究	2015年12月	第25回九州沖縄地区高専フォーラム 佐世保工業高等専門学校(長崎県) 2015-12
原 崇(情報工学科)* 今村 優弥 栗田 雄矢 飯村 伊智郎 中山 茂	粘菌アルゴリズムのナップサック問題への適用	2016年2月	2015年度情報文化学会九州支部研究会 鹿児島工業高等専門学校(霧島市) (0) 2016-02
久富 あすか* 原 崇(情報工学科) 武田 和大(情報工学科) 濱川 恭央(情報工学科) フドウルムル オヤンガ	ニューラルネットワークを用いた画像カラー化アルゴリズムの分散並列化に関する研究	2016年2月	2015年度情報文化学会九州支部研究会 鹿児島工業高等専門学校(霧島市) 2016-02
千竈 淳* 原 崇(情報工学科) 武田 和大(情報工学科)	分散並列処理を行うコードを生成するJava言語変換器の研究	2016年2月	2015年度情報文化学会九州支部研究会 鹿児島工業高等専門学校(霧島市) 2016-02
入江 智和(情報工学科)*	内部側ノードのリンク層アドレスに基づいて単一の外部側IPアドレスを割り当てるNATの提案	2016年3月	冊子 電子情報通信学会技術研究報告, Vol. 115, No. 484 フェニックス・シーガイア・リゾート pp.199~203 (5) 2016-03

資料名：「研究活動の実施状況がわかる資料」 つづき

鹿児島工業高等専門学校
研究報告 51 (2016)

発表者名	学術研究論文等の名称	発行又は発表の年月	発表雑誌等の名称、巻、号、頁
彌勒 祥也* 武田 和太(情報工学科)	ノイズを含む最適化問題における差分進化とカッコー探索の比較	2016年2月	2015年度情報文化学会九州支部研究会 鹿児島工業高等専門学校(霧島市) (2) 2016-02
川路 啓太* 武田 和太(情報工学科)	Firefly Algorithmの改良の試み	2016年2月	2015年度情報文化学会九州支部研究会 鹿児島工業高等専門学校(霧島市) (2) 2016-02
武田 和太(情報工学科)* 本高 雄一郎	Javaによる分散オブジェクト共有空間の実装と分散並列処理への応用	2016年2月	2015年度情報文化学会九州支部研究会 鹿児島工業高等専門学校(霧島市) (2) 2016-02
久富 あすか* 原 崇(情報工学科) 武田 和太(情報工学科) 濱川 恭央(情報工学科) ブドウルム オヤンガ	ニューラルネットワークを用いた画像カラー化アルゴリズムの分散並列化に関する研究	2016年2月	2015年度情報文化学会九州支部研究会 鹿児島工業高等専門学校(霧島市) 2016-02
久富 あすか* 池田 昭太(一般教育科) 野澤 宏太(一般教育科) 武田 和太(情報工学科) 篠原 学(一般教育科)	鹿児島高専における大気電場データの解析	2016年3月	地域ネットワークによる宇宙天気観測・教育活動に関する研究集会九州大学西新プラザ(福岡市) (0) 2016-03
笠野 凱生* 吉松 裕貴 玉利 陽三(情報工学科) 田中 慶太 塗木 淳夫 湯ノ口 万友	導電率の異なる媒質を考慮した体積導体における誘導電界分布	2015年9月	CD-ROM 2015年度電子情報通信学会九州支部学生講演会・講演論文集 福岡(福岡大学) (1) 2015-09
木元 菜里* 室屋 知佐 揚野 翔 玉利 陽三(情報工学科) 鎌田 清孝(電子制御工学科) 湯ノ口 万友	局在刺激のための磁気刺激コイルの提案	2015年9月	CD-ROM 2015年度電子情報通信学会九州支部学生講演会・講演論文集 福岡(福岡大学) (1) 2015-09
室屋 知佐* 木元 菜里 揚野 翔 玉利 陽三(情報工学科) 鎌田 清孝(電子制御工学科) 湯ノ口 万友	深部の生体磁気刺激における刺激電流分布の局在化に関する試み	2015年9月	CD-ROM 2015年度電子情報通信学会九州支部学生講演会・講演論文集 福岡(福岡大学) (1) 2015-09
毛利 洋子(都市環境デザイン工学科)* 岡松 道雄(都市環境デザイン工学科)	仮設イベントの継続にみる街角広場の活用実態ー鹿児島県霧島市におけるペットボトルリサイクルミニーション4年間を対象としてー	2015年7月	日本建築学会2015年度大会(関東)学術講演梗概集・建築デザイン発表梗概集 東海大学 pp.931~932 2015-07
岡松 道雄(都市環境デザイン工学科)* 広谷 洸多 毛利 洋子(都市環境デザイン工学科)	地方商店街の朝市イベントにおける「仮設による賑わい演出」の効果と様態ー鹿児島県いちき串木野市商店街の空き地を対象にー	2015年7月	CD-ROM 日本建築学会2015年度大会(関東)学術講演梗概集・建築デザイン発表梗概集 http://www.aij.or.jp/kanto2015dvd.html 東海大学湘南キャンパス pp.645~646 (2) 2015-07
岡松 道雄(都市環境デザイン工学科)* 毛利 洋子(都市環境デザイン工学科)	近隣型商店街の空き地を利用した「仮設にぎわい広場」の効果と検証ー鹿児島県いちき串木野市の近隣商店街の朝市イベントを対象にー	2015年11月	CD-ROM 日本都市計画学会第50回学術研究発表会(発表番号117)都市計画論文集 <a href="http://www.cpij.or.jp/com/ac/upload/file/50_progra フェニックス・シーガイア・リゾート(宮崎市山崎町浜山) <実施校:宮崎大学> pp.1069~1076 (8) 2015-11">http://www.cpij.or.jp/com/ac/upload/file/50_progra フェニックス・シーガイア・リゾート(宮崎市山崎町浜山) <実施校:宮崎大学> pp.1069~1076 (8) 2015-11

資料名：「研究活動の実施状況がわかる資料」 つづき

鹿児島工業高等専門学校
研究報告 51 (2016)

発表者名	学術研究論文等の名称	発行又は発表の年月	発表雑誌等の名称、巻、号、頁
山田 真義(都市環境デザイン工学科)* 大峯 隆徳 山内 正仁(都市環境デザイン工学科) 黒田 恭平 小松 俊哉 幡本 将史 山口 隆司	焼酎蒸留実廃水を対象とした多点分散型供給方式UASB反応器の連続処理実験	2015年9月	冊子 第18回日本水環境学会シンポジウム講演集 信州大学 pp.189～190 (2) 2015-09
山崎 寛登* 池田 匠児 山田 真義(都市環境デザイン工学科) 山口 善敬 八木 史郎 井口 晃徳 重松 亨 山口 隆司 山内 正仁(都市環境デザイン工学科)	低カリウムきの子栽培用培地を用いたセシウムの濃縮・回収に関する研究	2015年11月	第52回環境工学研究フォーラム講演集 日本大学工学部(福島県郡山市) pp.7～9 2015-11
高見 誠也* 黒田 恭平 山内 正仁(都市環境デザイン工学科) 久保田 健吾 山口 隆司 幡本 将史 山田 真義(都市環境デザイン工学科)	中温UASB反応器と常温DHS反応器を組み合わせたフェノール含有廃水の連続処理特性	2015年11月	冊子 第52回環境工学研究フォーラム講演集 日本大学工学部(福島県郡山市) pp.78～80 (3) 2015-11
溝口 直人* 山内 正仁(都市環境デザイン工学科) 渡部 紀一 南條 忠彦 山田 真義(都市環境デザイン工学科)	模擬醤油製造廃水を対象とした20℃UASB反応器常温DHS反応器を組み合わせた連続処理実験	2015年11月	冊子 第52回環境工学研究フォーラム講演集 日本大学工学部(福島県郡山市) pp.81～83 (3) 2015-11
池田 匠児* 山田 真義(都市環境デザイン工学科) 山内 正仁(都市環境デザイン工学科) 山西 博幸	ヨシを用いたきの子栽培に関する研究	2015年9月	冊子 日本きの子学会第19回大会講演要旨集 つくば国際会議場 pp.57～57 (0) 2015-09
大峯 隆徳* 山内 正仁(都市環境デザイン工学科) 小松 俊哉 幡本 将史 黒田 恭平 山口 隆司 山田 真義(都市環境デザイン工学科)	焼酎蒸留実廃水を対象とした局所的負荷低減型中温UASB反応器の連続実験	2015年11月	第52回環境工学研究フォーラム講演集 日本大学工学部(福島県郡山市) pp.24～26 2015-11
高見 誠也* 黒田 恭平 山内 正仁(都市環境デザイン工学科) 久保田 健吾 山口 隆司 幡本 将史 山田 真義(都市環境デザイン工学科)	UASB反応器と常温DHS反応器を組み合わせたフェノール含有廃水の連続処理実験	2015年11月	冊子 第52回環境工学研究フォーラム講演集 日本大学工学部(福島県郡山市) pp.78～80 (0) 2015-11
山崎 寛登* 池田 匠児 山田 真義(都市環境デザイン工学科) 山内 正仁(都市環境デザイン工学科) 八木 史郎	きの子実体を利用したセシウムの濃縮に関する基礎研究	2016年2月	冊子 日本水環境学会九州沖縄支部研究発表会 佐賀大学 pp.25～26 (0) 2016-02
原田 凛也* 有馬 斗茂哉 山田 真義(都市環境デザイン工学科) 山内 正仁(都市環境デザイン工学科) 八木 史郎	下水汚泥のきの子栽培への適用	2016年2月	冊子 日本水環境学会九州沖縄支部研究発表会 佐賀大学 pp.49～50 (0) 2016-02
池田 匠児* 山田 真義(都市環境デザイン工学科) 山内 正仁(都市環境デザイン工学科) 山西 博幸	ヨシを用いたきの子栽培技術の開発	2016年2月	冊子 日本水環境学会九州沖縄支部研究発表会 佐賀大学 pp.51～52 (0) 2016-02

資料名：「研究活動の実施状況がわかる資料」 つづき

鹿児島工業高等専門学校
研究報告 51 (2016)

発表者名	学術研究論文等の名称	発行又は発表 の年月	発表雑誌等の名称, 巻, 号, 頁
窪田 真樹(都市環境デザイン工学科)* 二宮 秀典	標高を考慮した住宅の省エネルギー基準の地域区分に関する考察 その3 暖房・冷房度日による地域区分の提案と検証	2015年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集 pp.997~1000 2015-09
窪田 真樹(都市環境デザイン工学科)*	鹿児島県霧島市を対象とした都市気候調査	2016年3月	日本建築学会研究報告九州支部環境系(55) pp.77~80 2016-03
土屋 史紀* 鍵谷 将人 吉岡 和夫 野澤 宏大(一般教育科) 木村 智樹 村上 豪 山崎 敦 笠羽 康正 坂野 井健 吉川 一朗	衛星イオープラズマトラス相互作用による電子加熱	2015年5月	Japan Geoscience Union Meeting 2015 幕張メッセ国際会議場(千葉市) (1) 2015-05
F. Tsuchiya* M. Kagitani R. Koga H. Nozawa(一般教育科) M. Yoneda K. Yoshioka T. Kimura G. Murakami T. Sakanoi Y. Kasaba A. Yamazaki I. Yashikawa	Enhancement of Io's volcanic activity and its influence on local electron heating in the Io plasma torus	2015年11月	地球電磁気・地球惑星圏学会 第138回総会・講演会 東京大学 (1) 2015-11
林 良平(一般教育科)*	The Ripples in the Growth of Swimmers	2015年7月	冊子 CEE and RISS Seminar Series on Experimental Economics 関西大学千里山キャンパス (0) 2015-07
林 良平(一般教育科)*	競泳の成長関数と成長限界	2015年10月	冊子 2015年日本水泳・水中運動学会年次大会 日本女子体育大学 (0) 2015-10
保坂 直之(一般教育科)*	初修外国語教室での学習者の不安心理	2015年5月	第46回高専ドイツ語教育研究会 東京都 (0) 2015-05
保坂 直之(一般教育科)*	『冬のタベ』の位置で考える連作「孤独な者の秋」の構成意図	2015年5月	2015年度トラークル協会・春季研究発表会 東京都豊島区 (0) 2015-05
坂元 真理子(一般教育科)* 塩田 裕明 張 世霞 保坂 芳男	タイと日本における英語教科書の時制と相の扱いに関する分析	2015年9月	PDF ICTATLLJAPAN 安田女子大学(広島市) pp.10~10 (1) 2015-09
小篠 敏明* 渡辺 清美* 上西 幸治 坂元 真理子(一般教育科)	タイ国小中学校英語教科書英語のリーダビリティ分析: 日本の現行教科書との比較を中心にして	2015年9月	PDF ICTATLLJAPAN 安田女子大学(広島市) pp.9~9 (1) 2015-09
塩田 裕明* 張 世霞 坂元 真理子(一般教育科) 渡辺 清美	日本・タイの英語教科書における題材内容の対照分析	2015年9月	PDF ICTATLLJAPAN 安田女子大学(広島市) pp.12~12 (1) 2015-09

資料名：「研究活動の実施状況がわかる資料」 つづき

鹿児島工業高等専門学校
研究報告 51 (2016)

発表者名	学術研究論文等の名称	発行又は発表の年月	発表雑誌等の名称、巻、号、頁
坂元 真理子(一般教育科)* 保坂 直之(一般教育科)	英語学習者が感じる外国語不安と意欲に関する研究	2015年10月	冊子 日本教科教育学会 広島大学 pp.162～163 (2) 2015-10
原田 正和(技術室)* 島名 賢児(電子制御工学科) 川野 良太	異種材を重ね合わせたCFRPの穴加工の加工精度に関する研究	2015年12月	2015年度公益社団法人精密工学会九州支部飯塚地方講演会講演論文集 福岡県(九州工業大学 飯塚キャンパス) pp.27～28 2015-12
鞍掛 哲治(一般教育科)* 嵯峨原 昭次	動機減退を起こした初年次学生を対象としたアンケート調査の分析と考察	2016年3月	リメディアル教育学会関西支部会第7回支部大会予稿集 京都三大学教養教育研究・推進機構(京都市) pp.23-44 2016-03
鞍掛 哲治(一般教育科)* 嵯峨原 昭次	「動機減退を起こした初年次学生を対象としたICT 学習支援・英語教材の開発	2015年8月	平成 27 年度全国高専フォーラム研究プロジェクト経費助成事業関係セッション発表プログラム ☆セッションR 1 研究プロジェクト経費助成事業による研究取 組み① ～展開加速型・技術開発型・人文社会融合型の研究～ 東北大学(仙台市) 2015-08
鞍掛 哲治(一般教育科)*	国立高等専門学校の海外派遣プログラムの取り組み(鹿児島高専の取り組みと9高専連携事業を中心に)	2015年5月	グローバル人材育成教育学会第2回九州支部大会予稿集 日本文理大学(大分市) pp.22～23 2015-05
Akihiro Ikeda*(一般教育科) M. G. Cardanal	The relationship between the electric field in the lower atmosphere and Sq variations	2015年5月	日本地球惑星科学連合2015年大会(千葉市) 2015-05
池田昭大*(一般教育科)	Similarity between the atmospheric electric field variation and Sq variation	2015年10月	地球電磁気・地球惑星圏学会 第138回総会(東京都文京区) 2015-10
池田昭大*(一般教育科)	Response of atmospheric electric field to geomagnetic activity	2016年1月	日本大気電気学会第94回研究発表会(調布市) 2016-01

資料名：「研究活動の実施状況がわかる資料」 つづき

鹿児島工業高等専門学校
研究報告 52 (2017)鹿児島工業高等専門学校 教職員研究業績
(2016年4月1日～2017年3月31日)

【学術研究論文(査読付)】

発表者名	学術研究論文等の名称	発行又は発表の年月	発表雑誌等の名称、巻、号、頁
Hitoo Tokunaga (機械工学科) Kazuki Shoya	Effect of alloy composition on phase transformation behavior of Zr-Cu shape memory alloy	2016年6月	Trasaction of the Materials Research Society of Japan
Yoshifumi Ohbuchi Masakazu Nishi Kimihide Tsukamoto (機械工学科) Hidetoshi Sakamoto	Study of Safety Evaluation for Assembled Mechanical Structure	2016年8月	Journal of Research and Applications in Mechanical Engineering Transactions of the TSME Vol.4, No.1, pp.25-34 (2016)
R. Hayashi T. Ito T. Ishitani F. Tamura T. Kudo N. Takakura K. Kashine (電気電子工学科) K. Takahashi T. Sasaki T. Kikuchi Nob. Harada W. Jiang A. Tokuchi	Input energy measurement toward warm dense matter generation using intense pulsed power generator	2016年5月	Web Journal of Physics: Conference Series 717(1) (2016) 012063
Ryota Hayashi Tomoaki Ito Fumihiro Tamura Takahiro Kudo Naoto Takakura Kenji Kashine (電気電子工学科) Kazumasa Takahashi Toru Sasaki Takashi Kikuchi Nob Harada Weihua Jiang Akira Tokuchi	Impedance control using electron beam diode in intense pulsed-power generator	2016年6月	Laser and Particle Beams, volume 33, issue 02, pp. 163-167
Ryota Hayashi Kenji Kashine (電気電子工学科) Akira Tokuchi Fumihiro Tamura Arata Watabe Takahiro Kudo Kazumasa Takahashi Toru Sasaki Takashi Kikuchi Tsukasa Aso Nob. Harada Weihua Jiang	Estimation on Achievable Parameter Regime of Warm Dense Matter Generated by Isochoric Heating Discharge using Intense Pulsed Power Generator	2016年11月	Web Journal of Physics: Conference Series, Volume 688, Number 1 (2016) 012028
Fumihiro TAMURA Ryota HAYASHI Takahiro KUDO Arata WATABE Kenji KASHINE (電気電子工学科) Akira TOKUCHI Takashi KIKUCHI Kazumasa TAKAHASHI Toru SASAKI Tsukasa ASO Nob. HARADA Weihua JIANG	Concept for Generation of Warm Dense Matter of Insulator due to Flyer Impact Accelerated by Electron Beam Irradiation using Intense Pulsed Power Generator	2016年11月	Web Journal of Physics: Conference Series, Volume 688, Number 1 (2016) 012121

資料名：「研究活動の実施状況がわかる資料」 つづき

鹿児島工業高等専門学校
研究報告 52 (2017)

発表者名	学術研究論文等の名称	発行又は発表の年月	発表雑誌等の名称、巻、号、頁
橋爪 善光 垣内田 翔子(電気電子工学科) 西井 淳	歩行中の下肢関節間シナジーにおける足関節の寄与	2016年7月	計測自動制御学会論文集, Vol.52, No.6, pp.310~316
Atsushi Nitta(電子制御工学科) Kazuya Kawahara Kohei Miyata	Characteristics Improvement of PEDOT:PSS Transparent Conductive Film Prepared by Ink-Jet Printing	2016年8月	Web Advances in Materials Physics and Chemistry http://www.scirp.org/journal/AMPC/ 6巻 8号 pp.239~247 (9) 2016-08
Itaru Miyazaki Yukio Yoshimura Yuichiro Maeda Atsushi Nitta(電子制御工学科)	STRUCTURAL, OPTICAL AND ELECTRICAL PROPERTIES OF FLEXIBLETRANSPARENTCONDUCTIVE AZO FILMS PREPARED AT LOW TEMPERATURES	2016年11月	Web The Experiment http://www.experimentjournal.com/current_issue.php 38巻 1号 pp.2285~2292 (8) 2016-11
Kenji Shimana(電子制御工学科) Eiji Kondo Hiroko Karashima Mitsuhiro Nakao Shunichi Yamashita(技術室)	An approach to real-time compensation of machining error using deflection of tool estimated from cutting forces in end-milling process	2016年5月	Web JSME, Journal of Advanced Mechanical Design, Systems, and Manufacturing 10巻 2号 (10) 2016-05
Kenji Shimana(電子制御工学科) Eiji Kondo Shinichi Yoshimitsu(電子制御工学科) Yuya Kobaru(電子制御工学科) Shunichi Yamashita(技術室)	Estimation of Machining Error Caused by Deflection of Tool using Cutting Force in Ball End Milling of Inclined Surface	2016年10月	Web Materials Science Forum 874巻 pp.525~530 (6) 2016-10
鎌田 清孝(電子制御工学科) 内門 大地 玉利 陽三(情報工学科) 湯ノロ 万友	MRIのためのエレベータに起因する変動磁場を低減するシャフト壁の遮蔽方法の検討	2017年2月	電気学会論文誌C(電子・情報・システム部門誌), Vol.137, No.2, PP. 342-347, 2017
岡松 道雄(都市環境デザイン工学科) 毛利 洋子(都市環境デザイン工学科) 木方 十根	路上イベントに関わる道路占用制度の緩和過程-1998年以降の中心市街地活性化を目的とした路上空間活用イベントとの関連に着目して-	2017年3月	冊子 日本建築学会論文集 82巻 733号 (10) 2017-03
Takashi TSUTSUMI(都市環境デザイン工学科) Seita KUKINO Rini Asnida ABDULLAH Mohd For MOHD AMIN	Distribution of Maximum Principal Stress under Distributed Load from Loading Plate in Specimen for Brazilian Test	2016年8月	Web Jurnal Teknologi http://www.jurnalteknologi.utm.my/index.php/jurnal 78巻 8-6号 pp.81~86 (6) 2016-08
保坂 直之(一般教育科)	1913年秋のトラークルと秋の連作詩	2016年10月	冊子 トラークル研究 第13号 (22) pp. 1~22 2016-10
保坂 直之(一般教育科)	表現主義アンソロジー・コーパスの特徴語	2017年3月	冊子 高専ドイツ語教育第16号(10) 2017-03
坂元 真理子*(一般教育科) 張 世霞	中国と日本の英語教科書における時制と相の扱いに関する分析	2017年3月	日本語教育ICT学会研究概要 (4) pp. 33~45 2017-03
小篠敏明 渡辺清美 上西幸治 坂元 真理子(一般教育科)	中国小学校英語教科書英語のリーダビリティ分析-日本の現行教科書との比較を中心にして-	2017年3月	日本語教育ICT学会研究概要 (4) pp. 59~70 2017-03

資料名：「研究活動の実施状況がわかる資料」 つづき

鹿児島工業高等専門学校
研究報告 52 (2017)

発表者名	学術研究論文等の名称	発行又は発表の年月	発表雑誌等の名称, 巻, 号, 頁
Anis Ur Rehman* (一般教育科) Yuji Nosaki Ken Kihara Sakuichi Ohtsuka	Attentive Tracking of Moving Objects in Stereoscopic Viewing	2016年12月	Proc. of IDW. Tech. Paper, no. 3DSA4/VHF4 - 3, 2016-12. (Refereed)

【国際会議のプロシーディングなど】*印 講演発表者

発表者名	学術研究論文等の名称	発行又は発表の年月	発表雑誌等の名称, 巻, 号, 頁
Kimihide Tsukamoto* (機械工学科)	Advantages of Students Developing Learning Materials Using Graduate Research	2016年8月	Proceedings of International Workshop on Fundamental Research for Science and Technology 201, Pattaya, Thailand, pp7-12, 2016-8
Tomoki Mori Yoshifumi Ohbuchi Kimihide Tsukamoto (機械工学科) Y.Nakamura Hidetoshi Sakamoto	Study of optimum shape and strength design of redesigned zig-zag chair	2016年9月	The 2016 International Conference on High Performance and Optimum Design of Structures and Materials, Siena, Italy 2016-09
Naoto MORI* Kimihide Tsukamoto (機械工学科)	Fabrication of a Resin Violin for Strength Analysis Using a 3D-printer - Calculation of Plate Thickness for Fabrication -	2016年12月	6th International Joint Symposium on Engineering Education, Korea Maritime and Ocean University, Korea, pp.43-44, 2016-12
Akira TANOUE* Shuji ESAKI (機械工学科) Kimihide Tsukamoto (機械工学科)	Experiments on an Automotive Engine Using a Newly Developed Transient Chassis Dynamometer and an Engine Control Unit	2016年12月	6th International Joint Symposium on Engineering Education, Korea Maritime and Ocean University, Korea, pp.139-144, 2016-12
Takumi Hirashima* Yoshifumi Ohbuchi Hidetoshi Sakamoto Kimihide Tsukamoto (機械工学科)	Structural Property evaluation of Violin by FEM Simulation	2016年12月	6th International Joint Symposium on Engineering Education, Korea Maritime and Ocean University, Korea, pp.17-18, 2016-12
Chihiro Iwamoto* Yuichi Higashi (機械工学科) Yoshihito Kawamura	Microstructure of the Mg96Zn2Y2 alloy joints welded by ultrasonic spot welding	2016年6月	THERMEC'2016 International Conference on PROCESSING & MANUFACTURING OF ADVANCED MATERIALS Processi GRAZ, AUSTRIA (0) 2016-06
Yuichi Higashi* (機械工学科) Chihiro Iwamoto	Plastic deformation behavior within AZ31B Mg alloy joints welded by ultrasonic spot welding	2016年10月	USB The 10th International Conference on Trends in Welding Research & International Welding Symposium and ーツ橋講堂, 東京 pp.165~168 (4) 2016-10
Hitoo Tokunaga* (機械工学科) Hideki Yoshioka	Compositional dependence on microstructure and martensitic transformation of ZrCu in Zr-Cu-Al ternary alloy	2017年3月	Proceedings of International Workshop on Advances in Shape Memory Materials
Hitoo Tokunaga* (機械工学科) Yuta Nakamura Tomoya Kanemoto	Characterization of Carbonized Woody Biomass Pellets	2016年10月	USB Proceedings of the 10th Asian-Australasian Conference on composite Materials
Hitoo Tokunaga* (機械工学科) Hideki Yoshioka	Shape memory behavior and compositional dependence of Zr-Cu system alloy	2016年9月	USB Proceedings of Asia-Pacific conference on Fracture and strength 2016

資料名：「研究活動の実施状況がわかる資料」 つづき

鹿児島工業高等専門学校
研究報告 52 (2017)

発表者名	学術研究論文等の名称	発行又は発表の年月	発表雑誌等の名称、巻、号、頁
Takuyo CHAEN* Takayuki SHIRAIISHI Satoru ODAHARA(機械工学科)	Liquid-Surface Acceleration Feedback for Sloshing Suppression	2016年12月	6th International Joint Symposium on Engineering Education IJSEE, pp.49 ~52 2016-12 CD-ROM
Kenji Kashine*(電気電子工学科) Nariaki Imamura(電気電子工学科) Masahiro Kozako	Development of the monitoring device with energy harvest functions for smart grid	2016年12月	冊子 11th International Forum on Ecotechnology, Penang Malaysia, p13 (2016)
Ataushi Nitta*(電子制御工学科) Kazuya Kawahara Kazuhiro Takeda(情報工学科)	An organic transparent conductive film for flexible devices prepared using an ink-jet printing method.	2016年9月	冊子 2016 European Materials Research Society Fall Meeting Warsaw University of Technology pp.210 2016-09
Kenji Shimana*(電子制御工学科) Eiji Kondo Takumi Chifu Mitsuhiro Nakao Yuki Nishimura	Real-Time Estimation of Machining Error Caused by Vibrations of End Mill	2016年6月	Web Procedia CIRP Chemnitz, Germany pp.246~249 (4) 2016-06
Kiyotaka Kamata*(電子制御工学科) Yozo Tamari(情報工学科) Yuya Tsuboyama Satoru Temma Koshi Goto	STUDY OF OPEN-TYPE MAGNETICALLY SHIELDED ROOM FOR MRI	2016年9月	冊子 Proceedings of The 11th International Civil Engineering Post Graduate Conference - The 1st Internati University of Technology, Malaysia pp.710~717 2016-09
Satoru Temma* Koshi Goto Yuya Tuboyama Kiyotaka Kamata(電子制御工学科)	Optimal Design of an Open-Type Magnetically Shielded Room for Magnetic Resonance Imaging Composed of Magnetic Material Plates	2016年12月	International Joint Symposium on Engineering Education, pp.113 - 116, 2016-12
Harumi Inoue* Kiyotaka Kamata(電子制御工学科)	Basic Development of Bipedal Walking Robot using Arduino	2016年12月	International Joint Symposium on Engineering Education, pp.65- 67, 2016-12
Hironari Sugiyama* Kiyotaka Kamata(電子制御工学科)	Study of Shielding Method to Reduce Leakage Magnetic Field of an Opening in a Magnetically Shielded Room	2017年1月	41ST INTERNATIONAL CONFERENCE AND EXPOSITION ON ADVANCED CERAMICS AND COMPOSITES
Hironari Sugiyama* Kiyotaka Kamata(電子制御工学科) Yozo Tamari(情報工学科)	Study of Shielding Method to Reduce Leakage Magnetic Field of an Opening in a Magnetically Shielded Room	2017年1月	International Conference of "Science of Technology Innovation" 2017, STI-9-66, 2017
Takashi Hara*(情報工学科) Ichiro Iimura Kazuhiro Takeda(情報工学科) Shigeru Nakayama	Development of ESPACE Language for Distributed Parallel Processing System Inspired by the Acquired Immune	2016年9月	冊子 Proceedings of The 11th International Civil Engineering Post Graduate Conference - The 1st Internati University of Technology, Malaysia pp.731~739 (9) 2016-09
Takashi TSUTSUMI*(都市環境デザイン工学科) Rini Asnida ABDULLAH Mohd For MOHD AMIN	Theoretical model using two kinds of function for distribution of applied load in Brazilian Test	2016年10月	USB Proceedings of The 9th Asian Rock Mechanics Symposium http://arms9.com/ Bali, Indonesia (6) 2016-10
Ippei Uchida*(都市環境デザイン工学科)	Study on the Positioning of the Compact City in City Master Plan - Case Study of the Master Plan in the Previous Local City Planning of the Location Optimization Plan-	2016年9月	SEPKA-ISEED 2016, pp.938-945

資料名：「研究活動の実施状況がわかる資料」 つづき

鹿児島工業高等専門学校
研究報告 52 (2017)

発表者名	学術研究論文等の名称	発行又は発表の年月	発表雑誌等の名称、巻、号、頁
Koji Uenishi* Kiyomi Watanabe Mariko Sakamoto (一般教育科) Toshiaki Ozasa	Creating Criterion for Benchmark-Sentences for the Development of a New English Readability Index: Ozasa-Fukui Year-Level, Ver. 3.5nhnc1-6	2016年8月	USB Proceedings of The 6th International Conference on Social Sciences and Business pp.395-404 2016-08
Akihiro Ikeda* (一般教育科) Hiromasa Nozawa (一般教育科) Manabu Shinohara (一般教育科)	UTILIZATION OF UPPER ATMOSPHERE OBSERVATION FOR EDUCATION	2016年9月	Proceedings of The 10th International Symposium on Advances in Technology Education, 111-114, 2016
Anis Ur Rehman* (一般教育科) Ken Kihara Sakuichi Ohtsuka	Attentive Tracking in 3D: Human's Attentional Flexibility Across a Range of Depth Planes	2016年9月	Proc. of SEPKA-ISEED. Tech. Paper, No. 62, pp. 697-701, 2016-9 (Refereed)
Anis Ur Rehman* (一般教育科) Ken Kihara Sakuichi Ohtsuka	Attentive Tracking Abilities of Monolinguals and Bilinguals	2017年3月	Proc. of ACEE. Vol. 6, pp.123-126, 2017-3

【国内学会等発表】*印 講演発表者

発表者名	学術研究論文等の名称	発行又は発表の年月	発表雑誌等の名称、巻、号、頁
塚本 公秀*(機械工学科) 山田 孝行(技術室)	学生と教員による実習教材の共同開発	2016年9月	平成28年度工学教育研究講演会講演論文集, 大阪大学, pp.504-505, 2016-09
森 邦彦* 川崎 英次 坂本 英俊 大淵 慶史 塚本 公秀(機械工学科)	「エコカー甲子園」その2	2016年9月	平成28年度工学教育研究講演会講演論文集, 大阪大学, pp.296-297, 2016-09
田之上 輝* 江崎 秀司(機械工学科) 塚本 公秀(機械工学科)	エンジンの過渡シャーンダイナモとECUの開発とそれを用いたエンジンの分析	2017年3月	中国四国学生会 第47回学生員卒業研究発表講演会 広島工業大学, 2017-03
末永 圭一* 東 雄一(機械工学科) 岩本 知広	超音波接合されたMg96Zn2Y2合金継手の微細組織	2016年4月	Web 溶接学会 平成28年度 春季全国大会 アジア太平洋トレードセンター(大阪) (0) 2016-04
三角 利之(機械工学科) 仙名 昭夫* 北村 健三 光石 曉彦	一列加熱円柱列まわりの強制対流熱伝達	2016年9月	CD-ROM 日本機械学会2016年度年次大会 DVD論文集 九州大学伊都キャンパス pp.1~4 (4) 2016-09
外薗 直樹* 三角 利之(機械工学科) 田畑 隆英(機械工学科)	等容加熱・冷却の実現によるスターリングエンジンの性能向上	2016年12月	日本機械学会 第19回スターリングサイクルシンポジウム講演論文集 宇都宮大学 pp.67~68 2016-12
佐藤 真太郎* 小田原 悟(機械工学科)	In-line流体力学振動挙動における複数円柱の配置の影響	2016年9月	CD-ROM 日本機械学会2016年度年次大会講演論文集 http://www.jsme.or.jp/conference/nij2016/ 福岡市 (1) 2016-09
鶴永 隆太* 小田原 悟(機械工学科) 汪 文学 鳥谷 隆	レンズ風車の短絡ブレーキによる翼への衝撃荷重計測	2016年9月	CD-ROM 日本機械学会2016年度年次大会講演論文集 http://www.jsme.or.jp/conference/nij2016/ 福岡市 (1) 2016-09

出典：研究報告 No.52 (2017)

資料名：「研究活動の実施状況がわかる資料」 つづき

鹿児島工業高等専門学校
研究報告 52 (2017)

発表者名	学術研究論文等の名称	発行又は発表の年月	発表雑誌等の名称、巻、号、頁
堂免 凌太* 小田原 悟(機械工学科)	CFRP の疲労強度特性に及ぼす切欠きの影響	2016年12月	冊子 第26回九州沖縄高専フォーラム「企業が求める高専卒業生の人材像」講演・ポスター発表要旨集 八代市 pp.4~4 (1) 2016-12
余慶 省太* 小田原 悟(機械工学科)	In-line流体力学振動の実験及び解析的研究	2016年12月	冊子 第26回九州沖縄高専フォーラム「企業が求める高専卒業生の人材像」講演・ポスター発表要旨集 八代市 pp.5~5 (1) 2016-12
茶園 拓陽* 白石 貴行(機械工学科) 小田原 悟(機械工学科)	液面加速度フィードバックを用いたスロッシング抑制の提案	2016年12月	冊子 第26回九州沖縄高専フォーラム「企業が求める高専卒業生の人材像」講演・ポスター発表要旨集 八代市 pp.6~6 (1) 2016-12
田畑 隆英*(機械工学科) 李鹿 輝	五角形ダクトから流出する噴流のウェーブレット解析	2016年7月	USBメモリ 可視化情報学会 第44回可視化情報シンポジウム講演論文集 工学院大学新宿キャンパス(東京都新宿区) (2) 2016-07
田畑 隆英*(機械工学科) 東 雅人 李鹿 輝	変形するノズルから流出する噴流のウェーブレット解析	2016年7月	USBメモリ 可視化情報学会 第44回可視化情報シンポジウム講演論文集 工学院大学新宿キャンパス(東京都新宿区) (2) 2016-07
田畑 隆英*(機械工学科) 東 雅人	変形するノズルから流出する噴流	2016年9月	日本機械学会2016年度年次大会講演論文集 九州大学伊都キャンパス(福岡市) 2016-09
田畑 隆英*(機械工学科)	五角形ダクトから流出する噴流	2016年9月	USB 日本機械学会2016年度年次大会講演論文集 九州大学伊都キャンパス(福岡市) (5) 2016-09
伊見 太郎* 椎 保幸(機械工学科) 田畑 隆英(機械工学科)	螺旋式マイクロ水車の羽根周りの流れ	2016年10月	USB 可視化情報学会可視化情報全国講演会(日立2016) 茨城大学日立キャンパス(日立市) (2) 2016-10
田畑 隆英*(機械工学科) 東 雅人	変形するノズルから流出する噴流	2016年11月	日本機械学会第94期流体工学部門講演会講演論文集 山口大学工学部(山口県宇部市) 2016-11
田畑 隆英*(機械工学科)	五角形ダクトから流出する噴流	2016年11月	冊子 日本機械学会第94期流体工学部門講演会講演論文集 山口大学工学部(山口県宇部市) (3) 2016-11
外薮 直樹* 三角 利之(機械工学科) 田畑 隆英(機械工学科)	等容加熱・冷却の実現によるスターリングエンジンの性能向上	2016年12月	日本機械学会第19回スターリングサイクルシンポジウム講演論文集 宇都宮大学峰キャンパス(宇都宮市) pp.67~68 2016-12
岡元 友佑* 徳永 仁夫(機械工学科)	アルゴンガスアトマイズ法によるCu-Zr合金粉末の放電プラズマ焼結	2017年3月	日本機械学会九州学生会 第48回学生員卒業研究発表講演会講演論文集
星 勇太* 末永 圭一 近藤 顕二 東 雄一(機械工学科) 河村 能人 岩本 知広	インサート材を用いたMg96Zn2Y2合金の超音波接合	2017年3月	日本金属学会 2017年春季大会 首都大学東京 南大沢キャンパス

資料名：「研究活動の実施状況がわかる資料」 つづき

鹿児島工業高等専門学校
研究報告 52 (2017)

発表者名	学術研究論文等の名称	発行又は発表の年月	発表雑誌等の名称、巻、号、頁
中村 格*(電気電子工学科)	鹿児島高専電気電子工学科における選挙についてのアンケート	2016年9月	冊子 電気学会教育フロンティア研究会 東京 pp.7~10 (4) 2016-09
中村 格*(電気電子工学科)	明治日本の産業革命の礎となる集成館事業	2017年1月	冊子 電気学会電気技術史研究会 東京 pp.1~4 (4) 2017-01
中村 格*(電気電子工学科)	鹿児島高専電気電子工学科における初めての選挙を終えてのアンケート	2017年3月	CD-ROM 平成29年電気学会全国大会 富山 講演番号1-105 2017-03
宮内 肇* 小川 洋子 門脇 健 中村 格(電気電子工学科)	テクノクラフトによる百人一首パフォーマンス	2017年3月	CD-ROM 平成29年電気学会全国大会 富山 講演番号1-001 2017-03
末永 祐磨* 樫根 健史(電気電子工学科)	大強度電子ビーム照射による高強度パルス放射線発生とその特性解析	2017年3月	平成28年度(第7回) 電気学会九州支部高専研究講演会講演論文集 都城高専(都城市)
伊東 拓真* 樫根 健史(電気電子工学科)	大強度電子ビームを用いた飛翔体加速における飛行加速度測定法の検討	2017年3月	平成28年度(第7回) 電気学会九州支部高専研究講演会講演論文集 都城高専(都城市)
前薗 颯* 今村 成明(電気電子工学科) 樫根 健史(電気電子工学科)	電力設備のオンライン診断システム構築を目指した非接触給電型監視装置の開発	2017年3月	平成28年度(第7回) 電気学会九州支部高専研究講演会講演論文集 都城高専(都城市)
上村 泰広* 須田 隆夫(電気電子工学科)	電気四重極の電極電圧をPWMにより制御した誘電泳動細胞操作	2016年9月	平成28年度 電気・情報関係学会九州支部連合大会(第69回連合大会) 講演論文集(宮崎大学) 講演番号 04-1A-02
上村 泰広 須田 隆夫*(電気電子工学科)	誘電泳動力の周波数依存性を利用した血球分離	2017年3月	平成28年度第64回応用物理学会春季学術講演会 講演予稿集(2017/パシフィコ横浜) 講演番号16p-F205-1
宮崎 達* 吉村 幸雄 新田 敦司(電子制御工学科)	酸化亜鉛を用いたフレキシブルな透明導電膜の作製	2016年9月	CD-ROM 平成28年度 第24回電子情報通信学会九州支部学生講演会 講演論文集 http://www.ieice.org/kyushu/koen-hp/ 宮崎大学 (1) 2016-09
川畑 俊彦* 濱野 将平 新田 敦司(電子制御工学科) 楠原 良人(地域共同テクノセンター) 永田 亮一(技術室)	フレキシブル金属空気燃料電池の開発	2016年9月	CD-ROM 平成28年度(第69回) 電気・情報関係学会九州支部連合大会 講演論文集 http://www.jceee-kyushu.jp/ 宮崎大学 pp.103~(1) 2016-09
山下 俊一*(技術室) 島名 賢児(電子制御工学科) 松尾 征一郎(技術室) 吉満 真一(電子制御工学科) 櫻庭 肇 東 大貴 河野 良弘	マシニングセンタの熱変位補償制御に関する研究	2016年10月	CD-ROM 日本機械学会第11回生産加工・工作機械部門講演論文集、名古屋大学 pp.155-156 2016-10
前田 裕一朗* 吉村 幸雄 宮崎 達 新田 敦司(電子制御工学科)	銀を用いた多層型の透明導電膜の検討	2017年3月	講演番号 C-6-5 2017年電子情報通信学会総合大会

資料名：「研究活動の実施状況がわかる資料」 つづき

鹿児島工業高等専門学校
研究報告 52 (2017)

発表者名	学術研究論文等の名称	発行又は発表の年月	発表雑誌等の名称、巻、号、頁
今村 優希* 川原 和也 武田 和太(情報工学科) 新田 敦司(電子制御工学科)	インクジェット法を用いて作製した有機透明導電膜の均一性の改善	2017年3月	講演番号 C-6-5 2017年電子情報通信学会総大会
川原 和也* 今村 優希 武田 和太(情報工学科) 新田 敦司(電子制御工学科)	インクジェット法を用いて作成した有機透明導電膜のインクと塗布表面の改善	2016年9月	平成28年度(第69回)電気・情報関係学会九州支部連合大会講演論文集 宮崎大学(宮崎市) pp.228~ 2016-09
武田 和太*(情報工学科) 新田 敦司(電子制御工学科)	学校教育のための成長型気象観測ネットワークシステム	2017年2月	2016年度情報文化学会九州支部研究会,都城工業高等専門学校(都城市), OP-B2(1), 2017-02
川路 啓太* 武田 和太(情報工学科) 前薗 正宜(電気電子工学科)	エリート指向型ホテルアルゴリズムの提案	2017年2月	2016年度情報文化学会九州支部研究会,都城工業高等専門学校(都城市), OP-B1(2), 2017-02
千竈 淳* 原 崇(情報工学科) 武田 和太(情報工学科)	分散並列処理を行うコードを生成するJava言語変換器の開発と応用	2017年2月	2016年度情報文化学会九州支部研究会,都城工業高等専門学校(都城市), OP-B3, 2017-02
福添 孝明*(電子制御工学科) 杉 健一(電気電子工学科) 深見 大輔	画像認識による枯れ木検出手法の研究	2017年1月	信学技報, vol. 116, no. 411, PRMU2016-141, pp. 219-220, 2017年1月.
川添 雅史* 渡瀬 悠斗 岸田 一也(電子制御工学科)	SIRMsファジィモデルを用いた2輪走行車の倒立制御	2016年8月	第32回ファジィシステムシンポジウム講演論文集(CD-ROM), WA3-1
渡瀬 悠斗* 川添 雅史 岸田 一也(電子制御工学科)	SNIRMsモデルを用いた走行車の自動駐車制御	2016年8月	第32回ファジィシステムシンポジウム講演論文集(CD-ROM), WA3-2
柏田大貴* 原田治行(電子制御工学科) 玉利陽三(情報工学科)	多チャンネル脳波信号の高周波成分の相関を用いたBCIの検討	2016年9月	CD-ROM 平成28年度(第69回)電気・情報関係学会九州支部連合大会 宮崎大学 pp.159 - 159 2016-09
鎌田 清孝* 玉利 陽三(情報工学科) 坪山 佑哉 天磨 智 後藤 巧志 湯ノ口 万友	MRI用開口型磁気シールドルームの検討	2016年9月	平成28 年 電気学会 電子・情報・システム部門大会, pp.27-30, 2016-09
梶野 翔* 玉利 陽三 鎌田 清孝 湯ノ口 万友	神経興奮シミュレーションを用いた磁気刺激における局在性の評価	2016年9月	2016 年度電子情報通信学会九州支部学生会講演会・講演論文集, D-30, 2016-09
玉利 陽三* 鎌田 清孝 西園 拓也 室屋 知佐 木元 菜里 梶野 翔 湯ノ口 万友	深部の生体磁気刺激における刺激電流の局在化の試み	2016年9月	平成28年 電気学会 電子・情報・システム部門大会, pp.273-276, 2016-09
毛利 洋子*(都市環境デザイン工学科) 岡松 道雄(都市環境デザイン工学科) 村田 菜優	空き店舗を活用した「まちなかサロン」の改装提案ーがらばる商店街にみる取組傾向といちき串木野市既存「まちなかサロンの利用実態をもとにしてー	2016年8月	DVD 日本建築学会2016年度大会(九州)学術講演梗概集・建築デザイン発表梗概集 発表番号5418 http://pdfwww.gakkai-web.net/gakkai/aij/session16/ 福岡大学 pp.847~848 (0) 2016-08

資料名：「研究活動の実施状況がわかる資料」 つづき

鹿児島工業高等専門学校
研究報告 52 (2017)

発表者名	学術研究論文等の名称	発行又は発表の年月	発表雑誌等の名称、巻、号、頁
毛利 洋子*(都市環境デザイン工学科) 岡松 道雄(都市環境デザイン工学科)	県産材を利用した木製品コンテスト出展に伴う 産学官の取組とデザイン教育	2016年12月	USB, 共催:日本機械学会(幹事学会)、精 密工学会、日本設計工学会、日本建 築学会、日本デザイン学会、人工知 能学会、大阪大学大学院工学研究科 Designシンポジウム2016 講演論文 集、 大阪大学、発表番号G1204 2016-12
内田 一平*(都市環境デザイン工学科)	都市計画マスタープランにおけるコンパクトシ ティ政策の取り扱いと詳細計画への反映状況 立地適正化計画策定以前を対象として	2016年8月	建築学会学術講演梗概集、都市計画 7124
田中 智樹*(一般教育科)	万葉の神話世界	2016年8月	冊子 美夫君志会 中京大学(愛 知県) (0) 2016-08
保坂 直之*(一般教育科)	『夢の中のセバスティアン』第2連作の詩と「パン とぶどう酒」の詩	2016年5月	トラークル協会2016年度春季研究発 表会 草加市 2016-05
坂元 真理子(一般教育科) 保坂 直之*(一般教育科)	第二外国語学習者が感じる外国語不安と学習 意欲の研究	2016年5月	第46回高専ドイツ語教育研究会研究 発表会 東京ドイツ文化センター 2016-05
坂元 真理子(一般教育科) 保坂 直之*(一般教育科)	初修外国語(ドイツ語)学習者が感じる外国語 不安の変化	2016年11月	第7回日本独文学会関東支部研究発 表会 東京理科大 2016-11
坂元 真理子*(一般教育科) 保坂 直之*(一般教育科)	日本人外国語学習者の外国語不安に関する研 究	2016年10月	冊子 日本教科教育学会第42回全 国大会日本教科教育学会全国大会 論文集 pp.98-99 2016-10
白坂 繁*(一般教育科)	制限付き予言定理	2016年8月	冊子 日本数学教育学会誌 第98回 大会特集号(岐阜大会) p548, p562
鞍掛 哲治*(一般教育科) 嵯峨原 昭次(一般教育科)	「動機減退を起こした初年次学生を対象とした ICT 学習支援・英語教材の開発に関する研究	2016年8月	平成 28 年度全国高専フォーラム研 究プロジェクト経費助成事業成果発 表② ～人文社会融合型・若手研究 ①～ 岡山大学(岡山市) 2016-8
鞍掛 哲治*(一般教育科)	高専生を対象としたムードメール配信小テスト の導入と実践	2016年8月	外国語教育メディア学(LET) 第 56 回全国研究大会予稿集 早稲田大学 (東京都新宿区) pp.87-88 2016-08
鞍掛 哲治*(一般教育科)	自律的学習習慣を目指したメール配信ソフトの 利用	2016年6月	外国語教育メディア学会(LET) 九州 沖縄支部 2016 年度 第 45 回研究大 会予稿集 北九州市立大学ひびきの キャンパス(北九州市) p.8 2016-06
嵯峨原 昭次*(一般教育科)	学生主体の英語部の活動ー鹿児島高専課外 活動の一例ー	2016年3月	全国高等専門学校英語教育学会研 究論集第35号pp.69-75 2016-03
塚崎 香織*(一般教育科)	アメリカにおける語学研修についてー鹿児島高 専の事例	2016年12月	グローバル人材育成教育学会第3回 九州支部大会抄録集 熊本高等専門 学校八代キャンパス(熊本県八代市) p.24-25 2016-12

資料名：「研究活動の実施状況がわかる資料」

日本語 | [English](#) | handle0211958 | ログアウト | パスワード変更 | 使い方

researchmap

[ホーム](#)
[研究者検索](#)
[コミュニティ検索](#)
[マイポータル](#)

研究者検索

絞りこみたい項目をチェック

エリア

北海道

東北

関東

中部

近畿

中国

四国

九州

その他

鹿児島県

機関

国立研究機関

独立行政法人・国立研究開発法人等

大学共同利用機関法人

公設試験研究機関

学校機関

国立大学法人

公立大学

私立大学

高等専門学校

大学校

その他学校機関

研究者氏名

所属

研究キーワード

研究分野絞り込み 大分類 -- 指定なし -- 中分類 -- 指定なし --

最終更新日 以内

検索

クリア

検索結果

総件数: 85件

1 2 3 4 5 >

ヤマウチ マサヒト

山内 正仁

鹿児島工業高等専門学校

都市環境デザイン工学科

教授

チョウジ テツジ

丁子 哲治

鹿児島工業高等専門学校

校長

ナカムラ イタル

中村 格

鹿児島工業高等専門学校

電気電子工学科

教授

オオタケ タカアキ

大竹 孝明

鹿児島工業高等専門学校

一般教育科

教授

出典：Researchmap

https://researchmap.jp/search/#_active_center_0

- 50 -

資料名：「研究活動の実施状況がわかる資料」

教育・研究活動 Education・Research Activities

	配分機関・団体	制度・事業名	研究題目・プロジェクト名	採択額
平成29年度 2017	公益財団法人 軽金属学会	教育研究資金・研究補助金	超音波スポット接合を用いて接合したLPSSO型Mg合金継手におけるLPSSO相の形態と組織形成機構	150 150
	公益財団法人 天田財団	天田財団 一般研究開発助成	衝撃水圧を用いた高ひずみ速度域におけるマグネシウム合金の塑性に関する研究	1,810 1,810
	公益財団法人 マツダ財団	マツダ 研究助成	シューマン共鳴を用いた太陽フレアの特定及び地球への影響調査に関する研究	1,000 1,000
	公益財団法人 大倉和親記念財団	大倉和親記念財団 研究助成	セラミックス罫子の地域特有な環境下での信頼性評価	1,000 1,000
	文部科学省	地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)	食と観光で世界を魅了する「かごしま」地元定着促進プログラム	59,650 3,320
	国立研究開発法人 科学技術振興機構	日本・アジア青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプラン)	科学技術体験コース	3,335 3,335

金額の上段：総額/下段：本校受入額

(単位：千円)

●寄附金研究受入状況 Donations (Last 3 Years)

平成27年度		平成28年度		平成29年度	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
20	14,250	22	16,834	30	17,119

(単位：千円)

●地域との連携 Cooperation with Local Community

●自治体との包括連携協定 Cooperation Agreement (Local Government)

平成26年12月8日	日置市
平成27年3月31日	霧島市
平成29年1月19日	長岡技術科学大学、長島町

●その他連携協定 Cooperation Agreement (Others)

平成19年6月27日	鹿児島県技術士会
平成24年3月27日	株式会社南日本新聞社
平成24年6月13日	華人錦江スポーツクラブ
平成29年10月31日	NPO法人華人錦江スポーツクラブ、ココロウエスト株式会社
平成30年4月1日	医療法人仁心会



●受託研究受入状況 Contract Research

	研究題目	件数	金額
平成27年度 (2015)	・下水汚泥を用いた高付加価値さのこの生産技術及びその生産過程で発生する廃棄物、炭酸ガスの高度利用技術の開発	10	13,836
	・流下土砂を用いた海洋コンクリートの適用に関する基礎調査業務		
	・醤油製造工程から排出される高濃度有機性排水の無酸素・創エネルギー型バイオリアクターの開発 (JST マッチングプランナープログラム第1回)		
	・オンライン経済実験教材		
	・高精度加工を可能にする熱変位補償制御システムを搭載した汎用型マシンングセンタの開発 (JST マッチングプランナープログラム第2回)		
平成28年度 (2016)	・金属空気燃料電池で駆動されるLED・GPS発信器を搭載した救命具の開発 (JST マッチングプランナープログラム第1回)	14	19,308
	・蒸気注入型攪拌装置を用いた発酵バガス・黒糖焼酎粕地の量産化に関する研究 (JST マッチングプランナープログラム第1回)		
	・画像認識による枯れ木検出と電波誘導を用いた自立型小型飛行体による森林保全ソリューションの開発 (JST マッチングプランナープログラム第2回)		
	・光変調による非接触式火山灰計測センサとモニタリングシステムの開発 (JST マッチングプランナープログラム第2回)		
	・センサブロックによる表面の形状・圧力をリアルタイムモニタリング可能な自動計測システムの開発 (JST マッチングプランナープログラム「企業ニーズ解決試験」)		
	・下水汚泥と食品廃棄物の共同処理による高度資源回収プロセスのための基礎技術開発とパイロット実証 (平成28年度戦略的国際共同研究プログラム (SICORP))		
	・空き店舗活用基本計画策定業務		
平成29年度 (2017)	・国立高専超小型衛星実現に向けての全国高専連携(宇宙人材育成事業)	5	33,164
	・流下土砂を用いた海洋コンクリートの適用に関する基礎調査業務		
	・高濃度嫌気性メタン発酵プロセスの開発・戦略的国際共同研究プログラム (SICORP)		
	・超小型衛星開発を通じた高専ネットワーク型宇宙人材育成		
	・豚枝肉残毛自動脱毛機の開発 (革新的技術開発・緊急展開事業 (うち地域戦略プロジェクト))		
	・革新種イモ生産技術の確立 (井戸水を利用した種苗生産方法の実証試験)		
	・きのこ生産を核とした下水道資源のカスケード利用システムの構築		

(単位：千円)

資料名：「研究活動の実施状況がわかる資料」 つづき

●受託試験 Consigned Technical and Engineering Tests-mostly from companies

	コンクリート圧縮試験		金属材料引張試験		金属材料曲げ試験		計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
平成 27 年度 (2015)	643	7,431	7	140	0	0	650	7,571
平成 28 年度 (2016)	766	9,287	3	110	1	12	770	9,409
平成 29 年度 (2017)	1,179	15,302	7	210	2	86	1,188	15,598

(単位：千円)

●共同研究受入状況 Cooperative Research

	研究題目	件数	金額
平成27年度 (2015)	・醤油製造廃水の新たな低ランニングコスト型メタン発酵処理プロセスの開発	10	5,080
	・細胞位置検出センサー		
	・レンズ風車で発電した電力で生成した電解水素ガスの発生効率特性		
	・廃培地を再利用することによる高機能性アラゲキクラゲ量産化技術の開発		
	・焼酎蒸留粕廃液を対象とした中温 UASB 法による局所的過負荷低減化供給技術の開発		
平成28年度 (2016)	・回分式有機物酸化・硝化・脱窒の最適排水処理システムに関する研究	16	10,134
	・奄美群島におけるきのこ生産を核とした地域副産物のカスケード利用の開発		
	・下咽管群部における蒸気流動特性及び管外圧力損失の解析、循環ポンプにおける有効吸込みヘッド低減化に関する研究		
	・高密度プラズマによる高強度パルス放射線発生とその特性解析		
	・嫌気性微生物反応器の局所的過負荷低減化供給技術の開発		
	・長期のピア効果の実証		
	・油空圧パネル標準化における省エネ設計の研究		
	・工作機械の熱剛性に関する研究		
	・放電プラズマ焼結法による Zr-Cu 形状記憶合金の作製		
平成29年度 (2017)	・大陸及び火山由来の PM2.5 の動態解析	14	5,859
	・油空圧パネル標準化における省エネ設計の研究		
	・奄美群島におけるきのこ生産を核とした地域副産物のカスケード利用の開発		
	・筋協調機構（筋シナジー）の解明による加齢に抗した歩行運動の持続に向けて		
	・視覚障害者の生活を支援するシステムの研究開発		
	・下排水の最適処理システムの開発とその実処理場への適用に関する研究		
	・クレーム分析 AI エンジン開発に関する研究		

(単位：千円)

資料名：「目的等ごとに、活動の成果がわかる資料」

●科学研究費助成事業申請・採択状況（平成30年度6月） Grants in Aid for Scientific Research (Last 3 Years, 2018.6)

区 分	基盤研究 (A)		基盤研究 (B) ***		基盤研究 (C)		挑戦的萌芽研究*		挑戦的研究 (開拓・萌芽)	
	申請	採択	申請	採択	申請	採択	申請	採択	申請	採択
平成 28 年度	0	0	3	0	20	1	17	1		
平成 29 年度	0	0	2	1	29	4			11	1
平成 30 年度	0	0	5	0	34	1			5	—
区 分	若手研究		若手研究 (B) **		奨励研究		研究活動スタート支援		計	
	申請	採択	申請	採択	申請	採択	申請	採択	申請	採択
平成 28 年度			14	0	13	6	2	—	69	8
平成 29 年度			12	2	13	4	0	0	67	12
平成 30 年度	6	0			12	3	1	—	63	4

* 挑戦的萌芽研究は、H29 年度より挑戦的研究 (開拓・萌芽) になりました。H29 年度…挑戦的研究 (開拓) 1 件、挑戦的研究 (萌芽) 10 件申請。挑戦的研究 (萌芽) 1 件採択。

** 若手研究 (B) は、平成 30 年度より若手研究に統合されました。

*** 平成 30 年度基盤研究 (B) 申請の内訳 (一般 3 件、特設 2 件)

●科学研究費助成事業テーマ（平成30年度6月） Theme of Grants-in-Aid for Scientific Research (2018.6)

区 分	所属・役職・氏名	テーマ	金 額
基盤 B	都市環境デザイン工学科 教授 山内 正仁	世界初、パームリサイクルきのこが創るグローバルな環境保全型食料生産システムの構築	4,160
基盤 C	情報工学科 准教授 武田 和大	学校教育のための成長型気象観測ネットワークシステムの開発研究	1,430
基盤 C	電気電子工学科 准教授 榎根 健史	損傷原子炉想定環境がモータ駆動装置へ与える障害の発生メカニズム探索研究	780
基盤 C	都市環境デザイン工学科 准教授 山田 真義	地下水温度コントロールによる創・省エネルギー型廃水処理システムの構築	1,430
基盤 C	都市環境デザイン工学科 教授 川添 敦也	低予算で鉄筋コンクリート造建物の残留変形の抑制を可能にする設計方法の確立	650
基盤 C	機械工学科 准教授 東 雄一	難燃性 Mg 合金を用いた超音波接合継手の凹み量低減と接合性向上に寄与する組織制御	1,820
基盤 C	電気電子工学科 逆瀬川 栄一	昇圧チョッパ付NPCインバータの超小型化に関する研究	3,380
挑戦的研究 (萌芽)	一般教育科 教授 塚崎 香織	ガラスの天井を打ち破る理系の女子学生のエンパワメント教育プログラムの開発	3,380
若手 B	機械工学科 准教授 徳永 仁夫	高温駆動型形状記憶合金 ZrCu のマルテンサイト変態挙動に及ぼす第 3 元素の影響	650
若手 B	情報工学科 講師 古川 翔大	眼底画像及び眼底動画解析による脳内血管の動脈硬化予測に関する研究	520
奨励	技術室 技術長 山下 俊一	マシニングセンタの熱変形によって生じる加工位置誤差の補正制御	530
奨励	技術室 技術専門職員 永田 亮一	IoT を活用した超スマート社会実現のための数値情報技術育成用実践的教材の開発	530
奨励	技術室 技術職員 福永 隆之	シラスを利用した高機能性セメント硬化体の開発に関する研究	530

(単位：千円)

●その他補助金 Other Grants in Aid (Last 3 Years)

	配分機関・団体	制度・事業名	研究題目・プロジェクト名	採択額
平成 27 年度 (2015)	鹿児島県建設技術センター	地域づくり助成事業	酸性雨及び火山噴出物に含まれる硫化物等が及ぼすコンクリート構造物への影響調査	1,000 1,000
	米盛誠心育成会	平成 27 年度研究助成団体 (個人)	都市気候分析及び防災のための環境情報観測センサネットワークの構築	1,200 1,200
	文部科学省	地 (知) の拠点大学による地方創生推進事業 (COC+)	食と観光で世界を魅了する「かごしま」の地元定着促進プログラム	67,728 4,000
	文部科学省	平成 27 年度大学間連携共同教育推進事業	高専・企業・アジア連携による実践的・創造的技術者の養成	41,403 12,039
	科学技術振興機構 (JST)	日本・アジア青少年サイエンス交流事業 (さくらサイエンスプラン)	科学技術交流活動コース	2,422 2,422
	三島村	鹿児島高専研究助成金	地域創生に関する工学研究・教育を通じた社会貢献	200 200
平成 28 年度 (2016)	米盛誠心育成会	平成 27 年度研究助成団体 (個人) (継続)	都市気候分析及び防災のための環境情報観測センサネットワークの構築	1,600 400
	文部科学省	地 (知) の拠点大学による地方創生推進事業 (COC+)	食と観光で世界を魅了する「かごしま」地元定着促進プログラム	61,000 3,500
	文部科学省	平成 28 年度大学間連携共同教育推進事業	高専・技術・アジア連携による実践的・創造的技術者の養成	30,289 16,174
	科学技術振興機構 (JST)	日本・アジア青少年サイエンス交流事業 (さくらサイエンスプラン)	科学技術体験コース	2,914 2,914
	長島町	長島町補助金	革新的種苗生産技術研究事業	500 500

資料名：「目的等ごとに、活動の成果がわかる資料」

著者	小田原 悟
題名	高専生のための機械力学
出版社	(有)国分新生社印刷
発行年	2018
著者	山崎慎一, 青木哲, 大田直友, 川上周司, 角野晴彦, 多川正, 谷川大輔, 東海林孝幸, 畠俊郎, <u>山内正仁</u> , 山口隆司, 山口剛士,
題名	PEL環境工学
出版社	実教出版
発行年	2017
著者	キース・L, カマチヨ(著) 西村明・ <u>町泰樹</u> (訳)
題名	戦禍を記念する—グアム・サイパンの歴史と記憶—
出版社	岩波書店
発行年	2016
著者	尾形公一郎、岡根正樹、小田和弘、小林敏郎、 <u>島名賢児</u> 、埜克己、西野精一、西村太志、福田孝之、松尾忠利、三村康成、宮下
題名	PEL材料力学
出版社	実教出版
発行年	2015
著者	堤 隆
題名	改訂測量学Ⅰ
出版社	コロナ社
発行年	2014
著者	岡林巧, <u>堤 隆</u> , 山田貴浩, 田中龍児
題名	改訂測量学Ⅱ
出版社	コロナ社
発行年	2014
著者	幸田晃
題名	パソコンで学ぶ言語聴覚士・高専学生のための音響・音声工学入門
出版社	斯文堂株式会社
発行年	2012
著者	山口隆司, 高橋優信, 幡本将史, 川上周司, 久保田健吾, 原田秀樹, <u>山田真義</u> , <u>山内正仁</u> , 荒木信夫, 山崎慎一
題名	水浄化技術の最新動向
出版社	CMC出版
発行年	2011

出典：教科書・書籍一覧

資料名：「目的等ごとに、活動の成果がわかる資料」

時期	氏名	理由	表彰名	受賞日
平成31年	屋地 康平	表彰	電気学会 電気学術振興賞 論文賞	平成30年5月
平成29年	林 良平	表彰	行動経済学会奨励賞	平成28年12月3日
平成28年	北薮 裕一	教員顕彰	分野別優秀賞（学習教育到達目標の達成を目指した、継続的なクラブ活動指導の実践	平成27年3月12日
	東 雄一	表彰	公益社団法人日本金属学会 若手講演論文賞	平成27年9月16日
	山田 真義	表彰	日本菌学会 平塚賞	平成27年5月16日
平成27年	篠原 学	表彰	平成26年度文部科学大臣表彰（科学技術分野）	平成26年4月15日
平成26年	岩本 才次	表彰	平成24年度「船舶海洋科学技術啓発広報活動奨励賞」	平成25年4月17日
	山内 正仁	表彰	第5回「蟹江松雄賞」（きのこ生産による食品廃棄物の利用に関する研究）	平成25年3月22日
平成25年	岡林 巧	教員顕彰	理事長賞（新たな実践的技術者教育に関する取組）	平成24年3月8日
	高橋 明宏	表彰	平成23年度九州本部技術士論文発表会 優秀賞	平成24年2月25日
	島名 賢児	表彰	日本工業教育協会 第21回日本工学教育協会賞 業績賞	平成24年8月22日
	林 良平	表彰	2012年 日本水泳・水中運動学会「競泳の種目間記録関係」 奨励賞	平成24年10月20日

出典：研究関係受賞の実績

資料名：「目的等ごとに、活動の成果がわかる資料」

道 新 聞

(昭和44年4月21日)
第三種郵便物認可

毎週水曜日発行

第2439号

(2)

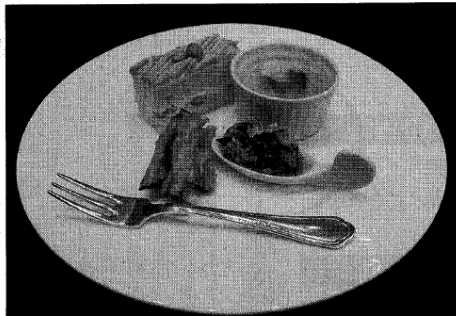
■地域が元気になる■

BISTRO下水道

in 霧島・鹿児島高专3rd

微生物が創るうま味と笑顔のストーリー

～食と下水道の連携～



「じゅんかん育ち。スイーツが振る舞われた」

「西郷どん」の精神をつないで

道課の有地裕之課長は「鶴岡市下水道資源有効利用について」下水道は

鹿児島工業高等専門学校主催のBISTRO下水道シンポジウムが今年も開催された。シンポジウムには毎年全国各地から有識者を招き、BISTRO下水道の最新知見を共有している。今回、その一部を紹介する。

鹿児島工業高等専門学校主催のBISTRO下水道シンポジウムが今年も開催された。シンポジウムには毎年全国各地から有識者を招き、BISTRO下水道の最新知見を共有している。今回、その一部を紹介する。

が参加した。司会者は鹿児島県出身の2008ミス日本「水の天使」の宮崎あずささんらがゲストとして講演等を行った。シンポジウム冒頭、鹿児島高专の丁子哲治校長が「今まで捨てていたものが資源になるといつかは地元産業に貢献できる取組になる。地域の皆さんにも応援してほしい。この地に根づく技術になつてくれれば」とあいさつ。



研究の概要を説明する学生

加藤 裕之氏

また、「水の天使」浦底さんが、自身の活動や下水道の役割、佐賀市や鶴岡市を例に全国におけるBISTRO下水道の取組を紹介した。その後、鹿児島高专の学生が登壇し、同校で取り組む下水汚泥を用いた食用きのこ栽培研究の概要を説明。同校都市環境デザイン工学科の山内正仁教授は「市民の資源を市民に還元」の生



霧島から最新知見を発信

資料名：「目的等ごとに、活動の成果がわかる資料」 つづき

2018年(平成30年)12月19日

日本下水



一般市民を含め全国各地から120人が会場を訪れた



鹿児島高専・山内教授



鶴岡市上下水道部・有地課長



東北大学・加藤特任教授



志学館大学・原口教授

鹿児島発の循環システム構築

宝の山を本場の宝に」と題し、姉妹都市として西郷どん(西郷隆盛)がつないだ薩摩と庄内の縁を紹介した後、鶴岡市・山形大学・JIA鶴岡で行う下水処理水の再利用に要、現状を解説。今後の

目標として、下水熱の有効利用や冬期間学給給を挙げた。東北大学未来科学技術

宝といえる」と講演を締めくくった。

特別講演として志学館大学の原口教授が「西郷どんがつかない薩摩と庄内」と題し、Nは大河ドラマ「西郷どん」の時

共同研究センターの加藤郷どんがつかない薩摩と庄内」と題し、Nは大河ドラマ「西郷どん」の時代表証を担当する自身の多様な経験から鹿児島・霧島の文化や歴史、西郷どんの精神などについて持論を展開した。

また、シンガポールの休憩時間には、じゅんかん育ち、食材である鶴岡市のだちや豆や鹿児島高専きのことを使ったスイーツが振舞われた。

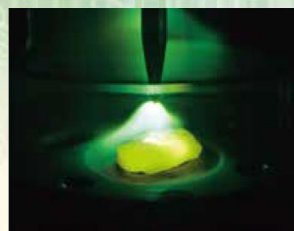
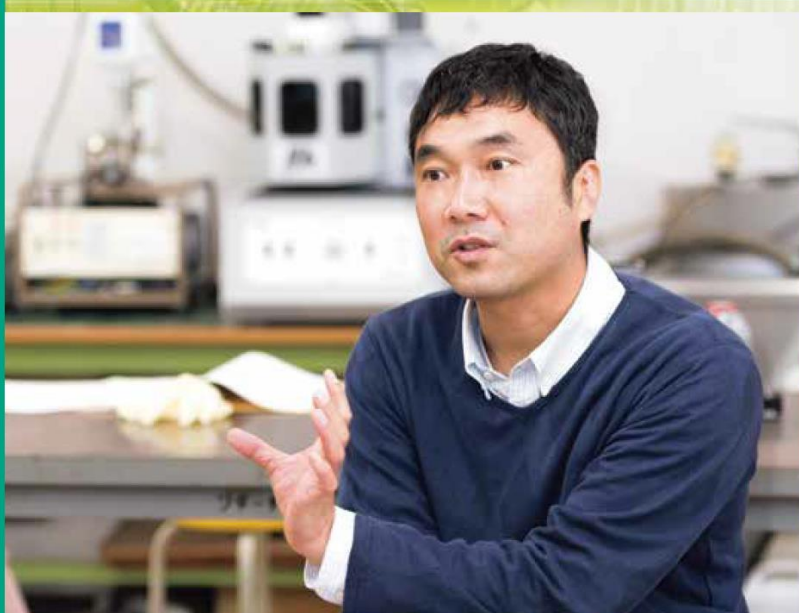


「水の天使」浦底さんが学生にスイーツの感想を質問

鹿児島高専 地域共同テクノセンター NEWS

vol.2
2017 Spring

Regional Cooperative Technocenter News



インテリジェント材料として幅広い分野で活用されている形状記憶合金。徳永さんは、その可能性をさらに広げる高温形状記憶合金をテーマに研究を進めている。大学時代から“材料”に興味を持ち、教員になって「新たな材料を創りたい!」との思いが、「目指すのは実用化しやすい高温形状記憶合金。生活や工業に役立つ材料というだけでなく、学術的にも貢献したい」と情熱を注ぐ。宇部高専に在籍していた5年ほど前から実験を始め、現在はジルコニウム+銅の合金に第3の元素(アルミニウムや亜鉛)を加えることで狙いに合った温度帯で作用する材料になるところまで進んできた。

机上であれこれ悩むより、実験しながら壁を乗り越えていくタイプ。それは教員としての指導にもリンクしている。「時には外界の刺激を与え、自分たちにいろんな可能性があると感じてもらえたら」と、自身の経験から学生に学会発表をさせることも。活気のある研究室づくりを大切にしたい指導・研究を実践中。教室以外では、社会人の先輩として自主性やモラル、マナーを伸ばす声かけを心がけている。プライベートでは釣りやマラソンなど、体を動かすのが趣味。4月からは柔道部の顧問に就任。自分自身も新たな視野を開く環境に飛び込んでいく。

(取材担当：斯文堂候)

機械工学科 博士(工学)

徳永仁夫准教授へスポットライト!

出典：鹿児島高専地域共同テクノセンターNEWS

Center latest NEWS

センター最新NEWS

1年生対象の地域企業見学会を開催

平成29年1月12日(水) キャリア教育の一環として、1年生全員が地域企業見学会に参加し、地元企業11社の見学を行いました。



キリシマ精工(株)の見学



アロン電機(株)の見学



インフラテック(株)の見学



(株)ガイアテックの見学

4年生対象の地域企業研究会を開催

平成29年1月12日(水)本校第1体育館において、平成30年3月卒業・修了予定の学生を対象とした地域企業研究会を開催しました。当日は鹿児島高専テクノクラブ会員企業36社がブースを開設し、約200名の学生が参加しました。



資料名：「改善の体制がわかる資料」 つづき

1年生を対象とした霧島市・日置市職員による地方創生特別講義を実施

平成29年2月15日(水)霧島市・日置市職員による地方創生特別講義を開催しました。この講義は、本科1年生を対象に国や両市の現状や人口減少などから派生する課題などを伝え、地方創生に対する理解と地元定着を図るために企画したものです。

日置市演題 「日置市の地方創生～人口減少時代と総合戦略～」(機械・電気電子・都市環境デザイン工学科：合併教室)

霧島市演題 「地方創生とは一国・市の現状と取り組み」(電子制御・情報工学科：大講義室)



日置市の講義



霧島市の講義

鹿児島高専テクノクラブ(KTC)会長賞を創設

平成28年度新たに、KTC会長賞を創設しました。この賞は、KTC会員企業との共同研究を含む本科の卒業研究及び専攻科の特別研究Ⅱの中から工学分野で活躍が期待される優秀な研究課題を1課題ずつ選考し、表彰するものです。2月28日、本校において審査会を開催し、KTC会長・副会長が学生のプレゼンテーションについて審査を行いました。審査の結果、卒業研究優秀賞には電子制御工学科 野口 鉦史さん 特別研究優秀賞には機械・電子システム工学専攻 宮崎 達さんの受賞が決定しました。3月17日の卒業式・修了式において、KTC会長より表彰状と楯の授与が行われました。



審査会



表彰状と楯



KTC会長賞授与

第3回KTC技術研修会を開催

平成29年3月3日(金) 本校において、第3回KTC技術研修会を開催しました。本技術研修会では九州大学大屋裕二教授による特別講演「高効率風車の研究とそのクラスタ化および産学官連携による実用化」に引き続き、KTC会員企業と高専との共同研究成果発表と高専教員による研究シーズの発表を行いました。



九州大学 土屋 裕二 教授



(株)A・R・P 神野 栄一 氏



(株)ユピテル鹿児島 古市 浩隆 氏



鹿児島高専 機械工学科 東 雄一 講師

資料名：「改善の体制がわかる資料」 つづき

2017年度(前期：4月～9月) 地域共同テクノセンター活動

4月	19日	霧島市大学等合同企業説明会（国分シビックセンター）
	25日	第1回 COC+ 事業協働機関連絡会（鹿児島大学）
5月	10日	鹿児島高専シンポジウム「IoT とドローン活用研究会発表会」（ホテル京セラ）
	16日	第1回地域共同テクノセンター運営委員会（本校）
	22日	第1回 COC + 公開講座ワーキング（鹿児島大学）
	23日	第1回 KTC 役員会、総会、技術研修会（ホテル京セラ）
	27日	保護者向け校内合同企業セミナー（本校）
6月	5日	COC + 推進フォーラム2017（鹿児島大学）
	9日	第1回「COC+ 高専」地方創生事業推進会議（本校）
	29日	KTC 会員人事担当者求人・就職説明会（本校）
7月	1日	第6回かごしま小水力発電セミナー（かごしま県民交流センター）
	5日	第2回 COC+ 公開講座ワーキング（鹿児島大学）
	10日	校内ミニ企業説明会（本校）
8月	30日	第2回 COC + 事業協働機関連絡会（鹿児島大学）
9月	1日	第2回 KTC 役員会、技術研修会（国分シビックセンター）
	未定	KTC 会員及び教職員研究施設見学会（JAXA 内之浦宇宙空間観測所）
	未定	第2回「COC+ 高専」地方創生事業推進会議（本校）
	15日	再生可能エネルギー技術セミナー（かごしま県民交流センター）

地域共同テクノセンター紹介記事

地域共同テクノセンター（Regional Cooperative Technocenter）は、鹿児島高専としてこれまでに蓄積した研究成果や技術開発の成果をもとに、鹿児島県地域の企業を対象とした共同研究や技術相談および技術教育等の産学官連携を行う拠点施設です。地域の技術力を高め、地域産業の活性化と振興を支援し、地域産業力の向上に資することを目的としています。当センターには、地域交流と共同研究を核とした2つの分野に力を注いでおり、産学官の地域連携を強化するとともに、ものづくり基盤技術の教育研究機能を高め、創造性豊かな開発型技術者の養成を図っています。総床面積は410㎡、共同実験室、試作実験室、分析・解析室が設けられています。

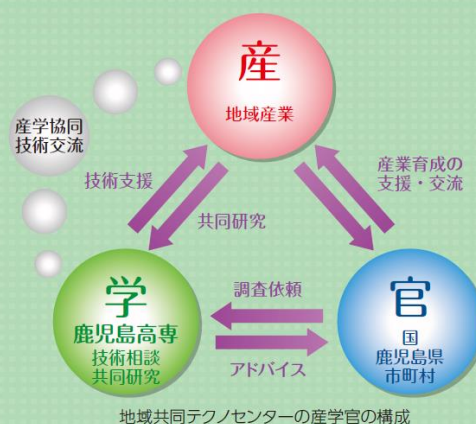
センターは、鹿児島工業高等専門学校における次の目的に利用することができます。

- (1)企業等の技術支援及び技術セミナー
- (2)企業等との共同研究・受託研究・受託試験
- (3)学内共同研究
- (4)学生の「ものづくり」教育支援
- (5)地域共同テクノセンター長が認めた業務



鹿児島高専 地域共同テクノセンター

(総務課企画室) TEL:0995-42-9038 FAX:0995-43-4271
E-mail: kikaku@kagoshima-ct.ac.jp



出典：鹿児島高専地域共同テクノセンターNEWS

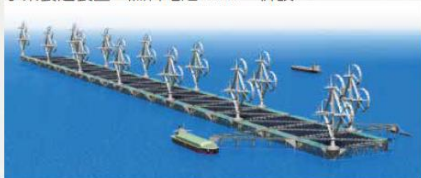
Joint research NEWS

共同研究NEWS

DATA 03 ● 博士(工学) 小田原 悟 准教授 (機械工学科)



3kWレンズ風車 可倒タワー式
耐風速42m/s 48V独立/バッテリー充電タイプ
水素製造装置 燃料電池1kW 併設



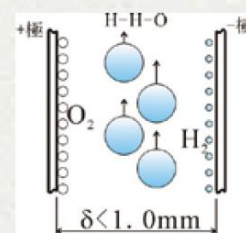
洋上浮き島式エネルギーファーム(数10MW) (海上)

レンズ風車の安全性等に関する技術開発を九州大学応用力学研究所大屋裕二教授及び汪文学准教授と共同で取り組んでいる。レンズ風車によっていかに効率よく安定した電力を得るか、あるいはブレーキシステムの安全性をどのように向上させるかに着目してきた。特に、ブレーキシステムの機構や衝撃荷重による翼への負荷の評価などの安全性の向上については本校専攻科の学生と共に取り組んだ。この研究報告として日本機械学会年次大会2016で講演発表した。

今後はマルチロータレンズ風車の構造強度や洋上に設置する際の諸問題、また電力を水素エネルギーとして貯蔵するための技術など解決すべき問題が山積している。



1MW MRS マルチロータシステム
(300kW級 x 3基)



水電解酸水素ガスHHOの発生効率向上に向けて試作機を試行錯誤しつつ製作しながら予備的実験を実施している。電極の材質や電流電圧のパルス化など回路をどのように組むかが焦点となる。

DATA 04 ● 博士(工学) 鎌田 清孝 准教授 (電子制御工学科)



オープン型磁気シールド(2009年6月 久留米大学病院)



半導体描画装置や生体磁気計測のような微弱磁気装置や計測に影響を与える低周波磁気雑音の発生源(電車の送・帰電流、自動車やエレベータの移動、火山活動)の測定及び推測ならびに低減技術(磁気シールド)について、竹中工務店、鹿児島大学、東北学院大学、岡山大学、東京電機大学および岩手大学と以前は研究をしてきました。その後、佐賀大学、竹中工務

店および岩手大学と「エレベータに起因する変動磁場を低減のためエレベータシャフト壁の遮蔽方法」や「オープン型磁気シールド技術の開発」ならびに有限要素法を用いた磁場解析を行ってきました。これらの成果は実用化(オープン型磁気シールド技術 2009年 久留米大学病院で施工)、特許(エレベータシャフト壁の遮蔽方法 2011年)及び国内の電気学会や応用磁気学会または、国際会議において発表・論文になっています。

現在は、有限要素法を用いた磁場解析を中心に新たな磁場に関する研究テーマを探索中です。

教員の研究シーズ集

鹿児島高専ホームページ ⇒ 企業の方 ⇒ シーズ集

<http://www.kagoshima-ct.ac.jp/enterprise/seeds-collection/>



資料名：「改善の体制がわかる資料」 つづき

鹿児島高専テクノクラブ会員企業紹介



宇宙が私たちの仕事場です。

事業内容

- 衛星・ロケット地上設備のシステム設計および装置設計
- 衛星・ロケット地上設備の検査および保守
- 衛星・ロケット地上設備の運用
- ソフトウェアおよびファームウェアの開発



PHOTO by JAXA



PHOTO by JAXA

飛鳥電気株式会社

本社：鹿児島県鹿児島市坂之上六丁目30番1号
 電話：099-262-2777
 府中事務所：東京都府中市日新町1-10NEC府中事業場7号館2階
 電話：042-333-8690
 問合わせ先：fucyupost@aska-ele.jp

霧島木質発電株式会社は、時空を超え未来へ継ぐ「森林の再生」を目指し
 “日本の森林を美しく”を基本理念に掲げ事業に取り組んでいます。



霧島木質発電株式会社
 霧島木質燃料株式会社

〒899-4202
 鹿児島県霧島市霧島永水4755番地4
 Tel：0995-64-8421
 Fax：0995-57-2221
<http://km-hatsuden.jimdo.com/>

お問い合わせ

独立行政法人 国立高等専門学校機構
 鹿児島工業高等専門学校
 地域共同テクノセンター

(総務課企画室) TEL:0995-42-9038 FAX:0995-43-4271
 E-mail: kikaku@kagoshima-ct.ac.jp

資料名：「改善の体制がわかる資料」

平成30年度科学研究費助成事業採択に向けての取り組みと今後の予定

総務課企画係

< 8 月 >

○科学研究費助成事業説明会(GI-net) 8/29 (火) 13:30-15:00

講師：日本学術振興会 研究事業部 研究助成第二課 課長代理 池田 勉 氏

< 9 月 >

○平成30年度科研費公募開始 9/1 (金)

○研究力向上と科研費獲得のための研究発表会及び講演会 9/4 (月) ~9/5 (火)

場所：本校 (中会議室、大講義室)

研究発表会：第5ブロック高専6名、本校5名が発表

講演会：関野先生 (大阪大学)、山口先生 中山先生 (長岡技術科学大学)

○平成30年度科研費公募要領等説明会 9/8 (金) 14:30-16:30 事務参加

場所：関西学院大学中央講堂 (文部科学省主催)

○学内 科研費公募説明会 9/22 (金)、9/28 (木)

9/8 の公募説明会説明、研究費不正、研究倫理教育、等

< 10 月 >

○10月中旬 (10/13 (金)) まで研究計画調書の第一次締め切り

科研費プロジェクト・チームのチェック、教員へ返却、各自ブラッシュアップ

○10月末までに最終版を e-Rad へアップロード完了

< 11 月 >

○11/2 (木) 最終版の研究計画調書提出

修正等があれば至急事務 (企画係) へ連絡 →適宜修正して再度 e-Rad アップロード

○最終締切前日 11/6 (月) に企画係から e-Rad により全ての研究計画調書を提出予定

○11/8 (水) 16:30 科研費応募 e-Rad 最終締切

以 上

出典：平成30年度科研費採択に向けての取組

平成 31 年度科学研究費助成事業採択に向けての取り組みと今後の予定

総務課企画係

< 9 月 >

- 平成 31 年度科研費公募開始 9/1 (土)
- 研究力向上と科研費獲得のための研究発表会及び講演会
9/10 (月) ～9/11 (火)・9/14 (金) 場所：本校 (中会議室、大講義室)
研究発表会：第 5 ブロック高専 6 名、本校 5 名が発表
講演会：高田先生 (富山高専)、荒木先生 (長岡高専)
- 平成 31 年度科研費公募要領等説明会 9/13 (木) 14:30-16:30 事務参加
場所：関西学院大学中央講堂 (文部科学省主催)
- 学内 科研費公募説明会 ビデオ配信 (9/18 頃)
内容：9/6 に東日本地区開催の公募説明会説明、研究費不正、研究倫理教育、等

< 10 月 >

- 10 月中旬 (10/15 (月)) まで研究計画調書の第一次締め切り
科研費プロジェクト・チームのチェック、教員へ返却、各自ブラッシュアップ
- 10 月末までに最終版を e-Rad へアップロード完了

< 11 月 >

- 11/2 (金) 最終版の研究計画調書提出
修正等があれば至急事務 (企画係) へ連絡 →適宜修正して再度 e-Rad アップロード
- 最終締切前々日
11/5 (月) に企画係から e-Rad により全ての研究計画調書を提出予定
- 11/7 (水) 16:30 科研費応募 e-Rad 最終締切

以 上

資料名：「改善の体制がわかる資料」

鹿児島工業高等専門学校

中堅、若手教員の研究力向上を目指した研究発表会

日 時：平成 28 年 8 月 29 日（月） 9:00～17:15

場 所：鹿児島工業高等専門学校 中会議室（管理棟 2 F）

その他：発表者が研究内容、今後の研究計画を 20 分程度プレゼン
その後専門内外の先生方との意見交換（20 分程度）を実施予定

<タイムスケジュール予定>

平成 28 年 8 月 29 日(月)

09:00～09:05	校長挨拶	
09:05～09:45	情報工学科	入江先生
09:45～10:25	情報工学科	新徳先生
10:25～10:40	休憩	
10:40～11:20	都市環境デザイン工学科	毛利先生
11:20～12:00	都市環境デザイン工学科	窪田先生
12:00～13:00	昼食	
13:00～13:40	電気電子工学科	栢先生
13:40～14:20	電気電子工学科	前菌先生
14:20～15:00	電子制御工学科	小原先生
15:00～15:15	休憩	
15:15～15:55	電子制御工学科	瀬戸山先生
15:55～16:35	機械工学科	東先生
16:35～17:15	機械工学科	渡辺先生

鹿児島工業高等専門学校

〒899-5193 鹿児島県霧島市隼人町真孝 1460-1

TEL：0995-42-9000

E-mail：kikaku@kagoshima-ct.ac.jp

出典：研究力向上のための発表会（平成 28 年度）

資料名：「改善の体制がわかる資料」 つづき

研究力向上と科研費獲得のための研究発表会スケジュール

○日時：平成29年9月4日(月) 9:00～17:00 9月5日(火) 9:00～17:00
 ○場所：鹿児島工業高等専門学校 管理棟2階 中会議室

9月4日(月)

時間	発表者氏名	所属	発表タイトル	9月4日、5日参加	GI-netにて(長岡-鹿児島)
9:00-9:05	丁子校長 挨拶				
9:05-9:55	鎌田清孝	鹿児島高専・電子制御工学科	エレベータシャフトに組み込んだシールド方法によるエレベータからの磁気雑音対策技術		宮崎先生(Ginet)
9:55-10:45	白石貴行	鹿児島高専・機械工学科	非最小位相連続時間系のアンダーシュートレス制御法とその応用	関野先生(阪大、4日のみ)	
10:45-11:00	休憩				
11:00-11:50	野尻 能弘	佐世保高専・物質工学科	層状構造セラミックスによる固体電解質の開発	関野先生(阪大、4日のみ) 小笠原先生(4日のみ)	
11:50-13:00	昼食				
13:00-13:50	坂本 武司	有明高専・創造工学科	ダイヤモンド砥石のツルーイングに関する研究	関野先生(阪大、4日のみ) 小笠原先生(4日のみ)	
13:50-14:40	逆瀬川 栄一	鹿児島高専・電気電子工学科	NPCインバータの超小型化を実現する昇圧チョッパに関する研究	芳賀先生(4日のみ)	
14:40-15:00	休憩				
15:00-16:20	科研費獲得のための講演会			関野先生(阪大、4日のみ) 山口隆司(4-5日)	
16:20-17:00	科研費申請書作成・個別指導			4-5日日程の先生	

※プレゼン(25分程度)の後、質疑応答・意見交換(25分程度)

9月5日(火)

時間	発表者氏名	所属	発表タイトル	9月4日、5日参加	GI-netにて(長岡-鹿児島)
9:00-9:50	二見 能資	熊本高専・生物化学システム工学科	赤外分光法によるハロゲン化合物の化学反応性の溶媒依存の評価法の構築	小林先生(5日のみ) 本間先生(4-5日)	
9:50-10:40	玉利 陽三	鹿児島高専・情報工学科	生体刺激方法の改善と生体情報の活用		
10:40-10:50	休憩				
10:50-11:40	田中 大輔	大分高専・電気電子工学科	ベクトルビーム励起によるセミシェル構造の多重局子型プラズモン共鳴	中山先生(5日のみ)	
11:40-12:30	野口太郎	都城高専・物質工学科 生物工学コース	ハーキンソン病に向けたハイスループットスクリーニングを可能とするモデル細胞の創製(仮)	中山先生(5日のみ)	
12:30-13:30	昼食				
13:30-14:20	滝本 隆	北九州高専・生産デザイン工学科	推力偏向型ドローンの開発		山崎渉先生(Ginet)、高橋先生(Ginet)
14:20-15:30	内田一平	鹿児島高専・都市環境デザイン工学科	居住誘導地域に対する土地利用集約の可能性とその方法論(研究計画)	市坪先生(4日-5日) 原田先生(4日-5日)	樋口先生(Ginet)
15:30-15:45	休憩				
15:45-16:15	科研費申請書作成・個別指導			適宜	
16:20-17:00	科研費獲得のための講演会			中山先生(5日のみ)	

出典：研究力向上のための発表会（平成29年度）

資料名：「改善の体制がわかる資料」 つづき

研究力向上と科研費獲得のための研究発表会スケジュール

○日時:平成30年9月10日(月) 9:00~16:35、11日(火)13:15~15:30、14日(金)15:00~16:00
 ○場所:鹿児島工業高等専門学校 管理棟2階 中会議室

発表順	時間	発表者氏名	所属	発表タイトル	主アドバイス担当(長岡技大)
	9:00-9:05	丁子校長 挨拶			
①	9:05-9:45	野口 太郎	都城高専 物質工学科	パーキンソン病関連タンパク質 α シヌクレインのアクチン結合タンパク質としての機能解明	幡本将史 准教授(鹿児島高専にて)
②	9:45-10:25	藤井 知	沖縄 情報通信システム工学科 教授	化学反応におけるダイヤモンド電極中の電子移動に対するマイクロ波促進効果の解明	田中久仁彦 准教授(G-Inet2、第3会議室)
	10:25-10:40	休 憩			
③	10:40-11:20	原 崇	鹿児島 情報工学科 講師	鹿児島県特産の食肉加工で問題となる線状異物除去のための画像処理技術の改良	湯川高志 教授(G-Inet2、第3会議室)
④	11:20-12:00	西口 廣志	佐世保 機械工学科 准教授	異相結晶金属材料による複合プラズマコーティングの耐水素侵入特性の実験的検証	大塚雄市 准教授(G-Inet2、学会出張先から)
	12:00-13:00	昼 食			
⑤	13:00-13:40	井手 輝二	鹿児島 電気電子工学科 教授	次世代無線通信システム用受信機の非線形ひずみ補償の研究	中川健治 教授(G-Inet2、第3会議室)
⑥	13:40-14:20	富澤 哲	熊本 生物化学システム工学科 講師	排水中窒素の回収を目指したナイロン合成酵素の取得(仮)	小笠原渉 教授(鹿児島高専にて)
⑦	14:20-15:00	正木 哲	有明 創造工学科 助教	地域コミュニティ醸成の場としての共同住宅における共用施設の計画課題に関する研究	市坪誠 教授(鹿児島高専にて) なお、正木先生については11日(火)14:30から樋口秀 准教授と(G-Inet2、第1会議室)でも実施します。
	15:00-15:15	休 憩			
⑧	15:15-15:55	山本 郁	久留米 材料システム工学科 教授	鋳型振動法を用いた金属材料の結晶粒微細化と結晶粒微細化機構の解明	鎌土重晴 理事・副学長(G-Inet2、第3会議室)
⑨	15:55-16:35	山田 宏	鹿児島 都市環境デザイン工学科 准教授	モウソウチク短繊維を活用した保水性ポーラスコンクリートの開発	下村匠 教授(G-Inet2、第3会議室)
11日13:15-14:15	池田 昭大	鹿児島 一般教育科(物理) 講師	宇宙災害回避のためのシューマン共鳴による電磁圏モニタリングシステムの開発	高橋弘毅 准教授(G-Inet2、第1会議室)	
11日14:30-15:30	正木 哲	有明 創造工学科 助教	地域コミュニティ醸成の場としての共同住宅における共用施設の計画課題に関する研究	樋口秀 准教授(G-Inet2、第1会議室)	
14日15:00-16:00	徳永 仁夫	鹿児島高専・機械工学科	先進金属系バイオマテリアルを目指した金属ガラスマトリックス複合材料の創成	本間智之 准教授(G-Inet2、第1会議室)	

出典：研究力向上のための発表会（平成30年度）

I 教 育 理 念

1 目 的

準学士課程は、教育基本法にのっとり、及び学校教育法に基づき、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。

専攻科は、準学士課程における教育の基礎の上に、精深な程度において工業に関する高度な専門知識及び技術を教授研究し、もって広く産業の発展に寄与する人材を育成することを目的とする。

2 教育理念

1. 幅広い人間性を培い、豊かな未来を創造しうる開発型技術者を育成する。
2. 教育内容を学術の進展に対応させるため、また、実践的技術の発展のため、必要な研究を行う。

3 教育理念を達成するための3つの目標

1. 国際性を持った教養豊かな人間を育て、個性的で創造性に富んだ開発型技術者を育成する。
2. 教育・研究活動の高度化・活性化を図る。
3. 地域との交流を推進し、教育・研究成果を地域に還元するとともに、国際交流を推進する。

出典：2019 年度学生便覧

「COC+高専」地方創生推進会議要項

平成27年12月22日
「COC+高専」地方創生推進会議
設立会議決定

(目的)

第1条 大学改革推進等補助金による、地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)「食と観光で世界を魅了する『かごしま』の地元定着促進プログラム」の鹿児島工業高等専門学校(以下「鹿児島高専」という。)に係る事業(以下「推進事業」という。)を実施するため、「COC+高専」地方創生推進会議(以下「推進会議」という。)を置く。

(業務)

第2条 推進会議は、次に掲げる業務を所掌する。

- (1) 推進事業の統括に関すること。
- (2) 推進事業の基本的方針に関すること。
- (3) 推進事業の実施に関すること。
- (4) その他推進事業の目標達成に必要なこと。

(組織)

第3条 推進会議は、次に掲げる構成員をもって組織する。

- (1) 鹿児島高専 3名
- (2) 霧島市及び日置市 各2名
- (3) 企業団体の代表 若干名
- (4) 霧島市及び日置市の商工団体 各1名
- (5) その他推進会議が必要と認めた者

2 構成員の任期は、平成32年3月31日までとする。ただし、構成員に交代が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第4条 推進会議に、会長及び副会長を置き、会長は鹿児島高専の代表委員をもって充て、副会長は、霧島市及び日置市の代表委員をもって充てる。

2 会長は、推進会議を招集し、その議長となる。

(議事)

第5条 推進会議は、構成員の3分の2以上の出席により成立し、議事は、出席者の過半数の同意により決し、可否同数の場合は議長の決するところによる。

(代理出席)

出典：「COC+高専」地方創生推進会議要項

資料名：「地域貢献活動に関する目的、基本方針、目標」 つづき

第6条 会長は、構成員が推進会議に出席できない場合は、代理の者の出席を認めることができる。

(構成員以外の出席)

第7条 推進会議が必要と認めたときは、構成員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(専門部会)

第8条 推進会議は、推進事業を円滑に実施するため、推進会議の下に、必要に応じて専門部会を置くことができる。

2 専門部会に関し必要な事項は、別に定める。

(事務)

第9条 推進会議の事務は、鹿児島高専総務課において行う。

(その他)

第10条 この要項に定めるもののほか、推進会議の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要項は、平成27年12月22日から施行する。

出典：「COC+高専」地方創生推進会議要項

資料名：「地域貢献活動に関する目的、基本方針、目標」

平成30年度 自己点検・評価報告書

大項目	評価項目
1 教育に関する事項	(1)入学者の確保
	(2)教育課程の編成等
	(3)優れた教員の確保
	(4)教育の質の向上及び改善のためのシステム
	(5)学生支援・生活支援等
	(6)教育環境の整備・活用
2 研究や社会連携に関する事項	(1)科研費と外部資金
	(2)教員の研究業績、知的財産
	(3)地域連携
	(4)鹿児島高専テクノクラブ(KTC)
3 国際交流等に関する事項	(1)海外インターンシップの推進及び海外インターンシップ生の受入
	(2)学生交流による海外派遣及び受入
	(3)海外学術交流協定校との研究者交流
	(4)英語力向上のための取組
	(5)国際交流イベント及び会議への出席
4 管理運営に関する事項	(1)校長裁量経費
	(2)業務効率化(経費節減)
	(3)研修、表彰、人事交流
	(4)法令遵守やセキュリティに係る研修実施等

鹿児島工業高等専門学校

出典：平成30年度自己点検・評価報告書評価項目

資料名：「地域貢献活動の具体的な方針」

1 教育に関する事項

評価項目	計画	平成30年度実績(実績は12月末時点) ※適宜、平成29年度までの実績を用いる	自己評価
1-(1) 入学者の確保	① ・メディアの活用について、地元新聞社との連携協力協定や、テレビ・ラジオ等を活用し、イベント開催等の情報を地域社会に向けて発信する。	①-1 ・本校開催イベント(学校説明会、一日体験入学、公開講座等)について、本校ホームページをはじめ、地元の新聞社(南日本新聞社)やテレビ局を活用し案内を行った。 ①-2 ・保護者向け校内合同企業セミナー(5月26日開催)や本校の産学官連携組織「鹿児島高専テクノクラブ」(KTC)創立20周年記念式典(9月7日開催)について南日本新聞社及び鹿児島ケーブルテレビから取材があり、記事が掲載された。金融機関の私募債制度を活用した地元企業からの物品贈呈式(7月31日)について南日本新聞社の取材を受け、記事が掲載された。 ①-3 ・本校の情報を地域に向け発信するツールの1つであるJR隼人駅の「本校掲示スペース」に校名及び校章を入れたアクリルプレートを設置した。また掲示物の破れ・汚れ防止のため、A1サイズのフレームを整備した。	A
	② ・一日体験入学、学校説明会について、内容の充実を図るとともに、積極的にPR活動を行っていく。	②-1【資料1】 ・一日体験入学には、県内外から中学生448名、保護者360名、合計808名の参加があった。 各学科2班に分かれ、各学科の体験実習や学科展示・学科説明、学校概要等の説明行い、本校の幅広い紹介を行った。 新たな取り組みとして、希望者を対象とした、学寮と図書館の施設見学会(寮生による学寮説明会)を行った。 また、個別に進学相談、部活動紹介、Robogals鹿児島のワークショップ、女子学生と女子中学生の交流会を開催した。 ②-2【資料1】、【資料2】、【資料3】 ・中学生と保護者を対象とした学校説明会を鹿児島市、霧島市、鹿屋市にて開催し(10月:4回)、中学生115名、保護者168名の参加があった。 ・中学校教員向け説明会(6月:2回)、塾講師向け説明会(6月:2回)では、中学校教員54名、塾講師24名の参加があった。 ・主に夏季休業期間中に実施していた「公開講座」を、夏季と冬季に実施することで、開講テーマの充実を図った。 ・学校紹介データ(パワーポイント、パンフレット)について、説明会等での質問事項や最新情報を盛り込むことで、中学生及び保護者がより理解しやすい構成へ改訂した。	A
	③ ・女子生徒へのPR活動について、「Robogals鹿児島」を活用し、小・中学校の女子生徒を対象としたワークショップを開催する。	③ ・各種イベントにてRobogals鹿児島による「ワークショップ」を開催し、本校女子学生と女子小・中学生との交流の機会を設けた。 一日体験入学(8月5日)では、Robogals鹿児島が女子中学生を対象として「ロボットの実演」や「操作体験学習」からなるワークショップを行った。また、高専文化祭(10月27日)、霧島市教育委員会メディア・センターまつり(11月11日)にて、「ワークショップ」を行った。	A

出典：平成30年度自己点検・評価書

資料名：「地域貢献活動の具体的な方針」

2－(3) 地域連携	① ・COC+の取り組みとして、鹿児島高専テクノクラブ(KTC)や地域企業の経営者・技術者等による特別講義を実施する。	① ・COC+の取り組みと連携し、KTC会員企業の協力を得て、6月から8月にかけて4年生5学科を対象とした企業技術者の特別講義を実施した。また、11月から12月にかけて、本科1年生5学科を対象とした企業技術者の特別講義を行った。さらに、11月から2月にかけて、3年生5学科を対象とした工場見学を実施している。(12月末現在:C科を除く4学科で実施済み)	A
	② ・本校学生及び保護者に対し、地域企業への理解を深めるための地域企業研究会やセミナーを実施する。	② ・5月26日に学生及び保護者向けの校内合同企業セミナーを、保護者懇談会に合わせ実施した。KTC企業22社、保護者82名、学生15名が参加した。 ・11月7日に本校体育館において、霧島市主催、鹿児島高専共催による大学等合同企業研究会を開催し、学生195名が参加した。(参加企業等31社) ・1月23日に本校体育館に於いて、KTC会員企業による4年生及び専攻科1年生を対象とした、平成30年度「高専生のための地域企業研究会」を開催予定である。(参加予定企業36社)	A

出典：平成30年度自己点検・評価書

資料名：「地域貢献活動の具体的な方針：公開講座」

第12章 公開講座

(公開講座)

第57条 本校に、公開講座を開設することができる。

2 公開講座に関し必要な事項は、別に定める。

出典：鹿児島工業高等専門学校学則 第12章 第57条

資料B－1－②－(1)－4

資料名：「地域貢献活動の具体的な方針：公開講座規則」

○ 鹿児島工業高等専門学校公開講座規則

(趣旨)

第1条 鹿児島工業高等専門学校学則第57条第2項の規定に基づき、この規則を定める。

(目的)

第2条 公開講座は、本校の教育・研究を広く社会に解放し、社会人の生涯教育の一助とすると共に地域社会の文化の向上に貢献することを目的とする。

(開設時期及び時間等)

第3条 公開講座は、授業に支障のない時期に開設するものとする。
2 公開講座は、本校の諸施設を使用して行う。ただし、必要がある場合は、学外で実施することができる。

(講師)

第4条 公開講座の講師は、本校の職員とし、校長が委嘱する。ただし、必要がある場合は、本校の職員以外の学識経験者を講師として委嘱することができる。

(周知)

第5条 公開講座を開設した場合は、校内外に周知するものとする。

(修了証書)

第6条 所定の3分の2以上出席した受講者には、修了証書を授与することができる。

(講習料)

第7条 公開講座の講習料は、独立行政法人国立高等専門学校機構における授業料その他の費用に関する規則に定める額とする。
2 講習料は、公開講座の受講申請を受理するときに徴収する。
3 既納の講習料は、返還しない。

(事務)

第8条 公開講座に関する事務は、学生課教務係及び当該実施学科において処理する。

附 則

この規則は、昭和58年12月14日から施行する。

附 則

この規則は、昭和59年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、昭和62年4月17日から施行し、昭和62年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、平成4年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成16年5月21日から施行する。

附 則

この規則は、平成18年4月21日から施行し、平成18年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、平成22年4月1日から施行する。

出典：鹿児島工業高等専門学校公開講座規則

資料名：「地域貢献活動の具体的な方針：自治体・その他との連携協定」

●地域との連携 Cooperation with Local Community

●自治体との包括連携協定 Cooperation Agreement (Local Government)

平成 26 年 12 月 8 日	日置市
平成 27 年 3 月 31 日	霧島市
平成 29 年 1 月 19 日	長岡技術科学大学、長島町

●その他連携協定 Cooperation Agreement (Others)

平成 19 年 6 月 27 日	鹿児島県技術士会
平成 24 年 3 月 27 日	株式会社南日本新聞社
平成 24 年 6 月 13 日	年人錦江スポーツクラブ
平成 29 年 10 月 31 日	NPO 法人年人錦江スポーツクラブ、コカコーラウエスト株式会社
平成 30 年 4 月 1 日	医療法人仁心会



出典：平成 30 年度学校要覧

資料名：「学外者の図書館利用」

○ 鹿児島工業高等専門学校図書館一般市民等利用要項

(趣旨)

第1条 この要項は、鹿児島工業高等専門学校の教育及び研究に支障のない範囲で、鹿児島工業高等専門学校図書館(以下「図書館」という。)に 所蔵する図書館資料(以下「資料」という。)を一般市民等の利用に供するため、その利用に関し必要な事項を定める。

(利用者の範囲)

第2条 一般市民等で、図書館を利用することができる者は、学術に係わる研究、調査又は学修を目的とする18歳以上の者(以下「利用者」という。)とする。

(図書館利用の範囲)

第3条 利用者の図書館利用の範囲は、図書館備付資料(以下「図書」という。)の館内利用のみとする。

2 利用者は、前項に掲げる図書を所定の場所で閲覧し又は貸出しを受けることができる。

(利用時間)

第4条 利用者が図書館を利用することができる時間は、本校が定める図書館の開館時間内とする。

(利用手続)

第5条 利用者は、図書館を利用しようとするときは、「[図書館利用願](#)」([別紙第1号様式](#))を提出するとともに、身分を証明する証書を提示の上、「[図書館利用カード](#)」([別紙第2号様式](#))の交付を受けなければならない。

2 利用者は、図書館の入館に際しては、「図書館利用カード」を図書館職員に提示しなければならない。

3 利用者は、図書の貸出しを受けるときは、「図書館利用カード」を添付して図書館職員へ申し出なければならない。

(貸出しの期間及び冊数)

第6条 貸出しの期間は2週間とし、一度に貸出しできる冊数は5冊までとする。

2 前項の規定にかかわらず、必要があるときは、貸出しの期間及び冊数について特別の扱いをすることができるものとする。

(遵守事項)

第7条 利用者は、図書館職員の指示する事項を遵守しなければならない。

(弁償義務)

第8条 利用者は、利用中の図書を亡失又は損傷した場合、又は施設設備若しくは備品等に損害を与えた場合は、弁償しなければならない。

(利用中止等)

第9条 この要項に違反し、又は係員の指示に従わない者に対しては、図書館の利用を停止又は禁止するこ

出典：鹿児島工業高等専門学校図書館一般市民等利用要項

資料名：「学外者の図書館利用」 つづき

とがある。

(規則の準用)

第10条 この要項に定めるもののほか、利用に関し必要な事項は、鹿児島工業高等専門学校図書館利用規則(昭和58年4月1日制定)を準用する。

附 則

この要項は、平成13年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成22年4月1日から施行する。

出典：鹿児島工業高等専門学校図書館一般市民等利用要項

資料名：「学外者の図書館利用」

○ 鹿児島工業高等専門学校学外者の図書館の利用要領

鹿児島工業高等専門学校図書館

平成13年 4 月 1日

鹿児島工業高等専門学校図書館利用規則第2条第1項第4号に規定する学外者の鹿児島工業高等専門学校図書館(以下「図書館」という。)の利用については、次のとおり取り扱うこととする。

1 利用者の範囲

本校以外の者で、図書館を利用することができる者は、調査研究を目的とする中学生以上の者(以下「利用者」という。)とする。

2 図書館利用の範囲

利用者の図書館利用の範囲は、本校図書館内に配置している図書等(AV資料(ビデオ・LD・DVD等)、貴重書、参考図書及び特に指定した図書は除く。)の閲覧及び貸出しのみとする。

3 利用手続

利用者は、図書館を利用しようとするときは、「[図書館利用申込書](#)」(別紙第1号様式)を提出するとともに、身分を証明する証書を提示の上、「図書館利用カード」の交付を受けなければならない。

4 利用手続

「図書館利用カード」の有効期間は、発行日から当該年度の末日までとする。

5 貸出しの期間及び冊数

貸出しの期間は2週間とし、一度に貸出しできる冊数は5冊までとする。

附 則

この要領は、平成13年4月1日から施行する。

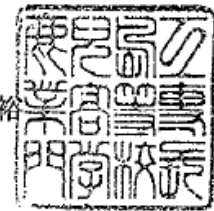
出典：鹿児島工業高等専門学校学外者の図書館の利用要領

資料名：「本校グラウンドを鹿児島県ドクターヘリの離着場として使用」

鹿高専総第 108 号
平成25年11月22日

鹿児島県保健福祉部長 殿

鹿児島工業高等専門学校長
赤坂 裕



鹿児島県ドクターヘリ（救急医療用ヘリコプター）の離着陸場使用に伴う承諾について（回答）

平成25年11月12日付け保福第493号で依頼のありましたこのことについて、別紙のとおり提出します。

出典：鹿児島県ドクターヘリの離着陸場使用承諾書

資料名：「本校グラウンドを鹿児島県ドクターヘリの離着陸場として使用」 つづき

ドクターヘリ離着陸場の土地使用承諾書

平成 25 年 11 月 22 日

鹿児島県

知事 伊藤 祐一郎 様

鹿児島県ドクターヘリ基地病院

鹿児島市立病院

院長 坪内 博仁 様

住 所 鹿児島県霧島市隼人町真孝1460番地1
氏 名 鹿児島工業高等専門学校長
連絡先 赤坂 裕
TEL 0995-42-9000



下記の場所を、鹿児島県ドクターヘリ用の離着陸場（ランデブーポイント）として使用することを承諾します。

記

- 1 施設等の名称 鹿児島工業高等専門学校
- 2 所 在 地 霧島市隼人町真孝1460番地1
- 3 使 用 期 間 承諾日から平成26年3月31日まで
午前8時30分から日没までの間
ただし、期間満了の1ヶ月前までに当方から更新しない旨の通知が無いときは、満期の翌日から起算して1か年間なお効力を有する。
以後満期の時も同様とする。
なお、土・日曜日及び祝日は、除くものとする。

出典：鹿児島県ドクターヘリの離着陸場使用承諾書

資料名：「実施状況がわかる資料：COC+事業」

講義・講演及び企業見学等の実績一覧

No	日 時	形 式	企業・講師等	対象学科等
1	2017/8/7(月) 14:10～15:10	講義・講演	(株)Misumi	電子制御工学科1年生
2	2017/8/8(火) 12:40～13:40	講義・講演	(株)南 光	機械工学科4年生
3	2017/8/8(火) 12:40～13:40	講義・講演	(株)南日本情報処理センター	情報工学科4年生
4	2017/8/9(水) 11:00～11:40	講義・講演	(株)栄電社	電気電子工学科4年生
5	2017/8/9(水) 12:40～14:00	講義・講演	(株)大 進	都市環境デザイン工学科1年生
6	2017/11/8(水) 14:40～16:10	講義・講演	(株)九州タブチ	電気電子工学科3年生
7	2017/11/15(水) 14:30～17:00	企業見学	霧島木質発電(株)	電気電子工学科3年生
8	2017/11/22(水) 14:40～16:10	講義・講演	鹿児島県サイバーセキュリティ協議会	情報工学科3年生
9	2017/12/6(水) 14:40～16:10	講義・講演	日置市役所 総務企画部企画課 JX喜入石油基地(株)(OB) 南国殖産(株)(OB)	機械工学科3年生 電気電子工学科1年生
10	2017/12/13(水) 14:45～17:00	企業見学	株式会社飯塚製作所鹿児島工場	機械工学科3年生
11	2017/12/14(木) 13:00～17:00	企業見学	日本特殊陶業(株)	電子制御工学科3年生
12	2017/12/19(火) 8:50～10:20	講義・講演	(株)キラ・コーポレーション鹿児島研究所	電子制御工学科4年生
13	2018/1/10(水) 14:40～17:00	企業見学	鎌田建設(株)	都市環境デザイン工学科3年生
14	2018/1/10(水) 14:40～16:10	講義・講演	霧島市役所 企画部企画政策課 シチズン時計鹿児島(株)(OB) (株)キラ・コーポレーション鹿児島研究所(OB)	電子制御工学科3年
15	2018/1/19(金) 13:00～14:30	講義・講演	霧島市役所 企画部企画政策課 株式会社ペルテ(OB) (株)九州タブチ(OB)	情報工学科4年
16	2018/2/14(水) 14:45～16:35	企業見学	(株)ユピテル鹿児島	情報工学科3年生
17	2018/2/14(水) 14:40～16:00	特別講義	(株)大 翔	都市環境デザイン工学科2年生
18	2018/2/16(金) 9:00～10:00	講義・講演	(株)サタコンサルタンツ(OB) (株)大進(OG)	都市環境デザイン工学科4年生
	2018/2/20(火) 11:10～12:00		日置市総務企画部企画課	
19	2018/2/21(水) 10:30～12:00	講義・講演	京セラ(株)鹿児島国分工場	機械工学科4年生
20	2018/2/22(木)	卒業研究審査会		情報工学科5年生

出典：COC+事業報告

資料名：「実施状況がわかる資料：COC+事業」 つづき

講義・講演及び工場見学等の実績

No	日 時	形 式 (講義・講演 他)	企業・講師等	対象学科等
1	2016/5/28(土) 11:30~16:00	企業説明会	KTC会員企業17社	保護者及び学生
2	2016/6/10(金) 14:00~16:00	企業見学	鹿児島アスファルト合材センター	都市環境デザイン工学科4年
3	2016/7/11(月) 13:00~17:15	企業見学	(株)南日本情報処理センター	情報工学科3年
4	2016/7/11(月) 13:30~14:30	講義・講演	(株)ソフト流通センター鹿児島支店 事業副本部長 元吉 清隆 氏	電気電子工学科4年
5	2016/7/11(月) 15:00~17:00	企業説明会	KTC会員企業8社	全学科5年及び専攻科2年
6	2016/7/13(水) 15:30~17:10	企業見学	アルバック九州(株)	電気電子工学科3年
7	2016/8/4(木) 9:20~10:20	講義・講演	(株)コムツァイト 取締役 天辰 健一 氏	情報工学科4年
8	2016/8/4(木) 14:00~15:00	企業見学	(株)トヨタ車体研究所	電子制御工学科3年
9	2016/8/4(木) 10:00~11:30	企業見学	(株)南光	機械工学科3年
10	2016/8/5(金) 12:40~14:00	講義・講演	株式会社ソーケー社鹿児島 製造部 電機設計 Gr.係長 梶原 牧人 氏	電子制御工学科4年
11	2016/8/5(金) 15:30~16:30	講義・講演	太陽ガス(株) 新エネルギー推進チーム 吉留 広太 氏	機械工学科2年
12	2016/11/18(金) 10:40~11:40	企業見学	(株)山水	機械工学科2年
13	2016/12/12(月) 14:40~15:40	講義・講演	(株)ソフト流通センター鹿児島支店 管理本部人事部長 郡山 臣宏 氏	情報工学科3年
14	2016/12/14(水) 13:10~14:10	講義・講演	キリシマ精工(株) 営業課長 西重 潤一 氏	機械工学科1年
15	2016/12/14(水) 15:20~16:25	企業見学	マイクロカット(株)	電子制御工学科2年
16	2016/12/16(金) 14:40~16:10	講義・講演	大福コンサルタント(株) 代表取締役専務 福田 真也 氏 技術部 阿久根 芳徳 氏	都市環境デザイン工学科4年
17	2017/1/11(水) 14:40~17:30	企業見学	ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)	電気電子工学科2年
18	2017/1/12(木) 8:30~17:00	企業見学	KTC会員企業11社	本科1年生
19	2017/1/12(木) 8:30~17:01	企業研究会	KTC会員企業36社	本科4年生、専攻科1年生
20	2017/1/24(水) 13:00~14:30	講義・講演	(株)キラ・コーポレーション 鹿児島研究所 設計検証グループ グループ長 松元 健太 氏	電子制御工学科4年
21	2017/1/26(金) 10:30~12:00	講義・講演	(株)IHI 技術開発部 総合開発センター 機械技術開発部 海洋グループ 部長 長屋 茂樹 氏	電気電子工学科5年
22	2017/2/15(水) 14:40~15:40	講義・講演	①日置市 総務企画部 企画課 行政経営戦略係長 小園 秀作 氏 ②霧島市 企画部 企画政策課 企画政策グループ 松永 俊宏 氏	全学科1年
23	2017/2/23(木) 9:00~17:00	卒業研究審査会		情報工学科5年

出典：COC+事業報告

資料名：「実施状況がわかる資料：COC+事業」 つづき

地域志向特別講座 実施一覧

No	日 時	特別講座 (形 式)	対象学科等	企業・講師等	場 所
1	2015/11/18(水) 12:55~14:25	講義・講演	電気情報システム工学専攻1年	(株)YPK 開発部 岩田 保 氏	鹿児島高専 共同研究・受託研究室
2	2015/11/20(金) 14:35~16:05	ゼミ形式	電気電子工学科 (楠原研究室)	(株)YPK 開発部 岩田 保 氏	鹿児島高専 テクノセンター2階
3	2015/11/26(木) 15:00~16:30	ゼミ形式	機械工学科 (椎研究室)	名古屋大学 研究員 岡村 鉄兵 氏	鹿児島高専 椎研究室
4	2015/11/27(金) 15:00~16:30	講義・講演	機械工学科5年	名古屋大学 研究員 岡村 鉄兵 氏	鹿児島高専 機械工学科5年教室
5	2015/12/8(火) 9:15~10:15	講義・講演	電気電子工学科2年	(株)A・R・P 取締役ソリューション事業本部長 長尾 孝 氏	鹿児島高専 電気電子工学科2年教室
6	2015/12/11(金) 11:00~12:00	講義・講演	電気電子工学科5年	(株)A・R・P メカトロニクスデザイン部 パワエレ技術グループプロジェクト マネージャー 石原 誠一 氏	鹿児島高専 電気電子工学科5年教室
7	2016/1/14(木) 8:35~16:05	企業見学	本科1年生(200名)	KTC会員企業10社	各KTC会員企業 (1年生地域企業見学会)
8	2016/1/14(木) 14:30~16:10	研究会	本科4年生、専攻科1年生(200名)	KTC会員企業16社	鹿児島高専 第一体育館 (高専生のための地域企業研究会)
9	2016/2/17(水) 14:30~15:30	企業見学	電子制御工学科3年	パナソニックデバイス SUNX九州(株)	パナソニックデバイス SUNX九州(株)
10	2016/2/17(水) 15:30~16:30	講義・講演	機械工学科3年	(株)YPK 今重 善宏 氏	鹿児島高専 機械工学科3年教室
11	2016/2/17(水) 15:00~16:00	企業見学	電気電子工学科2・3年	霧島木質発電(株)	霧島木質発電(株)
12	2016/2/18(木) 12:55~14:25	講義・講演	電気電子工学科3年	霧島木質発電(株) 益山 弘人 氏、柿元 学 氏	鹿児島高専 電気電子工学科3年教室
13	2016/2/18(木) 12:55~14:25	講義・講演	情報工学科3年	(株)ベルテ 代表取締役社長 石塚 安弘 氏	鹿児島高専 情報工学科3年教室
14	2016/2/18(木) 14:35~16:05	講義・講演	情報工学科2年	(株)ベルテ フェニックスセンター グループリーダー 碓山 晋吾 氏	鹿児島高専 情報工学科2年教室
15	2016/2/18(木) 12:55~14:25	講義・講演	電子制御工学科4年	(株)キラ・コーポレーション鹿児島研究所 グループ長 松元 健太 氏	鹿児島高専 電子制御工学科4年教室
16	2016/2/24(水) 12:55~16:05	企業見学	都市環境デザイン工学科2年	鎌田建設(株) (株)ガイアテック	しらさぎ橋(霧島市隼人町) みゆき生コン工場(霧島市国分)
17	2016/2/25(木) 9:00~16:30	研究会	情報工学科5年		始良市文化会館「加音ホール」 (卒業研究発表会)

出典：COC+事業報告

National Institute of Technology, Kagoshima College

国立鹿児島高専



一日体験入学

平成30年8月5日(日)

見て！聞いて！体験して！
進路を考えてみましょう！

楽しい先輩の指導で高専の実験実習を一部体験していただきます！

対象は中学2・3年生となります。

詳しいご案内、申込用紙等は6月中旬頃に各中学校へ配布予定です。

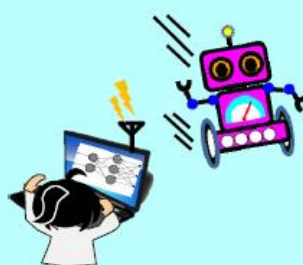
★本年度から、本校ホームページにて中学校単位でのWeb申込みが可能となります！



体験入学では他にも・・・

- ★校内の自由見学（各学科の展示物も有）
- ★進学相談
- ★保護者及び引率者対象の学校説明会
- ★寮で食事！（一人300円、事前申込みが必要です）
- ★部活動見学／体験
- ★女子中学生のための茶話会
- ★ロボギャルズワークショップ

など、計画しております！



日程(予定)	7:50～	8:30～8:50	8:50～	9:20～	12:30～	13:30～	14:00～
	隼人駅 迎え (7:50～随時)	受付	日程説明	実験実習等 学科説明 学科展示・見学 全体説明	昼食 隼人駅 送り (12:30～随時)	<希望者> 学科説明	<希望者> 進学相談 自由見学 部活動見学/体験

お問い合わせ



独立行政法人 国立高等専門学校機構

鹿児島工業高等専門学校 学生課 教務係

☎:0995-42-9014 FAX:0995-43-2584 E-mail:kouhou@kagoshima-ct.ac.jp

資料名：「実施状況がわかる資料：公開講座」

鹿児島高専 公開講座

平成30年度

資料 2

7/28
&
8/20

ロボット制御を体験しよう

～レゴブロックで作ったロボットのプログラミング体験～

レゴブロックで作ったロボットを制御するためのプログラムづくりを体験します。自分の思い通りに動かすプログラムをパソコンでつくってみましょう。

①7/28(土)

★定員：6名
★時間：9:00～12:00
★対象：小学5年生～中学生
★会場：鹿児島高専
★締切：7/19(木)

②8/20(月)

★定員：6名
★時間：9:00～12:00
★対象：小学5年生～中学生
★会場：鹿児島高専
★締切：8/8(水)

霧島市教育委員会後援

8/4
(土)

ミクロの世界をのぞこう！！

～さわれる？！見えない世界～

★定員：6名
★時間：10:00～13:00
★対象：小学4年生～中学生
★会場：鹿児島高専
★締切：7/24(火)

霧島市教育委員会後援

普段触れることのない電子顕微鏡でミクロの世界をのぞいたり、観察した対象物を3Dプリンタで立体的な作成を通して、科学技術分野に対する興味やもの作りの楽しさを体験しましょう。

8/20
(月)

プログラミングに挑戦！

★定員：5名
★時間：9:30～12:00
★対象：中学生
★会場：鹿児島高専
★締切：8/8(水)

プログラミングに挑戦！初めての方でも大丈夫。ブロックを並べるビジュアルプログラミングでロボットを動かそう。動かし方はあなた次第！

8/25
(土)

リモコン戦車(バトルタイタン)を組み立てて電子制御を知ろう

★定員：8名 ★時間：9:00～12:00
★対象：小学4年生～中学生
★会場：鹿児島高専
★締切：7/19(木)
★材料費：4,104円

*受講決定後に、材料を事前購入しますので、キャンセル及び欠席の場合でも、材料費・送料がかかります。

霧島市教育委員会後援

対戦型戦車「バトルタイタン」を製作して、もの作りの楽しさや電子制御に触れよう。兄弟で参加すると、自宅でもバトルタイタンで遊べるぞ。

8/20
(月)

電気電子ビルダース

～金属探知機を作っちゃおう！～

★定員：10名
★時間：13:30～16:00
★対象：小学4年生～中学生
★会場：鹿児島高専
★締切：8/6(月)

霧島市教育委員会後援

マイコンを使って金属を感じる「金属探知機」を作ってみよう。どうやって金属を感じるのか、どうやってLEDを光らすのか、電気電子の不思議を楽しみましょう！

8/27
(月)

振動と音の実験をしてみよう！

★定員：8名
★時間：13:00～16:00
★対象：小学5年生～中学生
★会場：鹿児島高専
★締切：8/16(木)

霧島市教育委員会後援

振動の世界を体験しよう。キッツキおもちゃの動きを調べよう。また、ワイングラスの鳴き現象について考え、機械の振動現象の基本的理論に触れてみましょう。

8/28
(火)

電気電子ビルダース

～メロディ付き デジタル時計を作っちゃおう！～

★定員：10名
★時間：13:30～16:00
★対象：小学4年生～中学生
★会場：鹿児島高専
★締切：8/6(月)

霧島市教育委員会後援

マイコンを使ってメロディ付きの小型のデジタル時計を作ってみよう。どうやって数字を表示するのか、どうやって音を鳴らすのか、電気電子の不思議を楽しみましょう！

8/29
(水)

電気電子ビルダース

～電子楽器を作っちゃおう！～

★定員：10名
★時間：13:30～16:00
★対象：小学4年生～中学生
★会場：鹿児島高専
★締切：8/6(月)

霧島市教育委員会後援

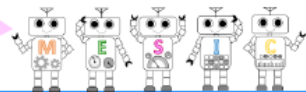
距離センサとマイコンを使って、手の動きで音程が変わる楽器を作ろう。手の動きで電気信号がどのように変わるのか、電気電子の不思議を楽しみましょう！



今年度より、Web申込みが可能ですよ！

本校ホームページにアクセスしていただき、WEB上でお申込みください。FAX・メールでも受け付けをいたしますが、電話での受け付けは行いません。

申込者多数の場合は、抽選になります！



独立行政法人 国立高等専門学校機構

鹿児島工業高等専門学校 学生課 教務係

〒899-5193 霧島5年人町 真幸1460-1

TEL:0995-42-9014

FAX:0995-43-2584

e-mail:kouhou@kagoshima-ct.ac.jp



出典：公開講座ポスター

資料名：「実施状況がわかる資料：高専チャレンジ 冬の公開講座」

高専チャレンジ

平成30年度

冬の公開講座

機械工学科

ガラスを削ってオリジナルコップを作ろう

★定員：10名
★対象：小学5年生以上
★会場：実習工場 他
★参加費：250円

○内容
コップの表面に小さな砂を吹きつけることでガラスを削り絵柄や文字を刻むことができます。透明なコップに好きなデザインや文字を刻んで、世界に1つしかない自分だけのコップを作ってみよう！

電気電子工学科

電子工作！光る・鳴るピンポン雪だるま

★定員：8名
★対象：小学5年生以上
★会場：専攻科棟 共用教室
★参加費：50円

○内容
メロディIC・スピーカー、LEDとピンポン球で作った雪だるまをボード上に構成します。製作した回路に乾電池を接続して、動作を確認しよう！製作物は各自持ち帰ることができます。

機械工学科

ペットボトルロケットを飛ばそう

★定員：10名
★対象：小学5年生以上
★会場：熱機関実験室
★参加費：350円

○内容
ロケットが宇宙に飛び上がる基礎原理を身近にある「ペットボトル」、「水」それと「空気入れ」で再現します。ロケット打ち上げ場を二つも持つ鹿児島県で自作のロケットを打ち上げてみよう！

都市環境デザイン工学科

スゴいぞ！コンクリート！

★定員：10名
★対象：小学校5年生以上
★会場：材料実験室
★参加費：50円

○内容
ビル、トンネル、橋など、色々な構造物に使われているコンクリートを体験する講座です。実際にコンクリートを作って、固まったものの強さを競います。コンクリートはお好み焼きの生地を作るように、水、セメント、砂などを混ぜて作ります。その他にも鉄筋の引張強さ試験の見学を予定しています。

電子制御工学科

電子ゴマを作ろう

★定員：20名
★対象：小学5年生以上
★会場：電子制御工学科棟 2F
★参加費：500円

○内容
遠心力を電源のスイッチに利用したゴマの電子キットです。ゴマを回すとその遠心力により電源スイッチが入り、4色の発光ダイオードが点灯同時にメロディICの音が流れます。ゴマが安定して回っている間中、美しい光の輪とメロディを楽しめます。初心者の方にも簡単に作れます。作った電子ゴマは持ち帰ることが出来ます。

都市環境デザイン工学科

トラス橋を作ろう！

★定員：20名
★対象：小学校5年生以上
★会場：都市環境デザイン 演習室
★参加費：50円

○内容
2～3人で協力してトラスの橋を作ります。トラスとは三角形を基本とした構造形式で、私達の身の回りにもたくさん見ることができます。材料は竹ひごで、グルーガンを使って接着します。グルーガンを使ったことがなくてもすぐに使えるようになります。橋が完成したら加力実験を行って強度を競います。

今年度より、Web申込みが可能です！
 本校ホームページにアクセスしていただき、WEB上でお申込みください。
 なお、FAX・メールでも受け付けをいたしますが、電話での受け付けは行いません。

申込者多数の場合は、抽選になります！

独立行政法人 国立高等専門学校機構

鹿児島工業高等専門学校 学生課 教務係

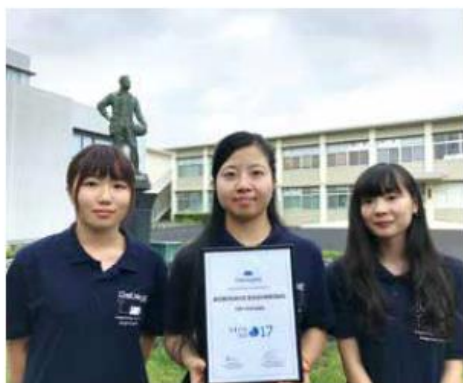
〒899-5193 鹿児島市隼人町真孝1460-1

TEL:0995-42-9014 FAX:0995-43-2584 E-mail:kouhou@kagoshima-ct.ac.jp

出典：冬の公開講座ポスター

●女子学生の活躍 Special Activity by Female Students

Robogals Kagoshima: Inspiring younger generations



Robogals (ロボギャルズ) は、工学分野に興味を持つ女子を育てることを目的に 2008 年にオーストラリア・メルボルン大学の学生が設立した国際的ボランティア団体です。オーストラリアの Robogals Global を本部に、ヨーロッパ、アフリカ、北米、アジア太平洋地域など世界中に 30 を超える支部があります。日本では、東京工業大学大学院に最初の支部が設立され、鹿児島工業高等専門学校では、約一年の準備期間を経て、2017 年 5 月に、メルボルン大学の Robogals Global 本部の承認を得て、日本で三番目の支部として Robogals Kagoshima が設立されました。

現在、技術者を目指す理系女子を増やすために、小中学生を対象としたワークショップを実施しており、鹿児島県内の様々なイベントへの参加依頼を受けています。

2017 年 9 月には、Robogals Kagoshima の代表として 3 名の学生が、オーストラリア・シドニーの University of New South Wales にて開催された Robogals の世界会議 (Robogals SINE 2017) に出席し、オーストラリア各地の大学から集まった Robogals メンバーと交流しました。Robogals Kagoshima は、新支部設立からこれまでの活動に関する報告を行い、見事ポスター・プレゼンテーションの努力賞を受賞しました。また、2018 年 1 月にはハワイ大学での研修に参加しました。

2018 年の活動としては、夢をかなえるために、最先端のロボット技術の研修、ロボット・コンテストへの参加、グローバルな活動、小中学生を対象としたワークショップの実施、高専女子学生のキャリア形成、Robogals の活動を他高専へ拡大します。



Robogals is a student-run international volunteer organization which was established by the University of Melbourne in 2008 for the purpose of increasing the number of female students in the STEM fields. Robogals Global has its headquarters in Australia and more than 30 chapters all over the world in places such as Europe, Africa, North America and Asia Pacific. In Japan, Tokyo Institute of Technology established the first chapter and Robogals Kagoshima by National Institute of Technology, Kagoshima College was accepted as the third chapter by Robogals Global after one-year of preparation.

Robogals Kagoshima has been holding workshops for elementary and junior high school students to increase the number of female engineers. They have been invited to a variety of local events in Kagoshima.

The three representatives of Robogals Kagoshima attended Robogals SINE at the University of New South Wales in Sydney in Australia in September 2017. They met other members from universities all over Australia. They made a presentation on Robogals Kagoshima and won 'UP! award.' Robogals Kagoshima also attended a seminar at the University of Hawaii.

In 2018, in order to make dreams come true, Robogals Kagoshima will learn about the latest robotics, participate in a robot contest, work in a global context, hold workshops for elementary and junior high school students, keep learning to further our own careers, and develop Robogals in other colleges of technology.



資料名：「実施状況がわかる資料：パワーアップ研修」

様式1

平成30年度パワーアップ研修（10年経験者研修）開設講座調査

所 属 名 鹿児島工業高等専門学校

講 座 名	情報処理（ExcelとAccess）			定員	（3）人 ～ （10）人	
対象校種等 ※該当する校種等に○印を付ける。	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	養護教諭	栄養教諭
研修会場	鹿児島工業高等専門学校			講師名	宮田千加良	
受付会場	鹿児島工業高等専門学校					
講 座 の 概 要	Excel の関数やマクロの活用技術と Access の簡単な活用技術の紹介 Excelには数多くの便利な関数やマクロが備わっており、成績処理をはじめとして種々の集計や解析に多用されています。本講座では、ワークシート関数とマクロとを取り混ぜて、効率よく集計や解析を行う手法を紹介します。また、Accessのテーブルとクエリを用いた処理についても紹介します。					
月 日	時 間（分）	講 座 内 容			形式	講師
8 月 1 日 (水)	8:45～8:55 (10)	受付			講 義 及 び 演 習 質 疑	宮 田 宮 田 宮 田 宮 田 宮 田
	8:55～9:00 (05)	日程説明				
	9:00～10:30 (60)	Excelの基本操作の説明				
	10:45～12:00 (75)	ワークシート関数の用法				
	12:00～13:00 (60)	昼食				
	13:00～14:30 (90)	簡単なマクロの操作方法				
	14:45～15:50(65)	Accessの簡単な操作方法				
月 日 ()						
月 日 ()						
駐 車 場	高専学内に有り。					
昼 食	学生食堂利用可能。					
持 参 物 等	作成したファイルを持ちかえりたい方はUSBメモリをご持参ください					
備 考						

出典：平成30年度パワーアップ研修開設講座調査

資料名：「実施状況がわかる資料：ニューライフカレッジ霧島」

志学館大学・鹿児島工業高等専門学校・霧島市教育委員会 連携講座 2019年度ニューライフカレッジ霧島



お申し込み・お問い合わせ

受講料 **2,500円(年額)**志学館大学 生涯学習センター(総務課) 〒890-8504 鹿児島市紫原1丁目59-1
TEL:099-812-8501(代) FAX:099-257-0308 Email: life@shigakukan.ac.jp定員 **70名(先着順)**鹿児島工業高等専門学校 総務課企画係 〒899-5193 霧島市隼人町真孝1460-1
TEL:0995-42-9038 FAX:0995-43-4271 Email: kikaku@kagoshima-ct.ac.jp申込開始日 **4月22日(月)**霧島市教育委員会 社会教育課 〒899-4349 霧島市国分中央三丁目45番1号
TEL:0995-64-0708 FAX:0995-64-0731 Email: gakusyu@city-kirishima.jp

1年間の連続講座(全10回)です。どなたでも受講できます。

第1回	5月18日 ^土 9:30~12:00	開講式 地域遺産・世界遺産・未来遺産と地域力 志学館大学 教授 原口 泉 氏	国分公民館
第2回	6月8日 ^土 9:30~11:30	FM が拓く地域力の可能性 FM きりしま 事務局長 鳥丸 恵介 氏/パーソナリティ 金野 彰子 氏	国分公民館
第3回	7月20日 ^土 10:00~16:30	学校と地域文化の共生・交流・連携 ~隼人学の20年に寄せて~ 霧島市立小野小学校 校長 祖母仁田 政明 氏 講座終了後、志学館大学にて基調講演・シンポジウム・祝賀会へ参加を予定	志学館大学 (鹿児島市)
第4回	8月10日 ^土 9:30~11:30	ジオパークと地域の暮らし NPO 法人桜島ミュージアム 理事長 福島 大輔 氏	国分公民館
第5回	9月14日 ^土 9:30~11:30	くらしを豊かにする竹の有効活用 鹿児島県工業技術センター 主任研究員 小幡 透 氏	国分公民館
第6回	10月12日 ^土 9:30~11:30	データを活用した身近な情報技術 ~これまでとこれから~ 鹿児島高専 講師 古川 翔大 氏	鹿児島高専
第7回	11月9日 ^土 9:30~11:30	未来の君へ ~語り継ぎたい平和への想い~ 陵南中学校 平和学習講師 山下 勝義 氏	溝辺公民館 (みそめ館)
第8回	12月14日 ^土 9:30~11:30	少子高齢社会と AI ~心理学の立場から~ 志学館大学 教授 飯干 紀代子 氏	鹿児島高専
第9回	1月11日 ^土 9:30~11:30	地域の未来と情報通信技術 志学館大学 准教授 大野 隆士 氏	鹿児島高専
第10回	2月8日 ^土 9:30~12:00	地域の未来づくりが世界を変える ~国連 SDGs を手がかりに~ コーディネーター 志学館大学 教授 岩橋 恵子 氏 他 閉講式	鹿児島高専

主催 志学館大学生涯学習センター・鹿児島工業高等専門学校・霧島市教育委員会

出典：2019年度ニューライフカレッジ霧島案内

プログラム講座紹介



▶平成30年度 プログラム講座紹介

プログラム講座は、会員を対象として週単位で、年間を通じて定期的の開講している講座です。隼人地区内外の各種競技団体及びスポーツ推進委員、鹿児島高専の教職員・学生が指導者（指導補助者）として協力しています。

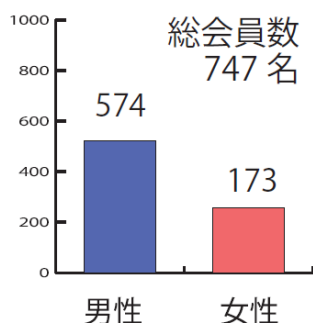
●一般の部

開講種目	対象者	開講	曜日	時間帯	会場	講師名	参加費
ゴルフ	希望者	週3回程度	月～日	9:00～12:00	高専ゴルフ練習場	享保 健一郎	500
	レッスンプロ指導日	週1回	火曜日	10:00～12:00		服部 寿夫	
グラウンドゴルフ	希望者	週3回程度	月～金	8:30～10:30	高専グラウンド	政 季 徳 角屋敷 俊一	500
ソフトテニス	一般	週1回	水曜日	10:00～12:00	隼人庭球場	福永 賢治	500
卓球	一般	週1回	火曜日	10:00～12:00	隼人体育館	隼人町卓球連盟 今吉 博行 坂口 義人	500
太極拳	一般	月2回	第1・3木曜日	14:00～16:00	隼人武道場	原田 清美	500
テニス	一般	週1回	木曜日	9:30～11:30	隼人庭球場	渡邊 洋平	500

●ジュニアの部

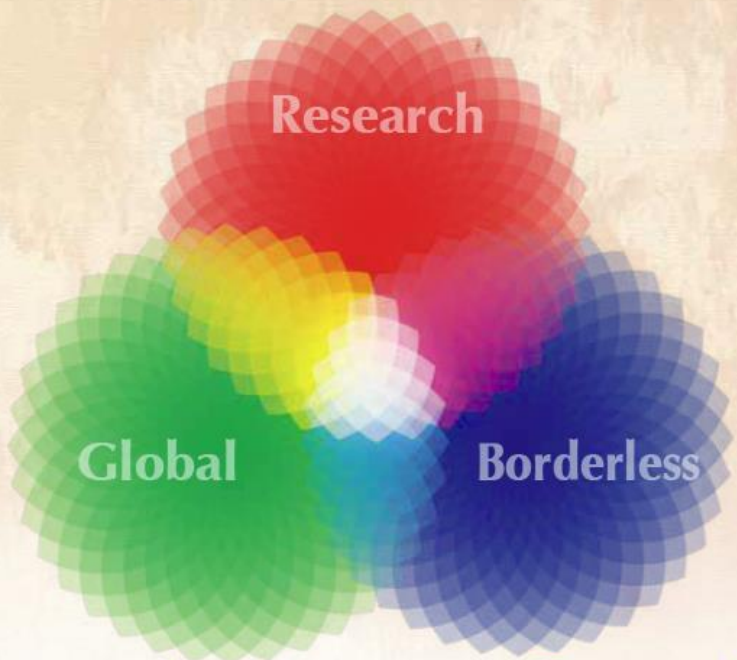
開講種目	対象者	開講	曜日	時間帯	会場	講師名	参加費
ジュニアサッカー	小・中(男女)	週1回	日曜日	8:00～10:00	高専グラウンド(天然芝)	隼人町 サッカー協会	300
リンドーゼ霧島 (なでしこサッカー)	小・中(女子)	週1回	木曜日	19:00～20:30	隼人運動場	北 蘭 裕一	500
Jr.バドミントン (経験者)	小・中学生 (12名限定)	週2回	火曜日 土曜日	19:00～21:00 15:00～17:00	高専第一体育館	GW鹿児島BC 堂 園	1500
Jr.バドミントン (初心者)	小・中学生 (12名限定)	週1回	水曜日	19:00～21:00			
陸上	小・中学生	週1回	土曜日	9:00～11:00	高専グラウンド	柳 詒 豪	300
卓球	小・中・高	週1回	木曜日	17:30～19:30	隼人体育館	隼人町卓球連盟 川野 俊男	300
ハンドボール	小・中・高	週1回	土曜日	9:00～11:00	隼人体育館	霧島市 ハンドボール協会 永田 和孝	600

▶会員データ（平成30年3月31日）



出典：隼人錦江スポーツクラブプログラム紹介

資料名：「実施状況がわかる資料：RGB かごしま」



Research
Global **Borderless**

International Forum on **R**esearch, **G**lobal and **B**orderless Activities in Kagoshima

～RGB かごしま 1st.～

2nd ISEED ~ 2nd International Symposium on Expertise for Engineering Design ~

2017年
5月9日(火) 12:00 受付開始
13:00 開会 | **10日(水)** | **11日(木)** 11:30 閉会

会場 鹿児島工業高等専門学校・ホテル京セラ・霧島市民会館

Research
(Red)

Global
(Green)

Borderless
(Blue)

縮小する日本の未来を明るく照らし、暖かく包み込む光の素を目指して

基調講演1 国立高等専門学校機構理事 **大島 まり** 氏 (日本機械学会会長 東京大学教授)

パネルディスカッション **「グローバルと様々な共棲～縮小ニッポンを見据えて～」**
 パネリスト | 大島理事・鹿児島県知事・霧島市長・日置市長・鹿児島高校長・KTC会長 他

◎Robogals Kagoshima 発足セレモニー
◎BISTRO下水道 in 鹿児島高専 2nd

◎ロボット楽団 オルディオン Full Band Concert
◎IoTとドローン活用技術研究会発表

主催：独立行政法人 国立高等専門学校機構 鹿児島工業高等専門学校

共催：鹿児島高専テクノクラブ(KTC)

後援：鹿児島県・霧島市・日置市・奄美市・鹿児島県国際交流協会・霧島市教育委員会
南日本新聞社・NHK鹿児島放送局・鹿児島新テレビ・南日本放送・鹿児島テレビ・鹿児島放送

お問い合わせ

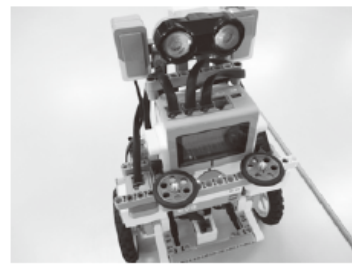
独立行政法人 国立高等専門学校機構
鹿児島工業高等専門学校
 〒899-5193 鹿児島県霧島市隼人町真孝1460番1
 TEL.0995-42-9000

出典：RGB かごしまパンフレット

資料名：「実施状況がわかる資料：RGB かごしま」 つづき

～RGBかごしま 1st.～ タイムテーブル

5月9日(火)	
ホテル京セラ	
12:00	開場
12:45	ウェルカムコンサート 鹿児島高专音楽部
13:00	開会宣言 鹿児島高专副校長
13:02	歓迎スピーチ 鹿児島高专校長
13:20	基調講演 1 大島理事
14:00	基調講演 2 海外招聘ゲスト
14:40	休憩
15:00	パネルディスカッション 鹿児島県知事・近隣自治体首長等
17:00	休憩
17:30	歓迎レセプション ◎Robogals Kagoshima 発足セレモニー ◎オルフェウス・ハーブアンサンブルによる演奏 ◎奄美の島唄
19:30	閉会
常設 展示 企画	鹿児島高专専攻科生ポスター発表 鳥獣対策用ドローン展示と空撮かごしま きりしまイマスタースタジオ マッチングプランナー相談ブース



5月10日(水)			
	ホテル京セラ	鹿児島市民会館	鹿児島高专
9:00	2nd ISEED 開会挨拶		
9:15	基調講演		大島理事講演 ◎ Gender Equality 本科1～5年学生対象
10:00	研究発表		
12:00	休憩		
13:30	【本館地下2階】 13:10～ ◎2ndISEED ◎ピストロ下水道 in 鹿児島高专2nd	◎Robogals Kagoshima ワーク ショップ (集会所) 14:00～16:00 小中学生5～6名毎に 指導学生1名総員40名程度	◎ロボット楽団オルディオン Full Band Concert ◎Robogals Kagoshima と オルディオンによるコラボレーション ①13:00～ ②15:00～ (大ホール)
15:00	【新館2階】 13:00～ ◎IoTとドローン 技術活用研究発表		
17:00	閉会		
常設 展示 企画	鹿児島高专専攻科生ポスター発表 鳥獣対策用ドローン展示と空撮かごしま きりしまイマスタースタジオ マッチングプランナー相談ブース	鹿児島高专進学相談ブース	

5月11日(木)	
ホテル京セラ	
9:00	2nd ISEED 総括講演
9:45	グローバル関連講演
10:30	休憩
10:45	男女共同参画・持続可能性関連講演
11:30	開会挨拶 鹿児島高专校長
常設 展示 企画	鹿児島高专専攻科生ポスター発表 鳥獣対策用ドローン展示と空撮かごしま きりしまイマスタースタジオ マッチングプランナー相談ブース

出典：RGB かごしまパンフレット

資料名：「活動の成果がわかる資料：COC+活動」

講義・講演・工場見学等実施報告書

大学改革推進事業（COC+）

食と観光で世界を魅了する「かごしま」の地元定着促進プログラム		
実施日時	平成 29年 8月 7日（月） 14:20分 ～15:30分	
実施場所	鹿児島高専 大講義室	
実施形態	① <u>講義・講演</u> ②ゼミ形式 ③工場・現場見学 ④現地実習	
対象学生	電子制御工学科 1年 42名	
担 当 者	鹿児島高専	企業・団体等
	電子制御工学科 教授 宮田 千加良	所属：株式会社M i s u m i 役職：人事課 氏名：筈山智広様 役職：ミスミガス北鹿児島店 氏名：米盛様 役職：情報システム部 氏名：木場様
実施内容	最初に人事課の筈山様が自分の趣味が自動車であることから話をはじめ、会社として欲しい人材は、○自分で考えて行動できる人、○コミュニケーション能力のある人、○問題発見力・解釈力のある人（答えは一つではない時代）であり、採用畑の自分が大切にしていることは、「一緒に働きたいと思えるかどうか」であること、を紹介された。また、欲しい人材は一生懸命頑張った経験のある人、勉強してきた人（社会人になっても勉強は続く）で、コミュニケーションも大事、逆に欲しくない人材は、努力が嫌いな人、協調性がない人、指示待ちな人であり、会社ではなく「仕事人が人を育てる」ことを話された。最後に内定はゴールではなくスタートであり、希望の会社、希望の職種につけるとは限らないので、会社を知る意味でもインターンシップを活用して欲しいと話された。 次に本科卒業生（平成26年3月卒）米盛君から現在の業務の説明がなされた。学生の頃から営業に興味があり、現在はLPガスの営業・保守管理など行っておりその業務内容に関する説明と、地元で働く利点として、今までの色々な人とのつながりが活用でき、楽しいと話された。さらに本科卒業生（平成25年3月卒）木場君から業務の紹介があった。情報システム部でオラクルやSQL等を使ってソフトウェアを開発しており、楽しいと紹介された。学生時代はソフトは苦手であったが、自分でも十分エキスパートになれる。ITの時代Programは重要、知っているとは重宝される。また5年で卒業できなくてもネガティブにならなくてもよい、等アドバイスがあった。 説明の後、「生きがい」についてなど質問も出された。企業が欲する人材や卒業生の話等、参考になる話も多く、興味を持って真剣に聞いてくれた。	

出典：鹿児島高専 COC+事業報告

資料名：「活動の成果がわかる資料：広報活動」

平成30年度

資料 1

広報活動

		校数
○中学校へ出向いての高校説明会	県内	81 校
	県外	0 校
	小計	81 校
○中学校個別訪問(10～12月)	県内	41 校
	県外	0 校
	小計	41 校
○一日体験入学PR訪問(6～7月)	県内	72 校
	県外	0 校
	小計	72 校
合計		194 校

◆中学校教員向け進学説明会

会 場	日程	回数	中学生	保護者	教員	その他	計
本校会場	6/28(木)	1			27		27
鹿児島市(かごしま県民交流センター)	6/29(金)	1			27		27
	合計	2	0	0	54	0	54

◆塾・予備校関係者向学校説明会

会 場	日程	回数	中学生	保護者	教員	その他	計
本校会場	6/28(木)	1			15		15
鹿児島市(かごしま県民交流センター)	6/29(金)	1			9		9
	合計	2	0	0	24	0	24

◆中学生及び保護者のための学校説明会

会 場	日程	回数	中学生	保護者等	教員		計
・鹿児島市(宝山ホール)	10/6(土)	2	26	35			61
・鹿屋市(リナシティかのや)	10/13(土)	1	6	10			16
・本校会場①	10/7(日)	1	33	53			86
・本校会場②	10/14(日)	1	50	70			120
	合計	5	115	168	0	0	283

◆一日体験入学

会 場	日程	回数	中学生	保護者	教員	その他	計
本校会場	8/5(日)	1	448	360			808

出典：平成30年度自己点検・評価書

資料名：「活動の成果がわかる資料：広報活動」 つづき

平成29年度

広報活動

		校数
○中学校へ出向いての高校説明会	県内	81 校
	県外	0 校
	小計	81 校
○中学校個別訪問(10～12月)	県内	25 校
	県外	0 校
	小計	25 校
○一日体験入学PR訪問(6～7月)	県内	61 校
	県外	0 校
	小計	61 校
合計		167 校

*本年度は高校説明会へ出席した中学校へのPR訪問は行わなかった。

◆中学校教員向け進学説明会

会 場	日程	回数	中学生	保護者	教員	その他	計
本校会場	6月29日	1			26		26
鹿児島市(かごしま県民交流センター)	6月30日	1			31		31
	合計	2	0	0	57	0	57

*学外

◆塾・予備校関係者向学校説明会

会 場	日程	回数	中学生	保護者	教員	その他	計
本校会場	6月29日	1			16		16
鹿児島市(かごしま県民交流センター)	6月30日	1			9		9
	合計	2	0	0	25	0	25

*学外

◆中学生及び保護者のための学校説明会

会 場	日程	回数	中学生	保護者等	教員	その他	計
・鹿児島市(宝山ホール)	10月7日	2	28	42			70
・鹿屋市(リナシティかのや)	10月14日	1	5	10			15
・本校会場①	10月8日	1	64	80			144
・本校会場②	10月15日	1	30	42			72
	合計	5	127	174	0	0	301

*学外

*学外

◆一日体験入学

会 場	日程	回数	中学生	保護者	教員	その他	計
本校会場	10月8日	1	247	155			402

*8/6開催予定の体験入学が台風接近に伴い中止となり、あらためて10/8に実施した。

出典：平成30年度自己点検・評価書

資料名：「活動の成果がわかる資料：広報活動」 つづき

平成28年度

広報活動

		校数
○中学校へ出向いての高校説明会	県内	84 校
	県外	0 校
	小計	84 校
○中学校個別訪問(10～12月)	県内	171 校
	県外	0 校
	小計	171 校
○一日体験入学PR訪問(6～7月)	県内	143 校
	県外	0 校
	小計	143 校
合計		398 校

◆中学校教員向け進学説明会

会 場	日 程	回 数	中学生	保護者	教員	その他	計
本校会場	6月21日	1			27		27
鹿児島市(宝山ホール)	6月23日	1			28		28
	合計	2	0	0	55	0	55

*学外

◆塾・予備校関係者向学校説明会

会 場	日 程	回 数	中学生	保護者	教員	その他	計
本校会場	6月21日	1			25		25
鹿児島市(宝山ホール)	6月23日	1			14		14
	合計	2	0	0	39	0	39

*学外

◆中学生及び保護者のための学校説明会

会 場	日 程	回 数	中学生	保護者	教員	その他	計
・薩摩川内市(川内文化ホール)	10月1日	1	8	8		0	16
・鹿児島市(かごしま県民交流センター)	10月2日	2	13	15		4	32
・鹿屋市(リナシティかのや)	10月15日	1	9	10		1	20
・本校会場	10月16日	1	67	68		28	163
	合計	5	97	101	0	33	231

*学外

*学外

*学外

◆一日体験入学

会 場	日 程	回 数	中学生	保護者	教員	その他	計
本校会場	8月7日	1	372	260			632

出典：平成30年度自己点検・評価書

資料名：「活動の成果がわかる資料：公開講座・出前授業」

資料 3

平成30年度 鹿児島高専における公開講座・出前講座の実施状況調査報告書

No.	公開講座名	実施日	時間数	対象者	募集定員	受講者数	備考
1	ロボット制御を体験しよう ーレゴブロックで作ったロボットのプログラミング体験ー	7/28(土)	3	小学5年生～中学生	6	20	・小学生13名 ・中学生 7名
2	ミクロの世界をのぞこう!! ～さわれる?! 見えない世界～	8/4 (土)	3	小学4年生～中学生	6	6	・小学生4名 ・中学生2名
3	ロボット制御を体験しよう ーレゴブロックで作ったロボットのプログラミング体験ー	8/20(月)	3	小学5年生～中学生	6	20	・小学生14名 ・中学生 6名
4	電気電子ビルダーズ ～金属探知機を作っちゃお!～	8/20(月)	2.5	小学4年生～中学生	10	10	・小学生10名
5	プログラミングに挑戦!	8/20(月)	2.5	中学生	5	20	・小学生 2名 ・中学生18名
6	電気電子ビルダーズ ～スマホ操縦ローバーを作っちゃお!～	8/22 (水)	4	小学4年生～中学生 (会場:徳之島の小学校)	10	-	台風のため中止
7	リモコン戦車(ハトルタイタン)を組み立てて電子制御を知ろう	8/25(土)	3	小学4年生～中学生	8	8	・小学生6名 ・中学生2名
8	振動と音の実験をしてみよう!	8/27(月)	8	小学5年生～中学生	8	6	・小学生2人 ・中学生4名
9	電気電子ビルダーズ ～メロディ付きデジタル時計を作っちゃお!～	8/28(火)	2.5	小学4年生～中学生	10	10	・小学生9名 ・中学生1名
10	電気電子ビルダーズ ～電子楽器を作っちゃお!～	8/29(水)	2.5	小学4年生～中学生	10	7	・小学生4名 ・中学生3名
11	ミクロの世界をのぞこう!! ～さわれる?! 見えない世界～	10/21(日)	3	小学4年生～中学2年生	6	4	・小学生3名 ・中学生1名
12	ミクロの世界をのぞこう!! ～さわれる?! 見えない世界～	11/11(日)	3	小学4年生～中学2年生	6	0	申込みなし
13	ミクロの世界をのぞこう!! ～さわれる?! 見えない世界～	12/9 (日)	3	小学4年生～中学2年生	6	2	・小学生1名 ・中学生1名
14	離島小中学生への電気エネルギー・技術史教室	11/11(日)	8	小学4年生～中学生	8	8	・小学生8名
15	ガラスを削ってオリジナルコップを作ろう	12/16(日)	2	小学5年生～中学生	10	6	・小学生4名 ・中学生2名
16	ペットボトルロケットを飛ばそう	12/17(日)	2	小学5年生～中学生	10	4	・小学生4名
17	電子工作! 光る・鳴るピンポン雪だるま	12/18(日)	2	小学5年生～中学生	8	2	・小学生2名
18	電子ゴマをつくろう	12/19(日)	2	小学5年生～中学生	20	6	・小学生4名 ・中学生2名
19	トラス橋を作ろう!	12/20(日)	2	小学5年生～中学生	20	0	
20	すごいぞ! コンクリート!	12/21(日)	2	小学5年生～中学生	10	1	・中学生1名
合 計 講座		—	—	—	—	140	

No.	出前講座名	実施日	時間数	対象者	募集定員	受講者数	備考
1	富隈小学校 公開講座「プログラミング体験」	8/19 (土/午前)	3	小学4～6年生		11	・小学生11名 ・保護者等13名
2	富隈小学校 公開講座「プログラミング体験」	8/19 (土/午後)	3				
3	富隈小学校 公開講座「ロボット制御講座2」	11/19 (日/午前)	3	小学4～5年生		5	・小学生5名 ・保護者等8名
4	富隈小学校 公開講座「ロボット制御講座3」	11/19 (日/午後)	3	中学2～3年生		4	・中学生4名 ・保護者等5名
5	富隈中学校 公開講座「ロボット制御講座1」	12/16 (土/午前)	3	小学4～5年生		4	・小学生4名 ・保護者7名
6	富隈中学校 公開講座「ロボット制御講座2」	12/16 (土/午後)	3	小学4～5年生		3	・小学生3名 ・保護者4名
7	サイエンスリーダー養成講座(ロボット講座)	1/14 (日)	4	小学6年生～中学2年生		30	始良市教育委員会主催
8	メカトロニクス研究部小学校訪問 (鹿児島市立東昌小学校)	2/26 (月)	2	小学生		42	
9	メカトロニクス研究部小学校訪問 (南さつま市立加世田小学校)	2/27 (火)	2	小学生		204	
10	メカトロニクス研究部小学校訪問 (南さつま市立長屋小学校)	2/27 (火)	1	小学生		15	
11	メカトロニクス研究部小学校訪問 (南九州市立霜出小学校)	2/28 (水)	3	小学生		89	
12	出前授業(霧島市立舞鶴中学校)	2/1 (金)	1	中学2年生		30	情報工学科: 古川先生
合 計 講座		—	—	—	—	437	

資料名：「活動の成果がわかる資料：公開講座・出前授業」つづき

平成29年度 鹿児島高専における公開講座・出前講座の実施状況調査報告書

No.	公開講座名	実施日	時間数	対象者	募集定員	受講者数	備考
1	ミクロの世界をのぞこう！！ ～さわれる？！見えない世界～	7/23 (日)	3	小学4年生～中学生	6	6	小学生6名
2	ロボット制御を体験しよう ーレゴブロックによるロボットづくりと プログラミングー	7/29 (土)	4	小学6年生～中学生	8	8	小学生4名 中学生4名
3	離島小中学生への電力教室	8/3 (木)	4	小学4年生～中学生	8	6	中学生6名
4	熱エネルギーを利用して走るエンジンカーを 製作してみよう	8/18 (金)	3	中学生	7	7	中学生7名
5	リモコン戦車（バトルタイタン）を 組み立てて電子制御を知ろう	8/19 (土)	3	小学4年生～中学生	8	8	小学生8名
6	モノが削れるふしぎをスーパースローで 見てみよう ～ハイスピードカメラで見る「削り」のメカニズム～	8/22 (火)	3	中学生	5	4	中学生4名
7	プログラミングに挑戦！	8/23 (水)	2.5	中学生	5	5	中学生5名
8	電気電子工作で電子楽器を作っちゃお！	8/24 (木)	2	小学4年生～中学生	10	9	小学生8名 中学生1名
9	電気電子工作でメロディ付きデジタル時計を 作っちゃお！	8/29 (火)	2.5	小学4年生～中学生	10	10	小学生10名
10	ミクロの世界をのぞこう！！ ～さわれる？！見えない世界～	11/12 (日)	3	小学4年生～中学生	6	5	小学生2名 中学生3名
11	ミクロの世界をのぞこう！！ ～さわれる？！見えない世界～	12/17 (日)	3	小学4年生～中学生	6	4	小学生2名 中学生2名
12							
13							
合 計 講座		—	—	—	—	72	

No.	出前講座名	実施日	時間数	対象者	募集定員	受講者数	備考
1	富隈小学校 公開講座「プログラミング体験」	8/19 (土/午)	3	小学4～6年生		11	小学生11名、 保護者等13名
2	富隈小学校 公開講座「プログラミング体験」	8/19 (土/午)	3				
3	富隈小学校 公開講座「ロボット制御講座2」	11/19 (日/午)	3	小学4～5年生		5	小学生5名 保護者等8名
4	富隈小学校 公開講座「ロボット制御講座3」	11/19 (日/午)	3	中学2～3年生		4	中学生4名 保護者等5名
5	富隈中学校 公開講座「ロボット制御講座1」	12/16 (土/午)	3	小学4～5年生		4	小学生4名 保護者7名
6	富隈中学校 公開講座「ロボット制御講座2」	12/16 (土/午)	3	小学4～5年生		3	小学生3名 保護者4名
7	サイエンスリーダー養成講座（ロボット講座）	1/14 (日)	4	小学6年生～中学2年生		30	始良市教育委員会 主催
8	メカトロニクス研究部小学校訪問 （鹿児島市立東昌小学校）	2/26 (月)	2	小学生		42	
9	メカトロニクス研究部小学校訪問 （南さつま市立加世田小学校）	2/27 (火)	2	小学生		204	
10	メカトロニクス研究部小学校訪問 （南さつま市立長屋小学校）	2/27 (火)	1	小学生		15	
11	メカトロニクス研究部小学校訪問 （南九州市立霧出小学校）	2/28 (水)	3	小学生		89	
12							
合 計 講座		—	—	—	—	407	

出典：平成30年度自己点検・評価書

資料名：「活動の成果がわかる資料：公開講座・出前授業」 つづき

平成28年度 鹿児島高専における公開講座・出前講座の実施状況調査報告書

No.	公開講座名	実施日	時間数	対象者	募集定員	受講者数	備考
1	ミクロの世界をのぞこう！！ ～さわれる？！見えない世界～	7/17（日）	3	小学4年生～中学生	6	2	小学生2名
2	リモコン戦車（バトルタイタン）を 組み立てて電子制御を知ろう	8/20（土）	3.5	小学4年生～中学生	8	7	小学生3名 中学生4名
3	モノが削れるふしぎをスーパースローで見てみ よう ー高速カメラで覗く「削り」のメカニズムー ロボット制御を体験しよう	8/19（金）	3	中学生	5	1	中学生1名
4	ーレゴブロックによるロボットづくりと コンピュータ制御ー	7/30（土）	4	小学6年生～中学生	8	8	小学生3名 中学生5名
5	女子限定！小学生・中学生のための 電子工作・デザイン教室 （ソフトプラザかこしま）	8/19（金）	3	小学4年生～中学生 （女子）	12	6	小学生4名 中学生2名
6	女子限定！小学生・中学生のための 電子工作・デザイン教室 （鹿児島高専）	8/20（土）	3	小学4年生～中学生 （女子）	12	22	小学生18名 中学生 4名
7	離島小中学生への電力教室	8/2（火）	4	小学4年生～中学生	8	6	中学生6名 [教員 4名 一般 1名]
8	いろんな電気素子を使ってLEDを いろんなふうに光らせてみよう	8/30（火）	2	小学5年生～中学生	15	15	小学生10名 中学生 5名
9	「スターリングエンジンの製作講座」 ービー玉や空き缶でエンジンを作ろうー	8/17（水）	3	小学5年生～中学生	5	5	小学生4名 中学生1名
10	プログラミングに挑戦！	8/24（水）	3	中学生	5	5	中学生5名
11	ミクロの世界をのぞこう！！ ～さわれる？！見えない世界～	9/11（日）	3	小学4年生～中学生	6	2	小学生2名
12	ミクロの世界をのぞこう！！ ～さわれる？！見えない世界～	12/18（日）	3	小学4年生～中学生	6	3	小学生3名
13							
合 計 講座		—	—	—	—	82	

No.	出前講座名	実施日	時間数	対象者	募集定員	受講者数	備考
1	富隈小学校 公開講座	11/26 （土）	3	小学4年生～6年生とその保護者	10組 （20名）	23	小学生10名、保護 者10名、教職員3
2	サイエンスリーダー養成講座（ロボット講座）	1/15 （日）	4	小学生・中学生		26	始良市教育委員会 主催
3	メカトロニクス研究部小学校訪問 （南さつま市立内山田小学校）	2/27 （月）	2	小学生		46	
4	メカトロニクス研究部小学校訪問 （大崎町立大崎小学校）	2/28 （火）	2	小学生		312	
5	メカトロニクス研究部小学校訪問 （志布志市立通山小学校）	2/28 （火）	2	小学生		170	
6	メカトロニクス研究部小学校訪問 （屋久島町立小瀬田小学校）	3/1（水）	1	小学生		66	
7	メカトロニクス研究部小学校訪問 （屋久島町立安房小学校）	3/2（木）	2	小学生		75	
8	メカトロニクス研究部小学校訪問 （屋久島町立宮浦小学校）	3/2（木）	1	小学生		93	
9	メカトロニクス研究部小学校訪問 （屋久島町立神山小学校）	3/3（金）	2	小学生		88	
合 計 講座		—	—	—	—	899	

出典：平成30年度自己点検・評価書

資料名：「活動の成果がわかる資料：公開講座実施報告書」

教務主事	入試広報担当	学生課長	学生課長補佐	教務係
				
平成30年度 公開講座実施報告書				

平成30年7月30日

1. 講座名

「ロボット制御を体験しよう
ーレゴブロックで作ったロボットのプログラミング体験ー」

2. 対象者

小学6年生～中学生

3. 講座の目的

教育用ロボットキット（レゴマインドストーム NXT）を用いた、走行型ロボットの制御プログラムの作成を通じ、自分で作ったものを思い通りにコントロールすることの面白さを体験してもらう。

4. 日程

平成30年7月28日（土） ①9：00～12：00 ②13：30～16：00

5. 担当者

電子制御工学科 吉満 真一
技術室 上沖 司

6. 講座内容

教育用ロボットキットおよびプログラミング用パソコンを使用し、ロボット制御に関する講座を実施した。午前の部と午後の部の2回に分けて講座を実施し、各部とも前半は制御プログラムの学習、後半は課題に取り組んだ。また、講座最後に学科の実験で使用しているアームロボットのデモンストレーションを実施し、産業用ロボットや高専での授業について紹介した。

(1) 講座概要説明

- (2) パソコンを用いた制御プログラムの学習
- (3) モーターとセンサの制御、プログラミング演習
- (4) 課題プログラムの作成と検証、自由プログラミング

7. 参加者

小学生12名 中学生7名 計19名（霧島市17名、始良市2名）
保護者参加 7名

8. 総括

当初予定の募集人員を大幅に上回る申し込みがあったため、教務係の協力もいただき午前部と午後部の2回にわけて、申込者全員が受講できる実施体制を作った。

今年度は小学生も多かったが、パソコン操作に慣れた生徒が多く、プログラミング演習は大変スムーズに行うことができた。比較的短い時間で課題をクリアできる生徒もおり、その後の自由プログラミングも熱心に取り組んでいた。昨今のプログラミング教育必修化の報道等もあり、情報技術への関心が高まっているように感じた。

出典：公開講座実施報告書

公開講座 アンケート集計結果

参加人数 小学生：12名 中学生：7名 計19名 (保護者参加：7名)
アンケート回収：19名

①あなたの学年を教えてください。

小学5年	4名	小学6年	8名		
中学1年	4名	中学2年	2名	中学3年	1名

②この公開講座をどのようにして知りましたか？

1. 鹿児島高専のポスターやチラシ	3名
2. 鹿児島高専のホームページ	2名
3. 先生からの説明	0名
4. 小中学校からのチラシ配布	13名
5. その他	1名 (お母さんから聞いた)

③公開講座はどの時期が望ましいですか？

1. 7月の初めごろ	0名
2. 7月の終わりごろ	13名
3. 8月の初めごろ	4名
4. 8月の中旬ごろ	1名
5. 8月の終わりごろ	0名
6. その他	1名 (夏休み中)

④公開講座をうけた感想はどうでしたか？

1. もう少し難しい内容のことを聞いたかった	2名
2. わかりやすい内容であった	13名
3. 少し難しかったが、ある程度わかった	4名
4. 難しかった。もう少し優しいほうが良かった。	0名

⑤今回の講座はどうでしたか？

1. 十分満足できた	18名
2. だいたい満足できた	1名
3. 普通	0名
4. あんまり満足できなかった	0名
5. まったく満足できなかった	0名

⑥感想がありましたらどうぞ。

- ・すごくかんたんだった。 ・ふだんできないことができてうれしかった。
- ・プログラミングのことがぜんぜんわからなかったけど今日たくさんしれたのでよかった。
- ・高専に入学したいので、このことを忘れずにがんばりたいです。今日はありがとうございました。
- ・プログラミングするのは初めてだったけれどとても楽しかった。
- ・今回、初めてプログラミングというものをした。少し難しかったが、パソコンの指示で動く機械がとても面白かった。
- ・とても楽しかったので、できれば来年も参加したいです。
- ・楽しかったです。ありがとうございました。もっと知りたいと思いました。
- ・だいぶ難しかったけど楽しかった。
- ・とても楽しかった。(2件) ・上手く出来るようにちょっとずつ調整するのが楽しかったです。
- ・8の字(プログラム) がうまくできた
- ・また来たいです。長いプログラムを作ることができた。

平成30年12月21日

平成30年度 鹿児島高専 冬の公開講座 実施報告書

担当者：電子制御工学科 鎌田 清孝

日程：平成30年12月9日（日） 時間 9：00～12：00

場所：別紙のとおり

1、講座名・参加者の人数

ガラスを削ってオリジナルコップを作ろう	中学生2名、小学生4名
ペットボトルロケットを飛ばそう	小学生4名
電子工作！光る・鳴るピンポン雪だるま	中学生3名、小学生2名
電子ゴマを作ろう	中学生2名、小学生4名
トラス橋を作ろう！	中学生1名
スゴいぞ！コンクリート！	中学生2名

2、実施内容

別紙のとおり

3、感想

児童・生徒たちは、ものづくりを通じて色々と学ぶことができ、さらに、完成したときの達成感を味わうことができ非常に良い機会だったと思う。また、怪我もなく無事に公開講座を終えられたのが良かった。しかし、天候が悪かったこと、参加人数が少なかったことは非常に残念であった。

来年度実施する際は、早くから計画をたて、小・中学校や色々な機関に宣伝をし、参加人数を増やす工夫が必要である。

4、アンケート結果

① あなたの学年を教えてください

回答⇒小学校 5年（7名）、6年（5名）
中学校 1年（4名）、2年（2名）

② この公開講座を、どのようにして知りましたか

1. 鹿児島高専のポスターやチラシ・・・ 1名
2. 鹿児島高専のホームページ・・・ 3名
3. 先生からの説明・・・・・・・・ 1名
4. 小中学校からのチラシ配布・・・・ 8名
5. その他（ 新聞（2名）、保護者からのすすめ、本校関係者のすすめ、
友達にさそわれた ）・・・ 5名

③ 公開講座を開く時期はどの時期が望ましいですか（複数回答1名）

- | | | | |
|----------------|----|-----------------|----|
| 1. 7月の始めごろ・・・ | 4名 | 2. 7月の終わりごろ・・・ | 5名 |
| 3. 8月の初めごろ・・・ | 2名 | 4. 8月の中旬ごろ・・・ | 4名 |
| 5. 8月の終わりごろ・・・ | 3名 | 5. その他（いつでもいい）・ | 1名 |

④公開講座を受けた感想はどうでしたか

- | | |
|----------------------------|-----|
| 1. もう少し難しい内容のことを聞きたかった。・・・ | 2名 |
| 2. 分かりやすい内容であった。・・・・・・・・・・ | 14名 |
| 3. 少し難しかったがある程度理解できた。・・・・ | 2名 |
| 4. 難しかった。もう少し優しい方が良かった。・・・ | 0名 |

⑤ 今回の公開講座は、どうでしたか

- | | | | |
|--------------------|-----|------------------|----|
| 1. 十分満足できた・・・ | 14名 | 2. だいたい満足できた・・・ | 4名 |
| 3. 普通・・・・・・・・・・ | 0名 | 4. あんまり満足できなかった・ | 0名 |
| 5. まったく満足できなかった・・・ | 0名 | | |

⑥ 感想がありましたらどうぞ

- ・学生さんの説明も分かりやすかったし、楽しく学んで作って遊ぶことができた。またやりたいです!!ありがとうございました!!
- ・高専のことが知れなかった
- ・たのしかった
- ・たのしくコップをつくれてよかった。またきたいです。ありがとうございました。とてもわかりやすかったです。
- ・ありがとうございました。
- ・今回初めて参加させて頂きました。子供はもちろんですが、親もどんなふうに製作するのか興味がありました。子供たちもデザインを考えたり細かく削ったりするのを楽しんでいたようです。
- ・楽しくこまを作れた。
- ・私は、ペットボトルロケットをしました。私は物作りが好きなので、ロケット作りがすごく楽しかったです!ロケットを発射させる時は、つい、つい、「遠くまで飛ばすぞ」という気持ちになりました。
- ・雨がふっていてペットボトルとばしはやりにくかったけど作るのが楽しかった!!
- ・学生さん達がとてもやさしくて話しやすかった。
- ・高専に来ます!
- ・高専に入学したいと思った。
- ・自分で実際にロケットが飛ばせたのでよかった。
- ・また参加したい。
- ・LEDなどを初めて使えたので、楽しかったです。

資料名：「活動の成果がわかる資料：一日会見入学参加者」

平成30年度 一日体験入学 参加者状況

資料 1 -

* 参加申込状況 * 8/4現在

学 科	体験コース					その他 (午後から参 加)	合計
	M	E	S	I	C		
人 数	63	87	90	140	75	3	458
うち男子	(58)	(70)	(86)	(108)	(47)	(2)	(371)
うち女子	(5)	(17)	(4)	(32)	(28)	(1)	(87)
進学相談	10	14	21	24	18	2	89
昼食 (中学生のみ)	44	55	58	98	54	0	309
保護者等	56	77	73	107	53	6	372
昼食 (生徒・保護者)	82	106	104	174	96	0	562

* 参加者状況 *

機械工学科		コース番号					7/25現在
体験実習		合計					
実習テーマ		1	2	3	4	5	-
第1希望		17	9	11	16	10	63
第2希望		12	13	16	7	15	63
合計		29	22	27	23	25	126
振分後	A班	9	3	6	8	5	31
	B班	8	5	5	8	5	31
合計		17	8	11	16	10	62

欠席者1名

電気電子工学科		コース番号					7/25現在
体験実習		合計					
実習テーマ		1	2	3	4	5	6
第1希望		18	8	20	18	11	12
第2希望		21	17	9	7	21	12
合計		39	25	29	25	32	24
振分後	A班	9	7	3	9	7	7
	B班	9	7	5	8	6	7
合計		18	14	8	17	13	14

欠席者3名

電子制御工学科		コース番号					7/25現在
体験実習		合計					
実習テーマ		1	2	3	4	5	6
第1希望		7	4	20	19	17	23
第2希望		4	4	19	19	13	31
合計		11	8	39	38	30	54
振分後	A班	3	2	10	10	8	12
	B班	4	3	10	9	8	11
合計		7	5	20	19	16	23

1科から1名

欠席者1名

情報工学科		コース番号					7/25現在
体験実習		合計					
実習テーマ		1	2	3	4	5	
第1希望		8	77	17	16	22	140
第2希望		16	24	46	31	23	140
合計		24	101	63	47	45	280
振分後	A班	6	39	9	9	5	68
	B班	6	39	9	9	5	68
合計		12	78	18	18	10	136

S科へ1名

欠席者3名

都市環境デザイン工学科		コース番号					7/25現在
体験実習		合計					
実習テーマ		1	2	3	4		
第1希望		57	8	3	7		75
第2希望		10	23	19	23		75
合計		67	31	22	30	0	150
振分後	A班	28	8	0	0		36
	B班	27	0	3	7		37
合計		55	8	3	7	0	73

欠席者2名

全学科

参加者数		M	E	S	I	C	午後から	茶話会のみ	合計
	男子	57	69	86	105	45	2	-	364
	女子	5	15	4	31	28	0	1	84
	合計	62	84	90	136	73	2	1	448

※一日体験入学の参加者を統計対象。欠席者は集計していない。

出典：平成30年度第2回校務連絡会資料

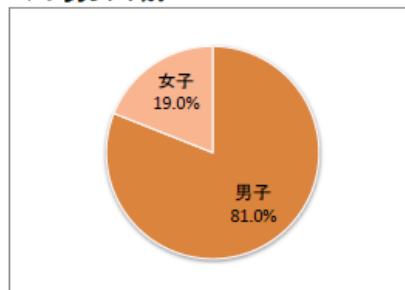
資料名：「活動の成果がわかる資料：一日会見入学アンケート」

H30年度一日体験入学アンケート集計結果

全学科 448 名参加

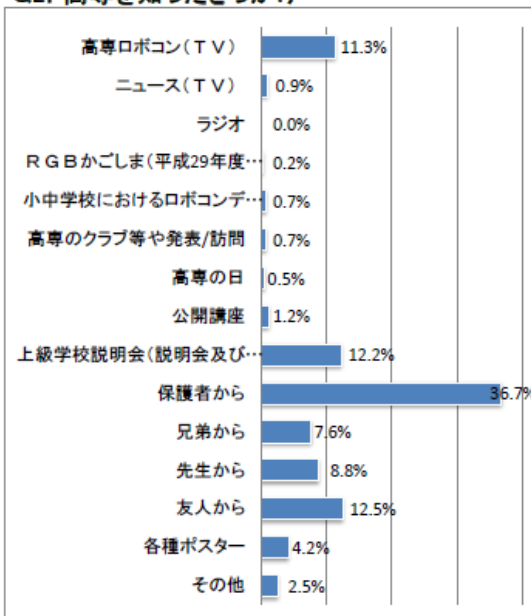
Q1. 男女の別	M	E	S	I	C	合計	割合
1 男子	56	69	75	105	45	350	81.0%
2 女子	6	14	4	30	28	82	19.0%
計	62	83	79	135	73	432	100.0%

Q1. 男女の別



Q2. 高専を知ったきっかけは何か	M	E	S	I	C	合計	割合
01 高専ロボコン(TV)	13	7	16	8	5	49	11.3%
02 ニュース(TV)	1	1	0	1	1	4	0.9%
03 ラジオ		0	0	0	0	0	0.0%
04 RGBかごしま(平成29年度開催)		0	1	0	0	1	0.2%
05 小中学校におけるロボコンデモンストレーション		2	1	0	0	3	0.7%
06 高専のクラブ等や発表/訪問		2	1	0	0	3	0.7%
07 高専の日	1	0	0	1	0	2	0.5%
08 公開講座		1	2	2	0	5	1.2%
09 上級学校説明会(説明会及びパンフレット)	6	5	13	20	9	53	12.2%
12 保護者から	27	27	22	52	31	159	36.7%
13 兄弟から	5	6	5	9	8	33	7.6%
14 先生から	1	14	5	12	6	38	8.8%
15 友人から	5	12	8	20	9	54	12.5%
16 各種ポスター	2	6	4	4	2	18	4.2%
17 その他	1	2	0	6	2	11	2.5%
計	62	85	78	135	73	433	100.0%

Q2. 高専を知ったきっかけ

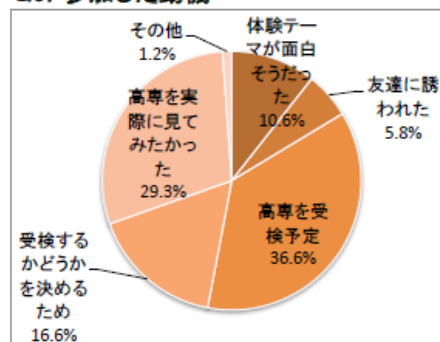


【17 その他回答】

- ・塾
- ・従兄弟
- ・県統一模試
- ・ホームページ
- ・近隣在住

Q3. 参加した動機は？	M	E	S	I	C	合計	割合
1 体験テーマが面白そうだった	9	13	10	10	4	46	10.6%
2 友達に誘われた	1	6	4	12	2	25	5.8%
3 高専を受検予定	24	30	27	48	30	159	36.6%
4 受検するかどうかを決めるため	11	11	11	27	12	72	16.6%
5 高専を実際に見てみたかった	16	25	26	37	23	127	29.3%
6 その他	1	0	1	1	2	5	1.2%
計	62	85	79	135	73	434	100.0%

Q3. 参加した動機



その他回答

- ・親に言われた
- ・親の勧め
- ・

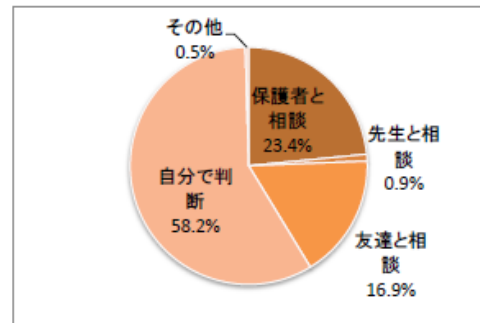
出典：平成30年度第3回一日体験入学実行委員会資料

資料名：「活動の成果がわかる資料：一日会見入学アンケート」 つづき

Q4. コース選択時の相談相手	M	E	S	I	C	合計	割合
1 保護者と相談	18	22	20	19	22	101	23.4%
2 先生と相談		1	1	0	2	4	0.9%
3 友達と相談	7	16	20	23	7	73	16.9%
4 自分で判断	37	44	36	92	42	251	58.2%
5 その他		0	1	1	0	2	0.5%
計	62	83	78	135	73	431	100.0%

その他回答 ・知り合いのすすめ
・先輩

Q4. コース選択時の相談相手

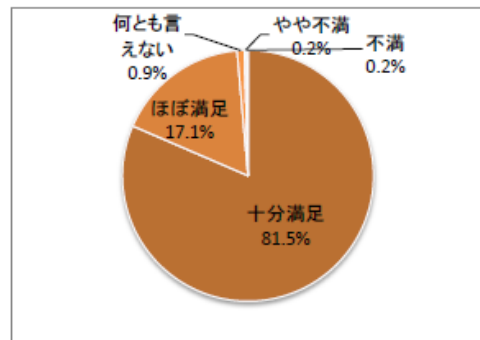


Q5. 体験した内容に満足しましたか？	M	E	S	I	C	合計	割合
1 十分満足	54	71	64	106	57	352	81.5%
2 ほぼ満足	8	12	13	25	16	74	17.1%
3 何とも言えない		0	0	4	0	4	0.9%
4 やや不満		0	1	0	0	1	0.2%
5 不満		0	1	0	0	1	0.2%
計	62	83	79	135	73	432	100.0%

【理由】(抜粋)

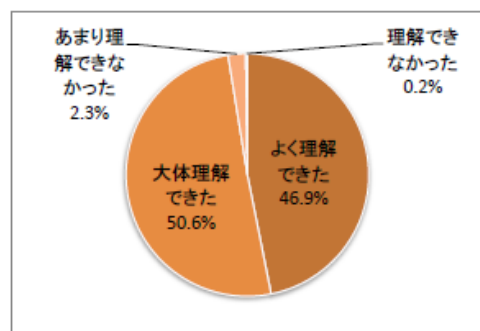
- ・いろいろなことを知ること・経験ができたから。
- ・体験の内容が良かったから。
- ・在校生・教員からの説明が分かりやすかったから。
- ・学校や部活のことなども聞くことができたから。
- ・実際に高専の先輩たちがしていることを体験できたから。
- ・実験が楽しかったし、高専について知ることができたから。
- ・思っていた以上に楽しかったから。
- ・先生や補助学生の方が丁寧に教えてくれたから。
- ・その学科について深く学ぶことができたから
- ・高専についての不安なことを話すことができたから。
- ・完成したときの達成感を感じられたから。
- ・実習でサポートしてくださった学生と会話をしながら楽しくできたから。
- ・とても充実した内容で、進路を決めるうえでとても参考になったから。

Q5. 体験入学の満足度



Q6. コース説明や学科展示の内容が理解できましたか？	M	E	S	I	C	合計	割合
1 よく理解できた	33	42	30	68	29	202	46.9%
2 大体理解できた	28	40	47	60	43	218	50.6%
3 あまり理解できなかった	1	1	1	6	1	10	2.3%
4 理解できなかった		0	0	1	0	1	0.2%
計	62	83	78	135	73	431	100.0%

Q6. コース説明/学科展示の理解度



出典：平成30年度第3回一日体験入学実行委員会資料

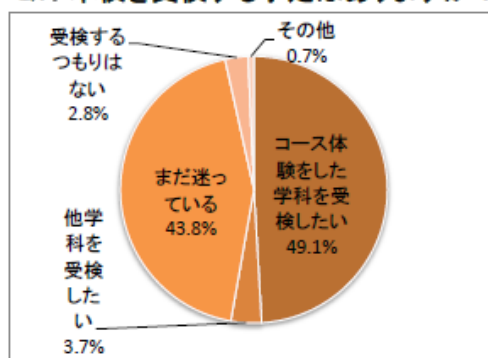
資料名：「活動の成果がわかる資料：一日会見入学アンケート」 つづき

Q7. 本校を受検する予定はありますか？	M	E	S	I	C	合計	割合
1 コース体験をした学科を受検したい	31	39	38	69	35	212	49.1%
2 他学科を受検したい	3	3	1	5	4	16	3.7%
3 まだ迷っている	28	38	38	53	32	189	43.8%
4 受検するつもりはない		1	1	8	2	12	2.8%
5 その他		2	1	0	0	3	0.7%
計	62	83	79	135	73	432	100.0%

その他回答

- ・他高専を受検
- ・受験はするが、コースを迷っている

Q7. 本校を受検する予定はありますか？



Q8. 本日の体験実習以外で、体験してみたいこと、見てみたい展示内容等がありましたらお書きください。

(抜粋)

- ・授業の見学・体験
- ・学生の作製したロボット
- ・ロボコンのロボット
- ・部活動(野球部・軽音部)
- ・一日寮の体験
- ・授業風景の見学
- ・ロボコンを体験してみたい
- ・ロボットバンド
- ・他の学科も体験してみたい

Q9. 感想(抜粋)

- ・おもしろかった、楽しかった。
- ・受験の参考になった。
- ・実習を含め、他学科の見学や展示品の見学など、内容が充実していた。
- ・教員・先輩方からの説明・対応がよかった。
- ・とての楽しそうな学校だと思った。普通の学校では体験できないことができてよかった。
- ・自分で見て、体験してロボットに興味をもてた。
- ・自分の知らないことがたくさんあって、そういうことができるようになると思うと、この学校に入りたいと思った。
- ・一つ一つの説明が分かりやすく、学科の魅力などがよくわかった。この学校に入学したい気持ちがより一層高まった。
- ・実際の高専の学生たちと話す機会が所々であったのでよかった。質問しやすかった。
- ・寮が家から離れていて心配だったが、話を聞いてとても面白そうだった。学校も自分の好きな事ができるので、ぜひ入学してみたいです。
- ・自分が行きたい学科がこの体験入学でしっかり決まったのでよかった。在校生から寮のことなどを聞いてもっと興味が持て、行きたい気持ちが強くなった。
- ・思っていたより女子が多かったのが良かった。高専のことがよくわかった。
- ・学科でどんなことを勉強するのか、具体的に説明されていてわかりやすかったです。
- ・高専の大部分が分かり、この学校に入りたい気持ちが高まった。
- ・補助で教えて下さった先輩が、体験実習のことだけでなく、学校の事や入試を受けるうえでのアドバイスを教えてくれました。より詳しく学科も学校についても知ることができました。ありがとうございました。
- ・今日の体験をとおして、分からなかったことや知りたかったことが、理解できたのでよかったです。
- ・普段できないようなことが体験できてよかった。
- ・もう一日やってほしい。
- ・工業系の高校なので男子がメインなイメージが強かったのですが、女子の方もとても楽しそうでした。
- ・設備がとてとても充実していて感動しました。とても勉強になりました。
- ・学科や高専についての説明では、高校と違うところや特徴などが分かって、すごく興味を持った。

出典：平成30年度第3回一日体験入学実行委員会資料

資料名：「活動の成果がわかる資料：パワーアップ研修」

〔鹿児島工業高等専門学校〕

平成31年度パワーアップ研修（中堅教諭等資質向上研修）講座選択研修に係る大学等訪問

1 平成30年度開設講座及び受講者数

【8月1日（水）】〔中学校・高等学校〕

【講座名】「情報処理（ExcelとAccess）」 4人

2 受講者の評価

受講者の全員が「満足」4・「おおむね満足」3であった。

3 受講者の感想

- ・ 学んだことを今後の教育活動に生かしていきたい。（中学校教諭）
- ・ すぐに実践に生かすことができることを学ぶことができて、嬉しかった。（中学校教諭）

出典：教務係資料

資料名：「図書館の学外利用者」

平成28年度4月～30年度3月 図書館利用者統計【一般利用者】

人数/冊数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
平成28年度	10人/16冊	20人/27冊	13人/19冊	6人/9冊	5人/10冊	1人/1冊	2人/3冊
平成29年度	4人/6冊	5人/12冊	4人/5冊	10人/33冊	4人/6冊	9人/16冊	12人/17冊
平成30年度	9人/29冊	9人/27冊	12人/42冊	16人/58冊	12人/43冊	8人/24冊	6人/23冊
月計	23人/51冊	34人/66冊	29人/66冊	32人/100冊	21人/59冊	18人/41冊	20人/43冊

※貸出冊数：5冊まで

※貸出期限：2週間

※平成30年度より土曜日閉館

人数/冊数	11月	12月	1月	2月	3月	開館日数	年計
平成28年度	5人/7冊	2人/5冊	1人/1冊	17人/49冊	7人/18冊	278日	89人/165冊
平成29年度	17人/51冊	11人/37冊	16人/63冊	15人/50冊	18人/76冊	278日	125人/372冊
平成30年度	8人/29冊	7人/20冊	4人/18冊	3人/10冊	3人/3冊	240日	97人/326冊
月計	30人/87冊	20人/62冊	21人/82冊	35人/109冊	28人/97冊		

出典：図書館利用者統計【一般利用者】

資料名：「改善の体制がわかる資料」

表1 鹿児島高専における地元就職率とインターンシップ参加者目標値

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
COC+参加大学 地元就職率 (A/B)	16.3%	18.5%	20.7%	23.0%	25.9%	28.1%
地元就職学生数 A	22	25	28	31	35	38
就職学生数全体 B	135	135	135	135	135	135
事業協働機関への インターンシップ参加者数	29人	34人	39人	44人	47人	50人

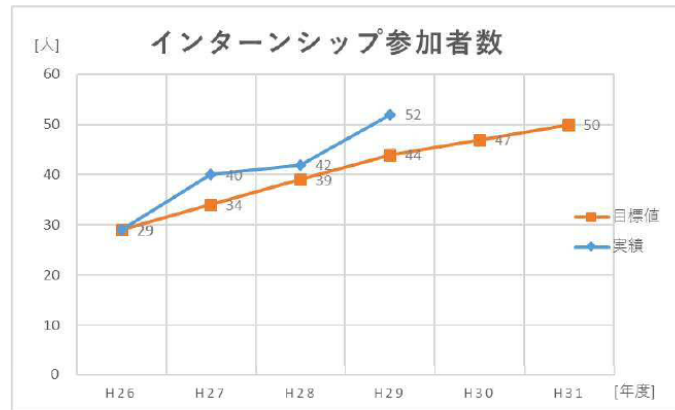


表2 鹿児島高専におけるインターンシップ参加者数推移

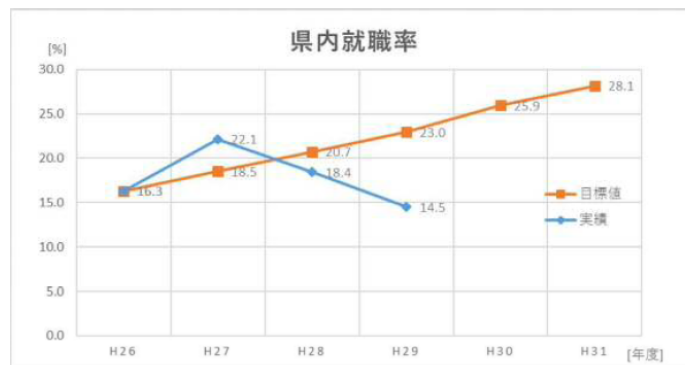


表3 鹿児島高専における鹿児島県内就職率推移

COC+推進事業における各年度の目標値と実績を比較してみると、インターンシップ参加者数は年々増加しており、目標値をクリアしている。一方、地元就職率については、事業初年度に目標を達成して以降は、新卒者の地元定着事業に取り組んでいるものの、右肩下がりの減少傾向が続いている。

学生に地元企業の魅力を知ってもらうため、産学官連携組織であるKTCと連携して地元志向教育や就職支援策等の様々な取り組みを行っている中、地元就職率の目標値未達となった要因として、以下の点が挙げられる。

出典：鹿児島高専 COC+事業中間報告（平成27～29年度）

資料名：「改善の体制がわかる資料」

平成30年度 第3回一日体験入学実行委員会

日 時 平成30年10月16日（火）16:20～

場 所 大講義室1～4

前回議事要旨確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・参考資料1

議 題

1. 一日体験入学参加人数について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料1
2. 一日体験入学アンケート結果について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料2
3. 体験入学終了後に寄せられた意見について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料3

4. 総括・反省および検討事項について

(1) 総括・反省

○ 参加者について

申込者数458名、当日参加者（茶話会）1名、欠席者11名で、448名の参加となった。

＊参考 H29:247名、H28:372名、H27:413名、H26:423名、H25:480名

○ 保護者・引率者の参加者について

保護者の参加者が多くなったので（約360名）、受付から生徒と別行動となった。自分の子供の實習場所がわからないという声があった。

○ 保護者・引率者向け学校説明会について

3回（午前2回午後1回）の開催で、約145名の参加があり、大変好評だった。

○ 部活動紹介の継続・実施方法について

(2) 来年度の開催方式について

(3) その他

○ 8月下旬、参加中学校へお礼状を送付し、併せて参加中学生へグリーティングカードを送付した。

○ 次年度の一日体験入学パンフレットについては、本年度と同じくA4サイズ（両面刷）申込書付のチラシで作成予定。

5. その他

出典：平成30年度第3回一日体験入学実行委員会資料